

豊栄排水機場耐震改修ほか工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	特記仕様書1(改修)	S-00	構造設計特記仕様書	M-01	機械設備工事特記仕様書 1
A-02	特記仕様書2(改修)	S-01	鉄骨工作標準図	M-02	機械設備工事特記仕様書 2
A-03	特記仕様書3(改修)	S-02	ポンプ棟 伏図・部材リスト【現況】	M-03	詰所棟 平面図 機械設備工事
A-04	特記仕様書4(改修)	S-03	ポンプ棟 軸組図【現況】		
A-05	特記仕様書5(改修)	S-04	ポンプ棟 伏図・部材リスト【改修後】		
A-06	特記仕様書6(改修)	S-05	ポンプ棟 軸組図【改修後】		
A-07	特記仕様書7(改修)	S-06	ポンプ棟 補強詳細図 No.1		
A-08	配置図・付近見取り図	S-07	ポンプ棟 補強詳細図 No.2		
A-09	仕上げ表	S-08	詰所棟 伏図・軸組図【現況】		
A-10	ポンプ棟 平面図【現況】・建具表	S-09	詰所棟 伏図・軸組図【改修後】		
A-11	ポンプ棟 平面図【改修後】	S-10	詰所棟 補強詳細図		
A-12	ポンプ棟 立面図				
A-13	ポンプ棟 天井伏図【現況・改修後】				
A-14	ポンプ棟 展開図【現況】				
A-15	ポンプ棟 展開図【改修後】				
A-16	詰所棟 平面図・屋根伏図【現況】				
A-17	詰所棟 平面図・屋根伏図【改修後】				
A-18	詰所棟 平面図・立面図【現況】				
A-19	詰所棟 立面図・建具表【改修後】				
A-20	詰所棟 展開図1【現況・改修後】				
A-21	詰所棟 展開図2				

工事特記仕様書(改修)

Table with 2 columns: Item, Content. Includes project name (豊栄排水機場耐震改修ほか工事), location (外壁改修, 内部改修, 耐震補強), and construction details.

- III. 建築改修工事仕様
1 共通仕様
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

Main specification table with columns: Item, Content, Remarks. Includes sections for general construction items (1-11) and specific technical details like material standards and safety measures.

Table with 2 columns: Item, Content. Lists various construction materials and methods, including chemical substances, special materials, and specific construction techniques.

Table with 2 columns: Item, Content. Details safety and health measures, including fire safety, labor safety, and environmental protection protocols.

3 防水改修工事	5 監督員事務所 (2.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> 構内建物内の一部を使用する。 設置する 監督員事務所の規模(単位:m) <table border="1"> <tr> <th>適用規模</th> <th>10程度</th> <th>20程度</th> <th>35程度</th> <th>65程度</th> <th>100程度</th> </tr> </table> <p>監督員事務所の仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>部位等</th> <th colspan="2">仕 上 げ</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニール床シート張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内壁・天井</td> <td>合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装溶融重合めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> <td></td> </tr> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部位等	仕 上 げ		床	合板張り又はビニール床シート張り		内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り		屋根	塗装溶融重合めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																						
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																			
	部位等	仕 上 げ																																																							
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																																							
	内壁・天井	合板張り又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																							
	屋根	塗装溶融重合めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																							
	6 監督員事務所の設備、備品等 (2.4.1)(2)(7)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>机・いす</th> <th>書棚</th> <th>黒板・白板</th> <th>掛時計</th> <th>温度計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>長靴</th> <th>雨合羽</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> <th>衣類ロッカー</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>消火器</th> <th>掃除具</th> <th>受注者加入電話 FAX</th> <th>冷暖房機器</th> <th>インターネット</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> </table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	個	組	台	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台																			
	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																			
	数量	個	組	台	個	個																																																			
	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																			
数量	足	着	個	個	台																																																				
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット																																																				
数量	個	個	台	台	台																																																				
7 仮設便所	構内既存の施設 ・利用できる <input type="radio"/> ・利用できない <input type="radio"/>																																																								
8 工事用水	構内既存の施設 ・利用できる (<input type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償) ・利用できない <input type="radio"/>																																																								
9 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる (<input type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償) ・利用できない <input type="radio"/> 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																								
10 交通誘導員	配置 <input type="radio"/> 図示 (図面番号 :)																																																								
1 既存防水層の処理 (3.1.4)(3.2.6)	<p>既存保護層 (立上り部等) の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (・POD ・PODI ・POAS ・POASI ・POS ・POSI ・POX) 行わない <input type="radio"/> <p>既存防水層 (立上り部等) の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (・POD ・PODI ・POAS ・POASI ・POS ・POSI ・M4S ・M4SI ・S4S ・S4SI ・POX) 行わない <input type="radio"/> <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う (・M4AS ・M4SI ・M4C ・M4DI ・L4X) 行わない <input type="radio"/> <p>既存下地の補修箇所の計上、長さ、数量等 <input type="radio"/> 図示 (図面番号 :) ・ ()</p> <p>POS 工法、POSI 工法 (機械固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ・改修標準仕様書 [3.2.6(4) (ウ) ①②③] ・ ()</p> <p>設備機器架台、配管受部、パラベットの貫通パイプ回り、手すり、丸環の取付け部、塔屋出入口等及び防水層末端部の納まり部の処理 ・監督員と協議する <input type="radio"/> 図示 (図面番号 : A-11)</p>																																																								
2 既存下地の処理 (3.2.6)	<p>押え金物の材質、形状及び寸法 ・アルミニウム製 (L-30×15×2.0mm程度) ・ ()</p> <p>屋根保護防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材の厚み</th> <th rowspan="2">絶縁用シート</th> <th colspan="2">立上り部</th> </tr> <tr> <th>保護</th> <th>断熱材、絶縁シート</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・P2A</td> <td>・A-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・ポリイソシアネート (0.15mm以上)</td> <td colspan="2">・乾式保護材</td> </tr> <tr> <td>・A-2</td> <td colspan="2">・コンクリート押え</td> </tr> <tr> <td>・A-3</td> <td colspan="2">・れんが押え</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・P1B</td> <td>・B-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・フッタンクロス (70kg/m²程度)</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td colspan="2">・モルタル押え</td> </tr> <tr> <td>・B-3</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・P2AI</td> <td>・AI-1</td> <td rowspan="3">・ (mm)</td> <td rowspan="3">・フッタンクロス (70kg/m²程度)</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td>・AI-2</td> <td colspan="2">・設置する</td> </tr> <tr> <td>・AI-3</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・P1BI</td> <td>・B-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・ ()</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> <tr> <td>・B-2</td> <td colspan="2">・設置しない</td> </tr> <tr> <td>・B-3</td> <td colspan="2">・ ()</td> </tr> </table>	工法	種 別	断熱材の厚み	絶縁用シート	立上り部		保護	断熱材、絶縁シート	・P2A	・A-1		・ポリイソシアネート (0.15mm以上)	・乾式保護材		・A-2	・コンクリート押え		・A-3	・れんが押え		・P1B	・B-1		・フッタンクロス (70kg/m ² 程度)	・ ()		・B-2	・モルタル押え		・B-3	・ ()		・P2AI	・AI-1	・ (mm)	・フッタンクロス (70kg/m ² 程度)	・ ()		・AI-2	・設置する		・AI-3	・ ()		・P1BI	・B-1		・ ()	・ ()		・B-2	・設置しない		・B-3	・ ()	
工法	種 別					断熱材の厚み	絶縁用シート	立上り部																																																	
		保護	断熱材、絶縁シート																																																						
・P2A	・A-1		・ポリイソシアネート (0.15mm以上)	・乾式保護材																																																					
	・A-2			・コンクリート押え																																																					
	・A-3			・れんが押え																																																					
・P1B	・B-1		・フッタンクロス (70kg/m ² 程度)	・ ()																																																					
	・B-2			・モルタル押え																																																					
	・B-3			・ ()																																																					
・P2AI	・AI-1	・ (mm)	・フッタンクロス (70kg/m ² 程度)	・ ()																																																					
	・AI-2			・設置する																																																					
	・AI-3			・ ()																																																					
・P1BI	・B-1		・ ()	・ ()																																																					
	・B-2			・設置しない																																																					
	・B-3			・ ()																																																					
3 アスファルト防水 (3.3.2)~(3.3.5) (表3.3.3)~(表3.3.10)	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.3.3から3.3.9までによる ・ ()</p> <p>平場の保護コンクリート こて仕上げ 厚さ ・水下80mm以上 ・ () 平坦さ ・a種 ・b種 ・c種</p> <p>床タイル張り 厚さ ・水下60mm以上 ・ () 屋根排水溝 <input type="radio"/> 図示 (図面番号 :)</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・M4C</td> <td>・C-1</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・C-2</td> </tr> <tr> <td>・C-3</td> </tr> <tr> <td>・C-4</td> </tr> <tr> <td>・M3D</td> <td>・D-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・POD</td> <td>・D-2</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・PODI</td> <td>・DI-1</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・M3DI</td> <td>・DI-2</td> <td>厚さ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・M4DI</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ・アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ () 設置数 ・ () 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフィングの巻き戻し位置 <input type="radio"/> 図示 ()</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種 別</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>・E-2</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>E-1の工程3を行う部位 ・貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ()</p>	工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用量	・M4C	・C-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様		・C-2	・C-3	・C-4	・M3D	・D-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・POD	・D-2	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・PODI	・DI-1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・M3DI	・DI-2	厚さ ()	・ ()	・ ()	・ ()	・M4DI						工法	種 別	保護層	・P1E	・E-1	・ ()	・P2E	・E-2	・ ()
工法	種 別				断熱材	仕上塗料		備 考																																																	
		種類	使用量																																																						
・M4C	・C-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																					
	・C-2																																																								
	・C-3																																																								
	・C-4																																																								
・M3D	・D-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																				
・POD	・D-2					・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																																
・PODI	・DI-1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																				
・M3DI	・DI-2					厚さ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																																
・M4DI																																																									
工法	種 別	保護層																																																							
・P1E	・E-1	・ ()																																																							
・P2E	・E-2	・ ()																																																							

4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)(3.4.3) (表3.4.1)~(表3.4.3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td> <td>・AS-T1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> </tr> <tr> <td>・AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS</td> <td>・AS-T3</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・M4ASI</td> <td>・AS-T1</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・POASI</td> <td>・AS-J1</td> <td>厚さ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>改修用ドレン</td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()</p> <p>粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.4.1から3.4.3までによる ・ ()</p> <p>屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ () 設置数量 ・改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ () 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート ・設置する ・設置しない 押え金物の材質、形状及び寸法 ・アルミニウム製 L-30×15×20mm程度 ・ ()</p> <p>屋根防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・POS</td> <td>・S-F1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S4S</td> <td>・S-M2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-F1</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M4S</td> <td>・S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・POSI</td> <td>・SI-F1</td> <td rowspan="2">厚さ ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S3SI</td> <td>・SI-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S4SI</td> <td>・SI-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・M4SI</td> <td>・SI-M2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> </table> <p>ルーフィングシートの厚み (S-F2, S-M2) ・軽歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4SI) ・非歩行 (・POS ・S4S ・S3S ・M4SI)</p> <p>防湿用フィルム (S1-F2, S1-M2) ・設置する ・設置しない</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ ・改修標準仕様書 表3.5.1~3.5.3までによる ・ ()</p> <p>絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート ・発泡ポリエチレンシート ・ () 固定金具の材質及び寸法形状 ・厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、スチール鋼板又は樹脂積層加工した鋼板 ・ ()</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量 ・ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ ()</p> <p>接着工法の目地処理 ・プレキャストコンクリート下地 () プレキャストコンクリート部材の隅部の増張り (種別S-F1, SI-F1の場合) ・行う ・行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け ・建築基準法に基づき定まる風圧力の () 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の保護モルタルの塗厚</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・P1S</td> <td rowspan="2">S-C1</td> <td>塗り厚さ</td> <td>工法</td> </tr> <tr> <td>・床塗り工法</td> <td>・7mm以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・下地モルタル塗り</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>床塗りの場合の床の目地 目地割り (・2m程度 最大目地間隔3m程度) ・ () 目地の種類 (・押し目地) ・ ()</p> <p>屋根防水 防水層の種類 <input type="radio"/> 図示 (図面番号 : A-11)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・POX</td> <td>・X-1</td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・X-1H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・L4X</td> <td>・X-1</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・X-1H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・X-2H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 ・主材料の製造所の仕様 ・ ()</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種 別</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>・Y-2</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>・Y-2</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 質</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 <input type="radio"/> シーリング充填工法 <input type="radio"/> シーリング再充填工法 <input type="radio"/> 拡幅シーリング再充填工法 <input type="radio"/> ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験 <input type="radio"/> 行わない</p>	工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	・製造所の仕様		・AS-T2	・AS-J2	・M3AS	・AS-T3		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・AS-T4	改修用ドレン	・AS-J1	改修用ドレン	・M4ASI	・AS-T1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・POASI	・AS-J1	厚さ ()	・ ()	・ ()	改修用ドレン	工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・S-F2	改修用ドレン	・S-M1	改修用ドレン	・S4S	・S-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S-F1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・M4S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S-M2	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・POSI	・SI-F1	厚さ ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S3SI	・SI-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S4SI	・SI-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・M4SI	・SI-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	工法	種 別	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタルの塗厚	・P1S	S-C1	塗り厚さ	工法	・床塗り工法	・7mm以上			・下地モルタル塗り	・ ()	工法	種 別	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・POX	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・X-1H	改修用ドレン	・X-2	改修用ドレン	・X-2H	改修用ドレン	・L4X	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・X-1H	改修用ドレン	・X-2	改修用ドレン			・X-2H	改修用ドレン	改修用ドレン	工法	種 別	保護層	・P1Y	・Y-2	・ ()	・P2Y	・Y-2	・ ()	種 別	材 質	施 工 箇 所	・SR-1	シリコーン系		・MS-2	変成シリコーン系		・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系	
	工法				種 別	断熱材		仕上塗料			備 考																																																																																																																																																																										
		種類	使用料																																																																																																																																																																																		
	・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	・製造所の仕様																																																																																																																																																																																
		・AS-T2																																																																																																																																																																																			
		・AS-J2																																																																																																																																																																																			
	・M3AS	・AS-T3		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																															
		・AS-T4					改修用ドレン																																																																																																																																																																														
		・AS-J1						改修用ドレン																																																																																																																																																																													
	・M4ASI	・AS-T1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																															
・POASI	・AS-J1	厚さ ()					・ ()	・ ()	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考																																																																																																																																																																																
			種類	使用料																																																																																																																																																																																	
・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																
	・S-F2					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
	・S-M1						改修用ドレン																																																																																																																																																																														
・S4S	・S-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
	・S-F1					種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																												
・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・M4S	・S-M1						・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
	・S-M2	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・POSI	・SI-F1					厚さ ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
・S3SI	・SI-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・S4SI	・SI-M1						・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
・M4SI	・SI-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
工法	種 別					保護層																																																																																																																																																																															
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタルの塗厚																																																																																																																																																																																		
・P1S	S-C1	塗り厚さ	工法																																																																																																																																																																																		
		・床塗り工法	・7mm以上																																																																																																																																																																																		
		・下地モルタル塗り	・ ()																																																																																																																																																																																		
工法	種 別	仕上塗料		備 考																																																																																																																																																																																	
		種類	使用料																																																																																																																																																																																		
・POX	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																	
	・X-1H				改修用ドレン																																																																																																																																																																																
	・X-2					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
	・X-2H				改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・L4X	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																	
	・X-1H				改修用ドレン																																																																																																																																																																																
	・X-2					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
		・X-2H	改修用ドレン	改修用ドレン																																																																																																																																																																																	
工法	種 別	保護層																																																																																																																																																																																			
・P1Y	・Y-2	・ ()																																																																																																																																																																																			
・P2Y	・Y-2	・ ()																																																																																																																																																																																			
種 別	材 質	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																			
・SR-1	シリコーン系																																																																																																																																																																																				
・MS-2	変成シリコーン系																																																																																																																																																																																				
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																																																																																				
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																																																																																				
5 合成高分子系シート防水ルーフィング (3.5.2)~(3.5.4) (表3.5.1)~(表3.5.3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・POS</td> <td>・S-F1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S4S</td> <td>・S-M2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-F1</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M4S</td> <td>・S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> <td rowspan="2">種類 ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・POSI</td> <td>・SI-F1</td> <td rowspan="2">厚さ ()</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S3SI</td> <td>・SI-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・S4SI</td> <td>・SI-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・M4SI</td> <td>・SI-M2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> </table>	工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用料	・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・S-F2	改修用ドレン	・S-M1	改修用ドレン	・S4S	・S-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S-F1	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・M4S	・S-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S-M2	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・POSI	・SI-F1	厚さ ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S3SI	・SI-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・S4SI	・SI-M1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン	・M4SI	・SI-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																														
工法	種 別				断熱材	仕上塗料		備 考																																																																																																																																																																													
		種類	使用料																																																																																																																																																																																		
・POS	・S-F1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																
	・S-F2					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
	・S-M1						改修用ドレン																																																																																																																																																																														
・S4S	・S-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
	・S-F1					種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																												
・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・M4S	・S-M1						・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
	・S-M2	種類 ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・POSI	・SI-F1					厚さ ()	・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
・S3SI	・SI-F2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
・S4SI	・SI-M1						・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																												
・M4SI	・SI-M2		・製造所の仕様	・製造所の仕様	改修用ドレン																																																																																																																																																																																
6 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1)~(表3.6.3)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・POX</td> <td>・X-1</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・X-1H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・L4X</td> <td>・X-1</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置</td> </tr> <tr> <td>・X-1H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・X-2H</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> <td rowspan="2">改修用ドレン</td> </tr> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 ・主材料の製造所の仕様 ・ ()</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種 別</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1Y</td> <td>・Y-2</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>・Y-2</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 質</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 <input type="radio"/> シーリング充填工法 <input type="radio"/> シーリング再充填工法 <input type="radio"/> 拡幅シーリング再充填工法 <input type="radio"/> ブリッジ工法</p> <p>シーリング材の試験 ・簡易接着性試験 ・引張接着性試験 <input type="radio"/> 行わない</p>					工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考	種類	使用量	・POX	・X-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・X-1H	改修用ドレン	・X-2	改修用ドレン	・X-2H	改修用ドレン	・L4X	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置	・X-1H	改修用ドレン	・X-2	改修用ドレン			・X-2H	改修用ドレン	改修用ドレン	工法	種 別	保護層	・P1Y	・Y-2	・ ()	・P2Y	・Y-2	・ ()	種 別	材 質	施 工 箇 所	・SR-1	シリコーン系		・MS-2	変成シリコーン系		・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																							
工法	種 別	断熱材	仕上塗料		備 考																																																																																																																																																																																
			種類	使用量																																																																																																																																																																																	
・POX	・X-1		・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																
	・X-1H					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
	・X-2						改修用ドレン																																																																																																																																																																														
	・X-2H					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
・L4X	・X-1	・製造所の仕様	・製造所の仕様	脱気装置																																																																																																																																																																																	
	・X-1H				改修用ドレン																																																																																																																																																																																
	・X-2					改修用ドレン																																																																																																																																																																															
		・X-2H	改修用ドレン	改修用ドレン																																																																																																																																																																																	
工法	種 別	保護層																																																																																																																																																																																			
・P1Y	・Y-2	・ ()																																																																																																																																																																																			
・P2Y	・Y-2	・ ()																																																																																																																																																																																			
種 別	材 質	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																			
・SR-1	シリコーン系																																																																																																																																																																																				
・MS-2	変成シリコーン系																																																																																																																																																																																				
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																																																																																				
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																																																																																				
7 シーリング (3.7.2) (表3.7.1)	<p>防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種 別</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-1</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>・E-2</td> <td>・ ()</td> </tr> </table> <p>E-1の工程3を行う部位 ・貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ ()</p>	工法	種 別	保護層	・P1E	・E-1	・ ()	・P2E	・E-2	・ ()																																																																																																																																																																											
工法	種 別	保護層																																																																																																																																																																																			
・P1E	・E-1	・ ()																																																																																																																																																																																			
・P2E	・E-2	・ ()																																																																																																																																																																																			

4 外壁改修工事	8 とい (3.8.2)(表3.8.1)(表3.8.2)	<p>材種 ・硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー) ・配管用鋼管 (白管) ・ ()</p> <p>とい受金物及び足金物</p> <table border="1"> <tr> <th>といの材種</th> <th>受金物・足金物の材種</th> <th>形状</th> <th>取付け間隔</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>工法 ・図示 (図面番号 :)</p> <p>部材の種類 ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())</p> <p>固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ () 表面処理 ・ ()</p> <p>工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号 :) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号 :) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号 :) 笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法は施工計画書として提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・防水</td> <td>・10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・シーリング</td> <td>・5年 ・年</td> </tr> </table> <p>※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。</p>	といの材種	受金物・足金物の材種	形状	取付け間隔					工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・防水	・10年 ・年		・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																		
	といの材種	受金物・足金物の材種	形状	取付け間隔																																																																																																																																	
	工事区分	材料名	保証年数																																																																																																																																		
	防水工事	・防水	・10年 ・年																																																																																																																																		
		・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																																		
	9 アルミニウム製笠木 (3.9.2)(3)(表3.9.1)(3.9.3)(2)(3.9.2)(4)(3.9.3)	<p>部材の種類 ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板材折曲げ形 (本体幅 () mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ())</p> <p>固定金具の間隔 (mm) 固定方法 ・ () 表面処理 ・ ()</p> <p>工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示 (図面番号 :) 下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号 :) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示 (図面番号 :) 笠木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号 :)</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔固定方法は施工計画書として提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・防水</td> <td>・10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・シーリング</td> <td>・5年 ・年</td> </tr> </table> <p>※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。</p>	工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・防水	・10年 ・年		・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																										
	工事区分	材料名	保証年数																																																																																																																																		
	防水工事	・防水	・10年 ・年																																																																																																																																		
		・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																																		
10 保証書	<table border="1"> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>・防水</td> <td>・10年 ・年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・シーリング</td> <td>・5年 ・年</td> </tr> </table> <p>※防水施工業者、製作メーカー、受注者の連名により提出する。</p>	工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・防水	・10年 ・年		・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																											
工事区分	材料名	保証年数																																																																																																																																			
防水工事	・防水	・10年 ・年																																																																																																																																			
	・シーリング	・5年 ・年																																																																																																																																			
1 施工数量調査 (3.5.2)	<p>・行う ・行わない [ポンプ棟のみ] 調査範囲 ・ () 調査項目 <input type="radio"/> ひび割れ部 (・幅0.2mm ・0.2mm~1.0mm ・1.0mm以上) <input type="radio"/> はがれ及びはく落部分 <input type="radio"/> 浮き部 調査方法 <input type="radio"/> 打診、目視及びクラックスケール等 (<input type="radio"/> 足場 ・ゴンドラ) 報告書 1部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)</p>																																																																																																																																				
2 改修工法の種類 (4.1.4)(4.1.5)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">外壁</th> <th rowspan="2">種 別</th> <th colspan="2">改修工法</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・コンクリート打直し 仕上げ外壁</td> <td rowspan="2">ひび割れ部</td> <td>・樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・Uカットシール材充填工法</td> <td>・シール工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">ひび割れ部</td> <td>・充填工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・Uカットシール材充填工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・シール工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・充填工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・アンカービンニング</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・注入口付アンカービンニング</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・充填工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・タイル部分張替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・タイル張替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・アンカービンニング</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・注入口付アンカービンニング</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂注入工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・タイル部分張替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・タイル張替え工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・目地ひび割れ部改修工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・伸縮調整目地改修工法</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・薄付け仕上げ塗材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・複層仕上げ塗材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・可とう形改修用仕上げ塗材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・マスク塗材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">欠損部</td> <td rowspan="2">浮き部</td> <td>・外壁用塗膜防水材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> <tr> <td>・外壁用塗膜防水材塗り</td> <td>・改修工法</td> </tr> </table>	外壁	種 別	改修工法		種 別	種 別	・コンクリート打直し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・樹脂注入工法	・改修工法	・Uカットシール材充填工法	・シール工法	欠損部	ひび割れ部	・充填工法	・改修工法	・樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・Uカットシール材充填工法	・改修工法	・シール工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・充填工法	・改修工法	・モルタル塗替え工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・アンカービンニング	・改修工法	・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・注入口付アンカービンニング	・改修工法	・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・充填工法	・改修工法	・モルタル塗替え工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・樹脂注入工法	・改修工法	・樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・タイル部分張替え工法	・改修工法	・タイル張替え工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・アンカービンニング	・改修工法	・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・注入口付アンカービンニング	・改修工法	・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	・エポキシ樹脂注入工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・タイル部分張替え工法	・改修工法	・タイル張替え工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・目地ひび割れ部改修工法	・改修工法	・伸縮調整目地改修工法	・改修工法	欠損部	浮き部	・薄付け仕上げ塗材塗り	・改修工法	・複層仕上げ塗材塗り	・改修工法	欠損部	浮き部	・可とう形改修用仕上げ塗材塗り	・改修工法	・マスク塗材塗り	・改修工法	欠損部	浮き部	・外壁用塗膜防水材塗り	・改修工法	・外壁用塗膜防水材塗り	・改修工法
外壁	種 別			改修工法																																																																																																																																	
		種 別	種 別																																																																																																																																		
・コンクリート打直し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・Uカットシール材充填工法	・シール工法																																																																																																																																		
欠損部	ひび割れ部	・充填工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・Uカットシール材充填工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・シール工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・充填工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・モルタル塗替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・アンカービンニング	・改修工法																																																																																																																																		
		・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・注入口付アンカービンニング	・改修工法																																																																																																																																		
		・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・充填工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・モルタル塗替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・タイル部分張替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・タイル張替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・アンカービンニング	・改修工法																																																																																																																																		
		・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・注入口付アンカービンニング	・改修工法																																																																																																																																		
		・部分エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・全面エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・エポキシ樹脂注入工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・タイル部分張替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・タイル張替え工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・目地ひび割れ部改修工法	・改修工法																																																																																																																																		
		・伸縮調整目地改修工法	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・薄付け仕上げ塗材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
		・複層仕上げ塗材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・可とう形改修用仕上げ塗材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
		・マスク塗材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
欠損部	浮き部	・外壁用塗膜防水材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
		・外壁用塗膜防水材塗り	・改修工法																																																																																																																																		
3 改修工法等 (4.2.4)(1)(4.2.5)(4.3.6)(4.4.6)	<p>・樹脂注入工法 種類 ・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 () ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 注入量 () 注入間隔 ()</p> <p>コア抜取検査 ・行う ・行わない ・ 抜取り個数 () ・ 抜取り部分補修方法 ()</p> <p>・Uカットシール材充填工法 材料 ・シーリング用材充填 (・PU-1 ・PU-2 ・ ()) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・行う ・行わない</p> <p>・シール工法 材料 <input type="radio"/> バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・充填工法 材料 <input type="radio"/> エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 材料 ・現場調査材料 ・ 既調査材料 ・</p>																																																																																																																																				

(4.3.5) (6)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	アンカーピンの本数	標準	()
(4.3.11) (4.4.9)	アンカーピンの本数	標準	()	
(4.3.12) (4.4.10)	アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()	
(4.3.5) (6)	アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()
(4.3.13) (4.4.11)	アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()	
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	注入口付アンカーピンの本数	標準	()
(4.3.14) (4.4.12)	注入口付アンカーピンの本数	標準	()	
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()
(4.3.15) (4.4.13)	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()	
(4.3.5) (7)	注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()
(4.3.16) (4.4.14)	注入口付アンカーピンの本数及び注入口の寸法	標準	()	
(4.4.15)	注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	注入口付アンカーピンの本数	()	
(4.4.5)	タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法	材料		
(4.4.7)	タイル部分張替え工法	張替え材料	ポリマーセメントモルタル	
(4.4.8)	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	備考
(4.4.8) (表4.4.2)	外装タイル	小口平二丁掛100角	密着張り	現場調査モルタル
(4.4.8) (3)	試験張り	行う	行わない	
(4.4.8) (8)	有機系接着剤張りのコンクリート素地の下地処理の方法			
(4.4.5) (5)	目地ひび割れ部改修工法	伸縮調整目地	(位置)	(寸法)
(4.4.16)	伸縮調整目地改修工法	検査	シーリング接着性試験	行う ()
(4.5.4)	塗り仕上げ	既存塗膜等の除去及び下地処理	工法	処理範囲
(4.5.5)	下地調整	C-1	C-2	CM-2
(4.5.2)	薄付け仕上塗材	呼び名	仕上形状	工法
(表4.5.1(その1)(その2))	薄付け仕上塗材	外装薄塗材E	砂壁状	吹付け
(4.6.2) (表4.6.1)	厚付け仕上塗材	外装厚塗材C	吹放し	吹付け
	厚付け仕上塗材	外装厚塗材Si	吹放し	吹付け
	厚付け仕上塗材	外装厚塗材E	吹放し	吹付け
	複層仕上塗材	複層塗材E	吹放し	吹付け
	複層仕上塗材	複層塗材RE	吹放し	吹付け
	可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材E	吹放し	吹付け
	可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材RE	吹放し	吹付け
	可とう形改修用仕上塗材	可とう形改修塗材CE	吹放し	吹付け

(表4.5.2)	複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類	樹脂種類	溶媒種類	外観
(表4.7.1)	外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法	種類	仕上げの形状	工法
5	建具改修工事	1 改修工法	かぶせ工法	カバー工法
		2 防火戸	例示仕様	個別認定
		3 見本の製作	製作する	製作しない
		4 防犯建物部品	再使用する	再使用しない
		6 アルミニウム製建具	外部建具の性能等級	A種
		7 網戸	防虫網の材質	合成樹脂製
		8 樹脂製建具	外部に面する樹脂製建具の性能等級	A種
		9 鋼製建具	鋼製建具の性能等級	簡易気密性ドアセット
		10 鋼製軽量建具	鋼製軽量建具の性能等級	簡易気密性ドアセット
		11 ステンレス製建具	ステンレス製建具の性能等級	簡易気密性ドアセット

12	木製建具	含水率	A種	B種
13	建具用金物	金物の見え掛り部等の材質	改修標準仕様書(表5.8.1)による	
14	自動ドア開閉装置	駆動装置及び検出装置の性能値	車椅子使用者用便所出入口用	
15	自閉式上吊り引戸装置	自閉式上吊り引戸装置の性能値	改修標準仕様書(表5.10.1)による	
16	重量シャッター	種類	管理用シャッター	外壁用防火シャッター
17	軽量シャッター	開閉形式	上部電動式	手動式
18	オーバヘッドドア	型式及び機構	セクション材料	スチールタイプ
19	板ガラス	ガラスの種類	単層ガラス	複層ガラス
20	ガラス用材	シーリング	ガスケット	
21	ガラス溝の寸法、形状等	ガラス溝の寸法、形状等		
22	ガラスブロック積み	ガラスブロック積み		
6	内装改修工事	1 一般事項	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲	改修部分
			天井	壁
			床	壁
			天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲	壁面から600mm程度
			天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修	既存のまま
			既存床撤去、下地補修	既存床仕上げ材の除去等
			合成樹脂塗床材の除去等	機械的除去工法
			既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法	

4	木下地等 (6.5.2)(1)(4) (表6.5.1)	木材の含水率(工事現場搬入時、質量比)	<table border="1"> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>下地材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </table>	部材名称	種 別	下地材	・ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種																															
		部材名称	種 別																																					
		下地材	・ A種 ・ B種																																					
		造作材	・ A種 ・ B種																																					
		(6.5.2)(2)(7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材	<table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>材面の品質</th> </tr> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
		部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																																	
		下地用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
		針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
		造作用	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
		針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
		広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
		(6.5.2)(2)(4)	「製材の日本農林規格」以外の製材	樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)																																				
(6.5.2)(2)(9)	造作材の材面の品質	・ A種 ・ ()																																						
(6.5.2)(2)(9)	樹種	<table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> <tr> <td>・ 内部間仕切軸組、床組</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 窓、出入口</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 床板張り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 壁、天井下地</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	部 位	樹 種	県 産 材	・ 内部間仕切軸組、床組			・ 窓、出入口			・ 床板張り			・ 壁、天井下地																									
部 位	樹 種	県 産 材																																						
・ 内部間仕切軸組、床組																																								
・ 窓、出入口																																								
・ 床板張り																																								
・ 壁、天井下地																																								
(6.5.2)(3)(7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材	<table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>品 名 ・ 樹 種</th> <th>見付け材面の寸法・品質・数</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧張り造作用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> <tr> <td>化粧張り構造用集成材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		化粧張り造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	化粧張り構造用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																						
部 位	品 名 ・ 樹 種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																																					
造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																						
化粧張り造作用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																					
化粧張り構造用集成材	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	・ ()																																					
(6.5.2)(3)(4)	「集成材の日本農林規格」以外の製材	樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 15%以下 ・ ()																																						
(6.5.2)(4)(7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	<table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>品名・寸法</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> </tr> </table>	部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																														
部位	品名・寸法	表面の品質	防虫処理																																					
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()																																					
(6.5.2)(4)(4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材	寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:) 含水率 ・ 14%以下 ・ ()																																						
(6.5.2)(5)	「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材	品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)																																						
(6.5.2)(6)	・ 合板等	<table border="1"> <tr> <th>品名(品目)</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																															
品名(品目)	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																		
(6.5.3)(1)	接合具等 造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()																																							
(6.5.3)(2)	諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)																																							
(6.5.5)(1)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号:) 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等の処理方法 () 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する (・ 薬剤の種類 () ・ 適用部位 ()) ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ()																																							
(6.5.5)(2)	・ 防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)																																							
5	軽量鉄骨天井 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類	・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ ()																																					
		形式及び寸法	・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:) ・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:) ・ ふところ高≥3.0m ・ 図示 (図面番号:)																																					
		既存埋込みインサート	・ 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う)																																					
		既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験	・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 () 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示 (図面番号:)																																					
6	軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	スタッド、ランナー等の種類	・ 図示 (図面番号:)																																					
		材料	① ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】																																					
7	ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)(1) (6.8.2)(2)	種類	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FS</td> <td>無地</td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	無地	2.0mm																														
		種類の記号	色柄	厚さ	備考																																			
FS	無地	2.0mm																																						
		<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>KT</td> <td></td> <td></td> <td>2.0mm</td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考	KT			2.0mm																													
種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考																																				
KT			2.0mm																																					

6.8.2(3)(7)(4)	帯電防止床シート又は床タイル	種類	性能	寸法	厚さ	備考								
		6.8.2(3)(9)	視覚障害者用床タイル	種類	形状	備考								
				ビニル床タイル	300×300×7.0mm									
				6.8.2(3)(4)	耐動荷重性床シート	種類	厚さ	備考						
						6.8.2(3)(4)(8)	防滑性床シート又は床タイル	種類	寸法	厚さ	備考			
6.8.2(5)	ゴム床タイル							種類	色柄	寸法	厚さ	備考		
		6.8.3(1)	工法					下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()						
								ビニル床シート張り						
								熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない						
				8	カーペット敷き (6.9.2)(1) (表6.9.1)			種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	
								・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ソモ毛 ・ 絨糸	・ カットパイル ・ ループパイル	・ 人体帯電電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地 ・ 柄物	
								品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)						
						6.9.2(2)	タフテッドカーペット (表6.9.2)	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度		
								・ カットパイル ・ ループパイル		・ 人体帯電電圧 3KV以下	・ グリッパ工法	・ ()		
6.9.2(3)	タイルカーペット (表6.9.2)							種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		
									・ カットパイル ・ ループパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()		
		6.9.2(4)	下敷き材					第2種第1号、厚さ8mm ・ ()						
								見切り、押え金物 ・ 適用する(材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))						
				6.9.3(3)	織じゅうたんの接合方法			ヒートボンド工法 ・ ()						
						6.9.3(5)	タイルカーペットの敷き方	平場 ・ 市松敷き ・ 根柢流し ・ ()						
								階段部分 ・ 市松敷き ・ 根柢流し ・ ()						
9	合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) (6.10.3)(2)(b) (表6.10.5)~ (表6.10.8)							弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工法						
								・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ						
								エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類						
		・ 薄膜流しのべ仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)												
		・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防滑)												
		・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)												
		10	フローリング張り (6.11.4) (表6.11.2)	釘留め工法										
				材料	種類			樹種						
				・ フローリングボード(根柢張用)				・ なら						
				・ フローリングボード(直張用)		・ ()								
				・ 複合フローリング(根柢張用)	・ A種 ・ B種 ・ C種									
				・ 複合フローリング(直張用)										
防湿処理 ・ 図示 (図面番号:)														
6.11.5)	接着工法			材種	樹種	厚さ	幅・長さ							
				・ フローリングボード(直張用)										
				・ 複合フローリング(直張用)	・ なら									
				・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()									
				・ フローリングブロック(直張用)										
		緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)												
		6.11.6)	塗替え	下地調整										
				塗装 ・ ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形、B種) ・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り										
				・ 生地のままワックス塗り ・ ()										
				①	畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別	A種 ・ B種 ・ C種	D種						
						D種の畳床 K T - (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)								
						衝撃緩和型畳の畳表 (J I S A 5902) ・ C 1 ・ C 2								
12	せっこうボード (6.13.3)(4)(9) (6.13.3)(6) (表6.13.5)					材種	種別	厚さ(mm)						
						・ せっこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)						
								天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)						
						・ 化粧せっこうボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(準不燃)						
							・ 木目模様	・ 9.5(準不燃) ・ 9.5(準不燃)						
						・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9() ・ ()						
			・ 立体模様			・ 9() ・ ()								
		・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK											
		合板類の張付け ・ A種 ・ B種												
		せっこうボードの目地工法												
		・ 縦目処理 ・ 突付け(・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ) ・ 目透し(・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)												

③	壁紙張り (6.14.2)	施工箇所	種類	防火性能								
		詰所棟 和室・廊下	AA	・ 不燃 () 準不燃								
		6.14.3)	素地ごしらえ	下 地	種 別							
				モルタル、せっこうプラスター面	・ A種 ・ B種							
				コンクリート面	・ A種 ・ B種							
				せっこうボード面	・ A種 ・ B種							
				14	モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料						
						既製目地材 ・ 使用する(形状:)						
						床の目地 ・ 図示(図面番号:)						
						下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示(図面番号:)						
15	タイル張り (6.16.2) (6.16.3)					伸縮調整目地						
						位置 ・ 図示(図面番号:)						
						タイルの種類						
						施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無	
		6.16.3(2)	試験張り ・ 行う ・ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない									
6.16.3(5)	壁タイル張りの工法			内装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り)								
				ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)								
				16	セルフレベリング材塗り (6.17.2)(6.17.3)	せっこう系 ・ セメント系						
						塗厚 () mm						
						17	断熱材 (9.3.2)	断熱材打込み工法				
								種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	
								・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				
		・ 押出法ポリスチレンフォーム										
		・ A種硬質ウレタンフォーム										
		・ フェノールフォーム										
9.3.3)	断熱材現場発泡工法(吹付硬質ウレタンフォーム)	種類	厚さ[mm]	施工箇所								
		・ A種1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版								
		・ A種1H		下等、部分的に後張りとしなければならない箇所								
		・ ()		・ ()								

7	塗装改修工事	① 材料 (7.1.3)	① 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ② 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)							
		② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR B種の場合) ① 図示(図面番号:)							
		③ 素地ごしらえ (7.3.1~7.3.7) (表7.3.1)~ (表7.3.7)	種別	下地	種別	ひび割れ部の補修				
				・ 木部	・ RA種 () RD種 () RC種 ()					
				・ 鉄鋼面	・ RA種 () RD種 () RC種 ()					
				・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 () RD種 () RC種 ()					
				・ モルタル、せっこうプラスター面	・ RA種 () RD種 () RC種 ()	・ 行う				
				・ コンクリート、A L Cパネル面	・ RA種 () RD種 () RC種 ()	・ 行う				
				・ 押出成形セメント板面、コンクリート面(DP塗装)	・ RA種 () RD種 () RC種 ()	・ 行う				
				・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 () RD種 () RC種 ()					
④ 錆止め塗料塗り (7.4.2)(7.4.3) (表7.4.1)~ (表7.4.5)	錆止め塗料種別	鉄鋼面 () A種 () B種 () C種 () D種 () E種								
		亜鉛めっき鋼面 ・ A種 () B種 () C種 ()								
		錆止め塗料塗り種別								
		鉄鋼面 () A種 () B種 () C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種	・ B種	・ C種				
		⑤ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.5.2~7.5.4) (表7.5.1)~ (表7.5.3)	塗料種別	下地	種別					
				・ 木部	・ A種 () B種 () C種 ()					
				・ 鉄鋼面	・ A種 () B種 () C種 ()					
				・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 () B種 () C種 ()					
				6	クイヤラッカー塗り(DL) (7.6.2)(表7.6.1)	種別				
						木部 ・ A種(工種2の着色: ・ 溶剤系ステイン ・ オイルステイン) ・ B種				
7	アクリル樹脂系非水分散形塗料(MA) (7.7.2)(表7.7.1)					種別	・ A種 ・ B種			
						⑧ 耐候性塗料塗り(DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.3)	上塗り等級	1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) () 3級(ポリウレタン系)		
		下地	種別							
		コンクリート面及び	・ A-1種 ・ A-2種					・ B-1種	・ B-2種	
		押出成形セメント板面	・ C-1種					・ C-2種		

9 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別	下地	種別
	コンクリート、モルタル、 プaster、せつこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ()	
	木部 (屋内) 鉄鋼面 (屋内) 亜鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種	
① 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別	・ A種 () B種 () しみ止め ()	
① ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.11.2) (表7.11.1)	種別	・ A種 () B種 ()	
12 スティン塗り (7.12.2) (表7.12.1)	種類	・ ビグメントスティン塗り ・ オイルスティン塗り オイルスティン塗りの工程、塗料 ()	
13 木材保護塗料 塗り (WP) (7.13.2) (表7.13.1)	種別	・ A種 ・ B種	
8 の 1 耐震改修工事 共通事項	(一般事項) ① 適用範囲	工事内容 ・ 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・ 鉄骨プレースの設置工事 ・ 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・ 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・ 連続繊維補強工事 ・ 耐震スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 工事種別 ・ 鉄筋工事 ・ あと施工アンカー工事 ・ コンクリート工事 ・ 鉄骨工事 ・ グラウト工事 ・ 連続繊維補強工事 ・ スリット新設工事 ・ 免震改修・制振改修工事 ・ 土工事及び地業工事	
	① 既存部分の撤去 等 (8.21.2)	撤去の範囲 ・ 図示 (図面番号: S-05.06) ・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分 ・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分 () 既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置 本工事の範囲 ・ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分 ・ 設備機器及び配管、壁類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。 () 撤去範囲 ・ 図示 (図面番号:)	
8 の 2 耐震改修工事 撤去工事	② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.4)	既存構造体の撤去 撤去範囲 () 図示 (図面番号: S-05.06.09) はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断 鉄筋の切断 範囲 適用 ・ 既存鉄筋は切断せず残す ・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ・ コンクリートの撤去範囲の周囲 より一定長さを残し切断する ・ 図示 (図面番号:) ・ 全ての撤去部分 ・ () ・ 適用なし ・ コンクリート撤去範囲の鉄筋は 切断する ・ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存 鉄筋コンクリートの範囲 ・ () はつりだした鉄筋の処置 ・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。 () はつりだした鉄骨の処置 ・ 免泡スチロール等で養生する。 ()	
	(既存部分の処理) 3 既存構造体コン クリートの表層 目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)	既存構造体コンクリート面の表層目荒らし 目荒らし程度 ・ 平均深さ2~5mmで最大深さ5~7mm程度の凹面を、打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように施す。 ・ 図示 (図面番号:)	

8 の 3 耐震改修工事 鉄筋工事	1 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1)	材料 改修標準仕様書(表8.2.1)による 種別 径(mm) ・ SD295 ・ SD345 ・ SD390 ・ ()
	2 溶接金網 (8.2.2)	網目の形状、寸法及び鉄線の径 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)
	3 加工 (8.3.2)	90°未満の折曲げの内法直径 図示 (図面番号:)
	4 鉄筋の継手及び 定着 (8.3.4)	径 部位 重ね継手 ・ D16以下 ガス圧接 ・ D19以上 主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ ・ 改修標準仕様書(8.3.4)(3)(7)による ・ 図示 (図面番号:) 継手位置 ・ 各部配筋参考図による ・ 図示 (図面番号:) 先組み工法等 ・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所にはつりださず 鉄筋の定着長さ ・ 改修標準仕様書(表8.3.4)による ・ (表8.3.4)のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 図示 (図面番号:) ・ 図示 (図面番号:) 機械式定着工法 適用箇所 () 種類 () 帯筋組立の形、継手及び定着 ・ 図示 (図面番号:) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ () mm
	5 鉄筋のかぶり厚 さ及び間隔 (8.3.5) (表8.3.6)	図示 (図面番号:)
	6 各部配筋 (8.3.8)	圧接完了後の試験 超音波探傷試験 行う 行わない
	7 ガス圧接 (8.3.8)	割製補強筋の適用 種類 材料 材種 径 本数・ピッチ 適用箇所 ・ スパイラル筋 ・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼 () ・ R235 ・ 6Φ スパイラルの径(mm) ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ () スパイラルのピッチ(mm) () 8 割製補強筋 () ・ はしご筋 ・ 鉄筋コンクリート用 棒鋼(異形鉄筋) ・ 295 ・ 10 壁内方向筋 () ・ () ・ () 壁面外方向筋 () 9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)
	8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	・ 機械式継手 種類 () 適用箇所 () 性能 () 鉄筋相互のあき () mm 試験項目 () 方法 () 不合格となった継手部への措置等 () ・ 溶接継手 工法 () 適用箇所 () 性能 () 鉄筋相互のあき () mm 試験対象 () 不合格となった溶接部への措置等 ()
	9 鉄筋の機械式継 手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3)	コンクリートの種類 ・ I類 ・ II類 1 コンクリートの 種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4)
	8 の 4 耐震改修工事 コンクリ ート工事	普通コンクリートの設計基準強度 設計基準強度F _c [N/mm ²] 適用範囲 気乾単位容積質量 スランプ ・ 24 () ・ 2.3t/m ³ 程度 () (8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1)
2 構造体コンクリ ートの仕上り (8.1.4) (表8.1.4) (表8.1.5)	合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリートの仕上りの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種 3 コンクリートの 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	
3 コンクリートの 材料 (8.2.5) (表8.2.3)	セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント 材料 ・ 高炉セメントA種 ・ シリカセメントA種 ・ フライアッシュセメントA種 ・ () ・ 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種 適用箇所 ()	

4 混和材料 (8.2.5)	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ・ A ・ B ・ 特殊な骨材の使用 ・ フェロニッケルスラグ骨材 ・ 鋼スラグ骨材 ・ 電気炉酸化スラグ骨材 ・ 再生骨材H (普通エコセメントを使用するコンクリートに限る)	
	5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)	・ 混和剤 混和剤の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(a)による ・ 図示 (図面番号:) ・ 混和材 混和材の種類 ・ 改修標準仕様書(8.2.5)(4)(b)による ・ 図示 (図面番号:) 構造体強度補正值 (S) ・ 3N/mm ² ・ 6N/mm ² ・ ()
	6 養生 (8.7.7)	・ 普通エコセメント使用の場合の湿潤養生期間 ()
	7 型枠 (8.2.7) (8.7.8)	材料 ・ 複合合板 (厚さ ・ 12mm ()) スリーブ ・ 材種 () 規格 () 型枠存置期間及び取り外し ・ 普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 ()
	8 層中コンクリ ート (8.10.2)	構造体強度補正值 (S) ・ 6N/mm ² ・ ()
	9 無筋コンクリ ート (8.11.1)	コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート () 設計基準強度 ・ 18N/mm ² () スランプ ・ 15cm ・ 18cm ()
	10 コンクリートの 打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)	部位別のコンクリートの打設工法の指定 補強工法 打設工法 部位 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2) ・ () ・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 現場打ち鉄筋コンクリート壁 の増設工事 ・ 工法指定なし ・ () ・ 図示 (図面番号:) ・ () 鉄筋コンクリート柱の溶接金 網巻き工法及び溶接閉鎖フ ープ巻き工法 ・ 流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(7)及び(2) ・ () ・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 全ての増設壁 改修標準仕様書(8.21.8)(1)(4)及び(3) ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ () ・ 全ての増設壁 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
	(8.23.6)	柱頭柱脚の隙間部間の型枠 ・ 免泡プラスチック保温材等を埋込む () 柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示 (図面番号:) 打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 60mm () ・ 図示 (図面番号:)
	11 増設壁工事後の 仕上げ (8.21.10) (8.23.7)	

8 5 耐震 改修 工事 あと 施工 アンカー 工事	1 あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	種類 ・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号:) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号:) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	2 あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の調査の方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ・ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験による引張試験 ・ () 1ロットの単位 ・ 1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1ロットに対し3本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ ()

8 6 耐震 改修 工事 鉄骨 工事	1 鉄骨製作工場 (8.1.5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S
	2 鉄骨製作工場における 施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない () ・ する ()
3 鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 () 図示 (図面番号: S-05・06・07・09・10)	
4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 () トルシア形高力ボルト2種 (S10T) ・ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト1種 (F8T相当) ねじの呼び () 図示 (図面番号: S-05・06・09・10) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示: 図面番号) JIS形・ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合の回転量 ・ ()	
5 溶接材料 (8.2.10)	改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 () 図示 (図面番号:)	
6 仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない ()	
7 溶接作業を行う 技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない ()	
8 溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 () 図示 (図面番号: S-06・07・10)	
9 溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号:) 切断面の仕上げ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場がJ、R、Mグレードの場合は、溶接技能者がNPO法人日本エンドタブ協会による図形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A級以上) 又はAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場がH、Sグレードの場合は、溶接技能者がAW検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。こと。 板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号:) スカラップの形状 () 図示 (図面番号:)	
10 溶接部の試験 (8.15.12)	溶接部の外観試験 () 試験方法 (浸透探傷試験) () 確認方法 (目視) 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (4) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ () 検査水準 ・ 第6水準 () ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 () 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (平成31年版) (7.6.12) (4) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ ()	

11 鉄骨の錆止め塗装 (8.17.2) (8.17.4)	鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ・ 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) () 種 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書 (7.3.2) (表7.3.1) () 種 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・ 図示 (図面番号:)								
12 耐火被覆の種類及び性能 (8.18.2) (8.18.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	部位	種類	材料・工法	耐火性能				
部位	種類	材料・工法	耐火性能						
13 プレース設置 工事後の仕上げ (8.22.9)	・ 図示 (図面番号:)								
14 スタッド (8.2.11)	スタッドの種類 ()								

8 7 耐震 改修 工事 グラウト 工事	(グラウト工事) 1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (8.2.12) (表8.2.5) (表8.2.10)	構造体用モルタル ・ 改修標準仕様書 (8.2.6) 及び (8.2.12) による。 無収縮モルタル ・ 改修標準仕様書 (8.2.12) (1) による ・ () グラウト材 ・ 改修標準仕様書 (8.2.12) (2) による。 増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法								
(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨プレースの設置工事等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増設壁の上</td> <td>グラウト材を注入</td> <td>寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> </tr> </tbody> </table>	部位	処理方法	備考	増設壁の上	グラウト材を注入	寸法は図示による	()	()	()
部位	処理方法	備考								
増設壁の上	グラウト材を注入	寸法は図示による								
()	()	()								
2 既存構造体との 取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)										

8 8 耐震 改修 工事 柱 補強 工事	(連続繊維補強工事) 1 連続繊維シート 等による工法 (8.24.1)	連続繊維による補強、補修工法 ・ (財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。 ・ ()
2 連続繊維シート 及び含浸接着剤 等の材料 (8.2.13)	連続繊維の材料 ・ () 工法 ・ () 引張強度 (含浸硬化後) ・ () ヤング係数 (含浸硬化後) ・ ()	
3 連続繊維シート の施工準備	仕上げモルタルの除去 ・ 既存構造体面まで除去する ・ モルタル除去は行わない ・ () 既存モルタルの圧縮強度測定 ・ 行う () ・ 行わない () ひび割れ部の改修工法 ・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法	
4 鋼板巻き工法及 び帯板巻き付け 工法 (8.23.6)	柱頭柱脚の隙間寸法 ・ 図示 (図面番号:)	
5 耐震補強後の仕 上げ (8.23.7) (8.24.7)	・ 図示 (図面番号:)	
6 炭素繊維シート の施工	炭素繊維の目分量 ・ 図示 (図面番号:) ・ 200g/m ² ・ 300g/m ² ・ () 炭素繊維シートの巻き数 ・ 図示 (図面番号:) ・ 1巻き ・ 2巻き ・ ()	
7 連続繊維補強材 の強度試験 (8.24.6)	引張強度試験 ・ 実施する (JIS A1191に準拠する) 試験数量 () ・ 実施しない 付着強度試験 ・ 実施する (JIS A6909に準拠する) 試験数量 () ・ 実施しない 耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状	

8 9 耐震 補強 工事 スリット 新設 工事 免震 改修 工事 制振 改修 工事	(耐震スリット新設工事) 1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)	耐震スリットの種類及び形状 完全スリットの形状 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>()</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 切断してよい ・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 部分スリットの形状 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>()</td> <td>()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W (mm)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td>・ 図示 (図面番号:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さ</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ts (mm)</td> <td>・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		一般型	一面せん断型		記号	()	()		形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)			・ ()	・ ()		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()			片側スリット	両面スリット		記号	()	()		形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)		幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)			・ ()	・ ()		目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下		ts (mm)	・ ()	・ ()		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい	
	一般型	一面せん断型																																																								
記号	()	()																																																								
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																								
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																								
	・ ()	・ ()																																																								
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()																																																								
	片側スリット	両面スリット																																																								
記号	()	()																																																								
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																								
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)																																																								
	・ ()	・ ()																																																								
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下																																																								
ts (mm)	・ ()	・ ()																																																								
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい																																																								
2 スリットの施工	スリット部の配管等の調査 範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。 ・ 図示 (図面番号:) ・ () 方法 ・ 鉄筋探知機 (金属探知器) により調査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 スリットの逃げ位置 壁上部部 ・ 梁との接合部 () 壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃がしたきわ部 () 壁下部部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 () 撤去部の補修 ・ 図示 (図面番号:) 充填材 ・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 () ・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()																																																									
3 免震・制振改修 (8.26.1)~ (8.27.9)	免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。																																																									

8 10 その他 工事	1 土工事 (8.28.2) (8.28.3)	既存杭の撤去 ・ 図示 (図面番号:) 埋戻し及び盛土の材料及び工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 建設発生土の処理 建設発生土は、土砂等の崩落、飛散又は流出による災害の防止及び生活環境の保全上支障が生じないよう、関係法令等に基づき適正に処理すること。 ・ 現場内利用できる ・ 仮置き場所 () ・ 運搬距離 (Km) ・ 現場内利用できない ・ 受入地指定 受入地の条件 ・ 受入先、施工条件、特定条件等 (図面番号:) ・ 運搬距離 (Km) ・ 受入料金あり ・ 受入料金なし ・ 受入地未定につき別途協議する。 暫定運搬距離 (Km)
2 地業工事 (8.28.4)	杭の施工監理 杭工事特記仕様書による。 適用基準 本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日) 施工記録 受注者は、杭の施工期間中は、1週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。 根拠資料 共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。 保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。 試験杭及び試験掘 ・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 ・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。 杭の支持層 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ () 水平方向の位置ずれの精度 ・ () mm以下	

9 ① 石綿含有建材の除去工事 (9.1.1)

杭の載荷試験
試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

地盤の載荷試験
試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示(図面番号:) 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

杭地業の工法、寸法
・ 図示(図面番号:)

杭頭処置
・ 行う ・ 行わない

砂利及び砂地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 60 ・ ()
捨てコンクリート地業
範囲 ・ 図示(図面番号:) 厚さ(mm) ・ 50 ・ ()

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点
・	測定2	処理作業前	調査対象室外部の付近	計点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点
・	測定4	処理作業中	負圧・除じん装置の排気出口 出口吹出し風速1m/s 以下の位置	計点
・	測定5	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室外(敷地境界)	計点
・	測定6	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計点
・	測定7	処理作業後シート 撤去後1週間以降	処理作業室内	計点
・	測定8	処理作業後シート 撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点

測定方法

	測定 3	測定 1, 2, 4, 6, 7, 8	測定 5
メンプレフィルタ直径(mm)	25	25	47
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ ()	・ 10 ・ ()
試料の吸引時間(min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ ()	・ 240 ・ ()

(9.1.3) 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

(9.1.4) 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

(9.1.5) 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号: A-09.16)
石綿含有せっこうボードの処分
① 埋立処分(管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
② 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)

(9.1.6) 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ・ 図示(図面番号:)
除去方法 ・ ()
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融又は無害化による)
汚泥としての処理 ・ 必要 ・ 不要
※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル(令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。
・ 除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2 外断熱改修工事 (9.2.2)

断熱材

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.2.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし
下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.2.4) 工法
通気層の有無 ・ あり(mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
不陸等の下地調整 ・ 行う

3 断熱・防露改修工事 (9.3.2)

断熱材打込み工法

種類	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.3.3) 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()
厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示(図面番号:)

現場発泡断熱材(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.3.4) 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ[mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有 ・ 無	
・ ()	・ 有 ・ 無	

施工箇所 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

4 屋上緑化改修工事 (9.4.1)

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム
・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

(9.4.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない
かん水装置 ・ 設置する(種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

5 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2)~(9.5.7)(9.5.9)

既存舗装の撤去及び再利用 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床

種類	材料	厚さ[mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(7μmふるい通過量10%以下)	・ 図示(図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示(図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰(・特号 ・ 1号) ・ 消石灰(・特号 ・ 1号)
添加量(kg/m2)(目標CBR ・ 5以上 ・)

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ[mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻¹cm/sec以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示(図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン
・ クラッシュラン鉄鋼スラグ
・ 図示(図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ[mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示(図面番号:) ・ ()

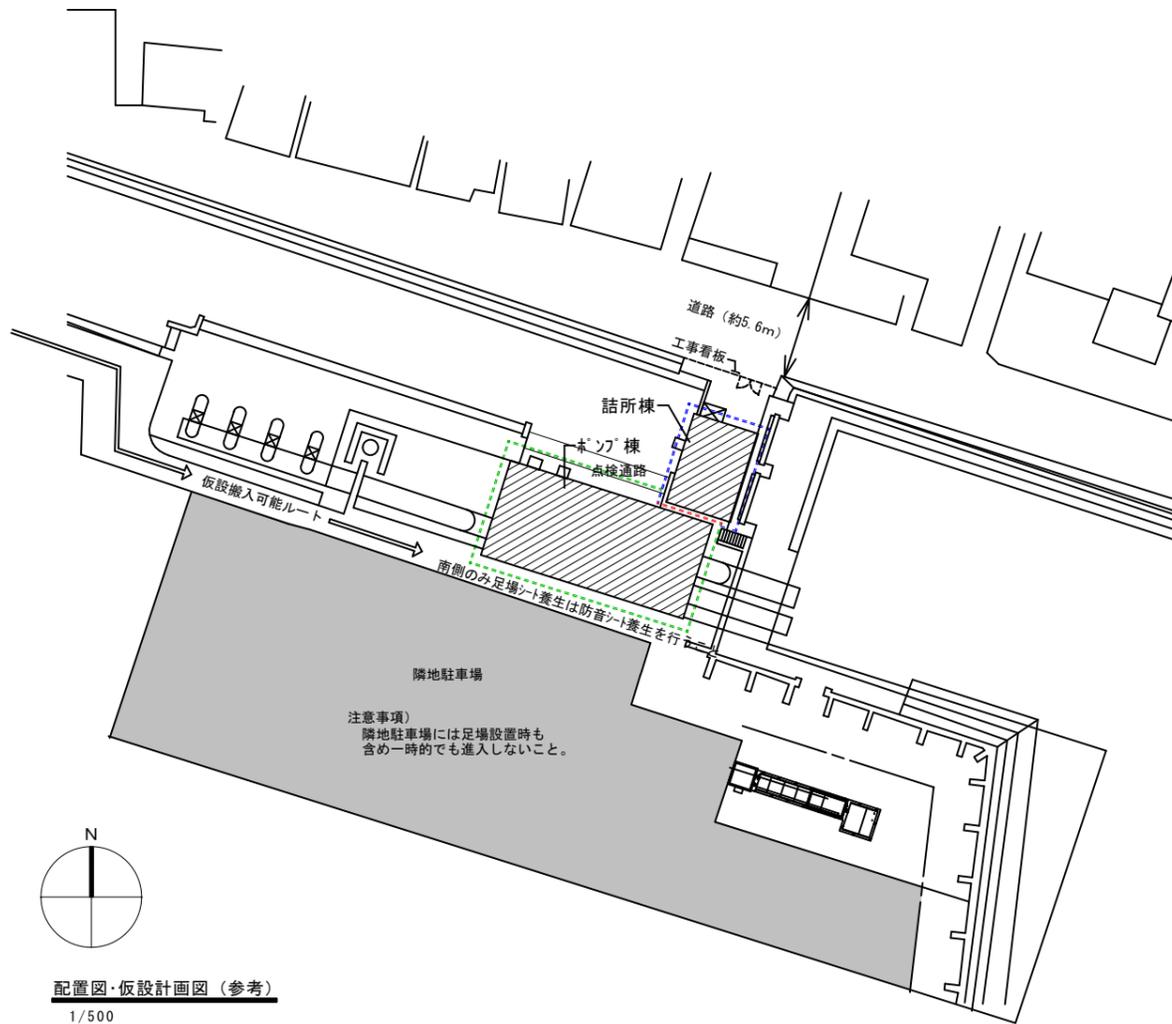
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

概要表

名称	豊栄排水機場改修工事（詰所棟・ポンプ棟）		
敷地概要	地名地番	四日市市富田浜元町	地内
	都市計画区域	市街化区域	
	用途地域	準工業地域	
	防火地域	-	
	指定建蔽率	60%	
	指定容積率	200%	
建物概要	用途	ポンプ場・詰所	
	構造	鉄骨造	

<共通特記事項>

- ・本仮設計画に記載した仮設計画は、発注者側の積算上の考えを示したものであって施工条件として示したものではありませんので、受注者の責任の下にて十分検討すること。
- ・施工に際しては、行程及び施工内容について施工管理者と調整を行った上で、施設運営に支障をきたさないように注意すること
- ・大型工事車両進入時、及び前面道路に車両を一時的に駐車する場合（仮設材搬入時等）は交通誘導警備員を配置すること。
- ・資機材の搬入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に務めること。
- ・工事に係る法令手続きは受注者にて行い、手数料は受注者の負担とする。
- ・工事において、道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃などを行うこと。
- ・既設構造物を破損した場合は、受注者の責任（負担）にて損修などを行うこと。
- ・工事開始前に施設内の荷物等を工事に支障ない場所へ移動・養生をして工事完了後に復旧を行うこと。
- ・施設を使いながらの工事となるため、ポンプ棟の内部足場等設置については、施設管理者と協議の上、機器操作を行うための、通路は空間を確保すること。
- ・溶接時は溶接部周囲及びタンク周囲を不燃材養生を行うこと。
- ・工事着手前に周辺住民へ挨拶にまわり工事概要を説明すること。
- ・ポンプ棟の棚足場設置後、補強鋼材施工の際は必要は場所は足場盛替えを行うこと。
- ・現場南側隣地駐車場には足場設置時も含め一時的でも進入しないこと。

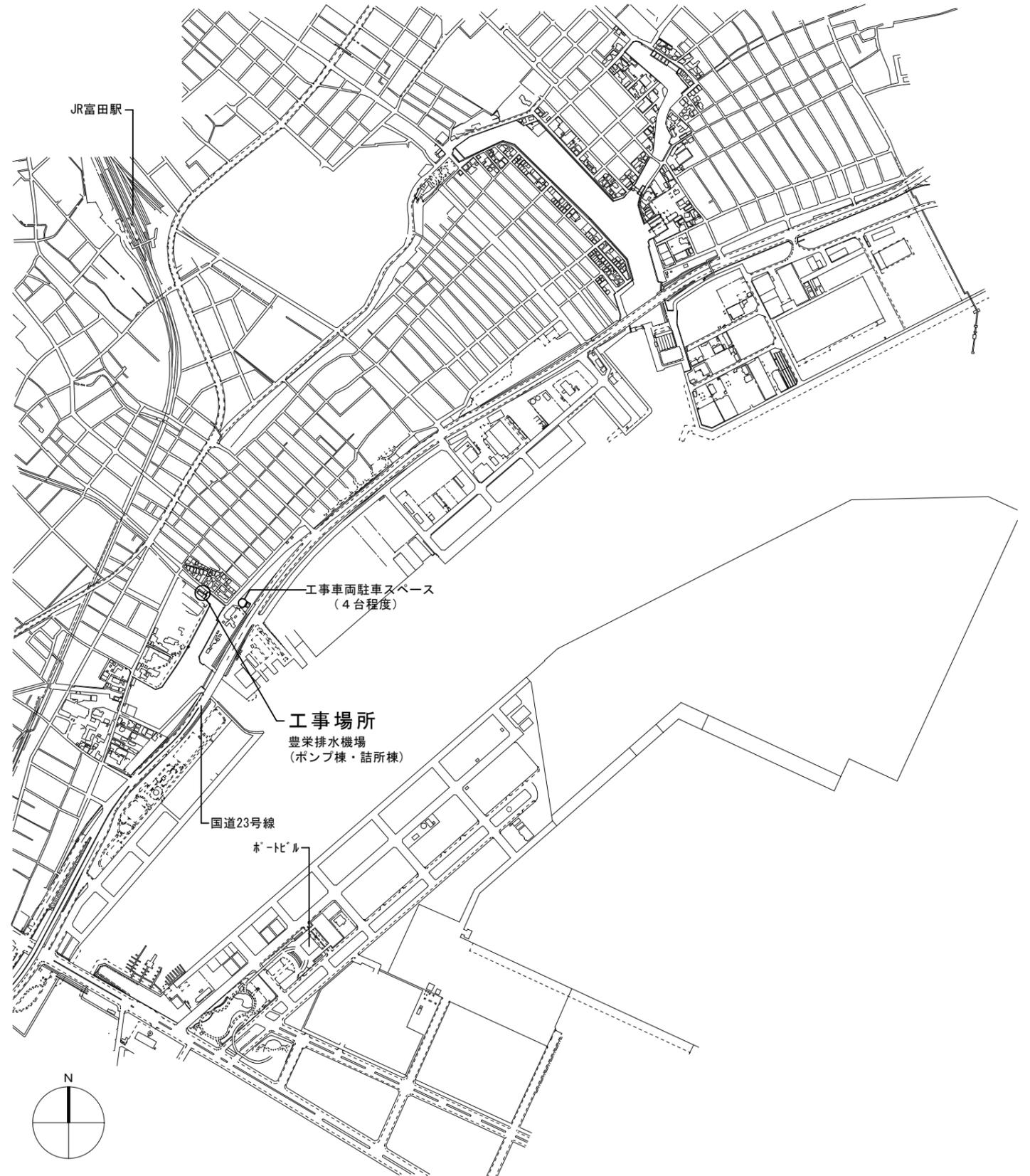


配置図・仮設計画図（参考）

1/500

凡例

- : くさび緊結式足場+メッシュシート及び防音シート（ポンプ棟周囲）
- : フラケット付き一側足場等（ポンプ棟～詰所棟間 有効巾 500程度）
- : くさび緊結式足場[西面一部 ヒーム等使用]
+メッシュシート及び防音シート（詰所棟棟周囲）



敷地案内図

No. A-08

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図

R 7 年 1 月

配置図・付近見取り図

scale (A3) S:1: 500

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治

ポンプ棟

外部仕上表		屋根	外壁	外部巾木	樋
ポンプ棟	現況	デッキプレート+パライトモルタル 防水モルタル t=2下地の上 ウレタン系塗膜防水(絶縁工法)	CB帳壁下地 防水モルタル刷毛引きの上リシン吹付	防水モルタル刷毛引き	縦樋 塩ビ製 支持金物@1200 軒樋 塩ビ製
	改修後	全面水洗い、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水	水洗いの上 可とう系改修塗材E	水洗い	既設のまま
内部仕上表		床	壁	天井	備考
ポンプ室	現況	モルタル金ゴテ	CB帳壁下地モルタル金ゴテ+VP塗装 一部ハツリ撤去 鉄骨部分 塗装仕上げ	デッキプレート表し 塗装仕上げ 鉄骨部分 塗装仕上げ	ホイスクレーン 設備機器
	改修後	既設のまま	耐震補強に伴い影響範囲のみ 樹脂モルタル金ゴテ補修の上EP塗装 鉄骨部分 特記なき限り全てSOP塗替	デッキプレート表し SOP塗替 鉄骨部分 特記なき限り全てSOP塗替	ホイスクレーン 既設のまま 設備機器 既設のまま

詰所棟

外部仕上表		屋根	外壁	構造部材等	樋
詰所棟	現況	カラー鉄板 折板葺き 山高 約 88 働き巾 600程度	角波塗装鋼板貼り	鉄骨部 塗装仕上げ	縦樋 塩ビ製 支持金物@1200 軒樋 塩ビ製
	改修後	全面水洗い・ケレン清掃+目荒らし処理 脆弱部撤去滑膜残しの上 ウレタン塗膜防水(折版屋根仕様)	下地処理の上DP塗装塗り替え	鉄骨部 DP塗替 補強鋼材部 DP塗装	既設のまま

内部仕上表		床	巾木	壁	天井	備考
1F ピロティ 屋外階段	現況	土間コンクリート 屋外階段 CHPL SOP塗装		鉄骨部 塗装仕上げ 屋外階段部 外壁角波鉄板裏 表しそのまま ケイカル板 塗装仕上げ	デッキプレート表し 塗装仕上げ 鉄骨部分 塗装仕上げ 化粧石膏ボード 貼り	屋外階段 鉄部塗装仕上げ
	改修後	既設のまま 屋外階段 CHPL 防滑塗料 塗替		鉄骨部 DP塗替 屋外階段部 外壁角波鉄板裏 DP塗替 ケイカル板(※2) EP塗替	デッキプレート表し DP振替 鉄骨部分 DP塗替 化粧石膏ボード EP塗替	屋外階段 サラ、手すり DP塗替
2F 廊下	現況	木床組み下地 ビニル床タイル貼り(※1)撤去	塩ビ巾木 H=65 撤去	石膏ボード下地 ビニルクロス貼り クロスのみ撤去	化粧石膏ボード 貼り 塩ビ製廻り縁	吊戸棚、ガス台、流し台
	改修後	既設木床組み下地 ビニル床シート t=2.0張替	塩ビ巾木 H=65 張替	ビニルクロス張替 準不燃(AA)	化粧石膏ボード EP塗替	吊戸棚、ガス台、流し台 既設のまま
2F WC	現況	タイル貼り 撤去	ラスモルタル下地 タイル貼り撤去 H=500	壁 ラスモルタル金ゴテ下地 塗装仕上げ	化粧石膏ボード 貼り 塩ビ製廻り縁	和便器撤去(設備工事)
	改修後	モルタル金ゴテ嵩上げ 下地 防滑防汚ビニル床シート t=2.0貼り 新設	モルタル金ゴテ補修 塩ビ巾木 H=65 新設	壁 モルタル面EP塗替 一部モルタル金ゴテ補修の上 EP塗替	化粧石膏ボード EP塗替	洋便器に取り替え(設備工事)
2F 和室	現況	木床組み下地 畳敷き t=60 撤去 一部フローリング	タタミ寄せ 雑巾摺	石膏ボード下地 ビニルクロス貼り クロスのみ撤去	化粧石膏ボード 貼り 塩ビ製廻り縁	カーテン、カーテンレール 制御盤及び壁掛けエアコン
	改修後	既設木床組み下地 畳 t=60 張替	既設のまま	ビニルクロス張替 準不燃(AA)	化粧石膏ボード EP塗替	カーテンのみ一時取り外し復旧 制御盤及び壁掛けエアコン 既設のまま
2F 押入	現況	ベニヤ	雑巾摺	ベニヤ	ベニヤ	
	改修後	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	

※1 成形板アスベスト含有の為、湿潤化の上撤去

※2 成形板アスベスト含有の為、下地調整無しでのEP塗替とする

No. A-09

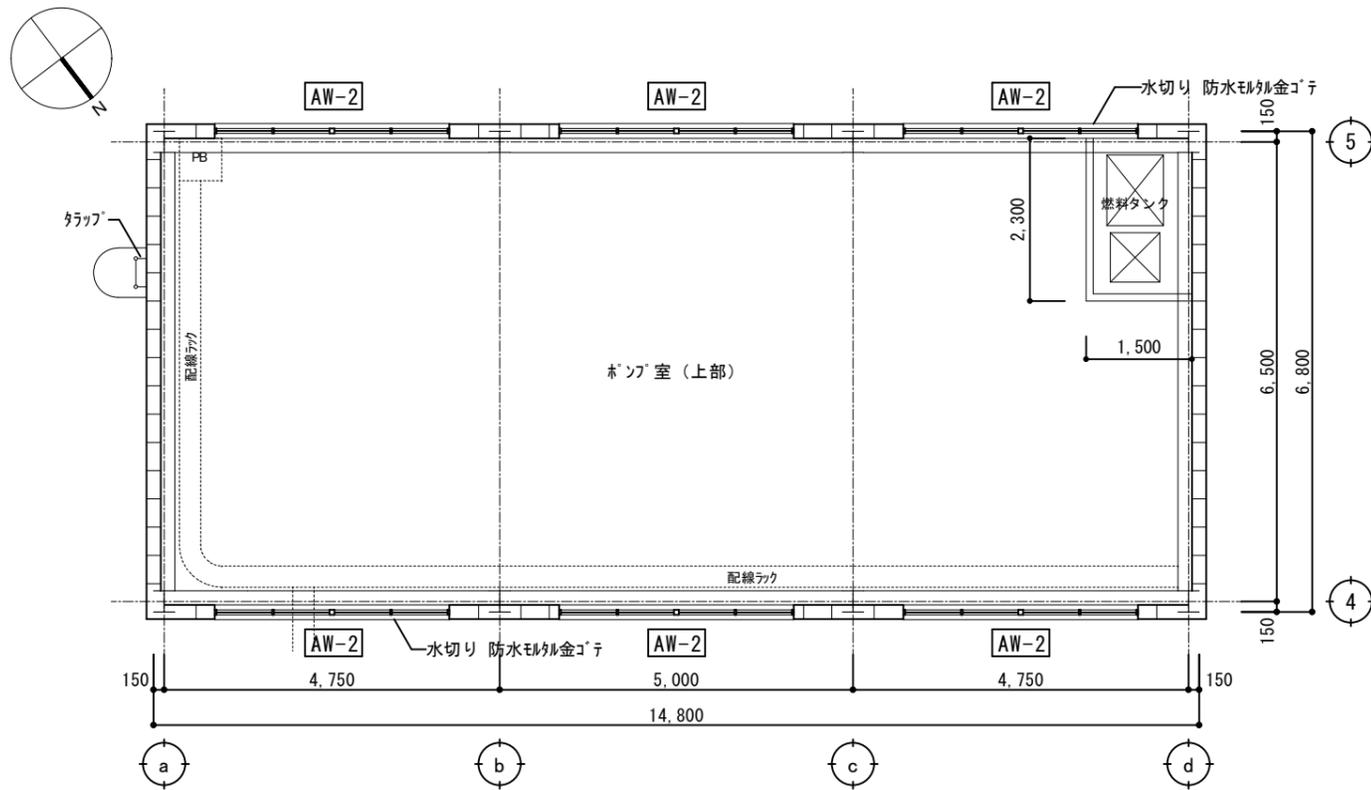
豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図

R7年1月

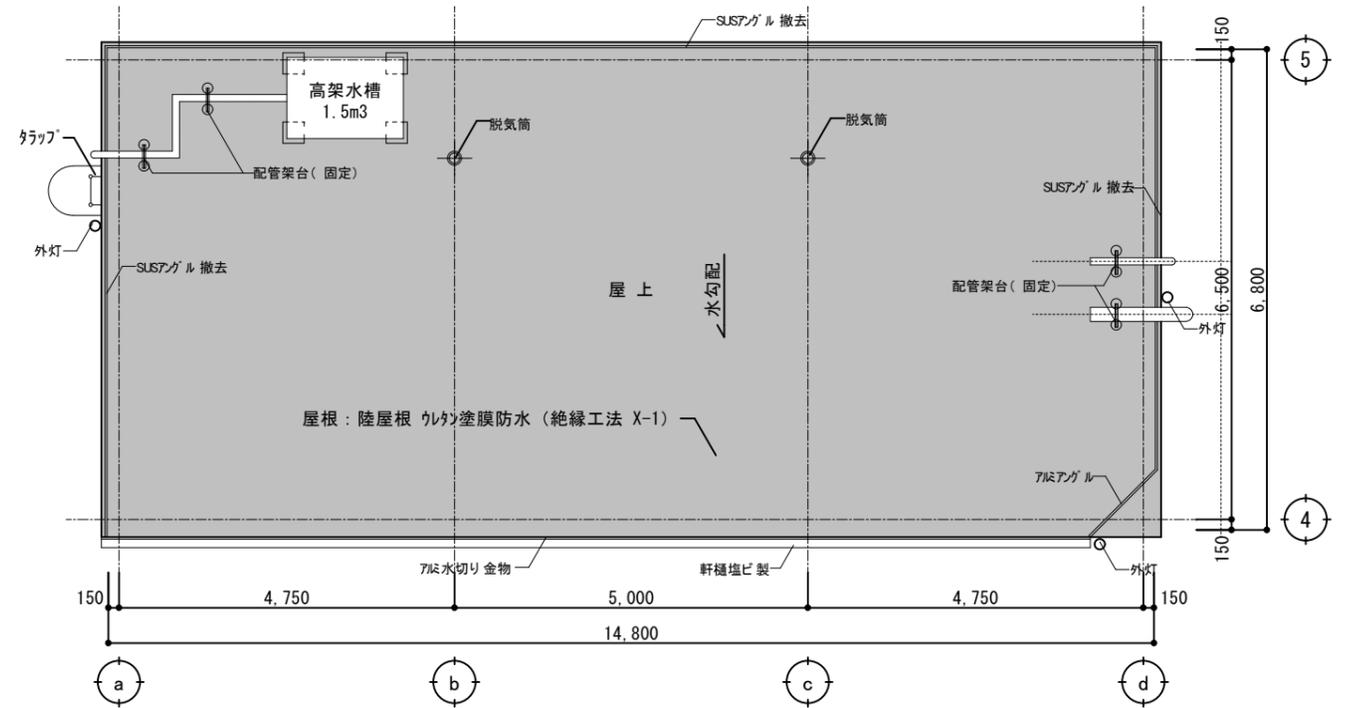
仕上げ表

scale

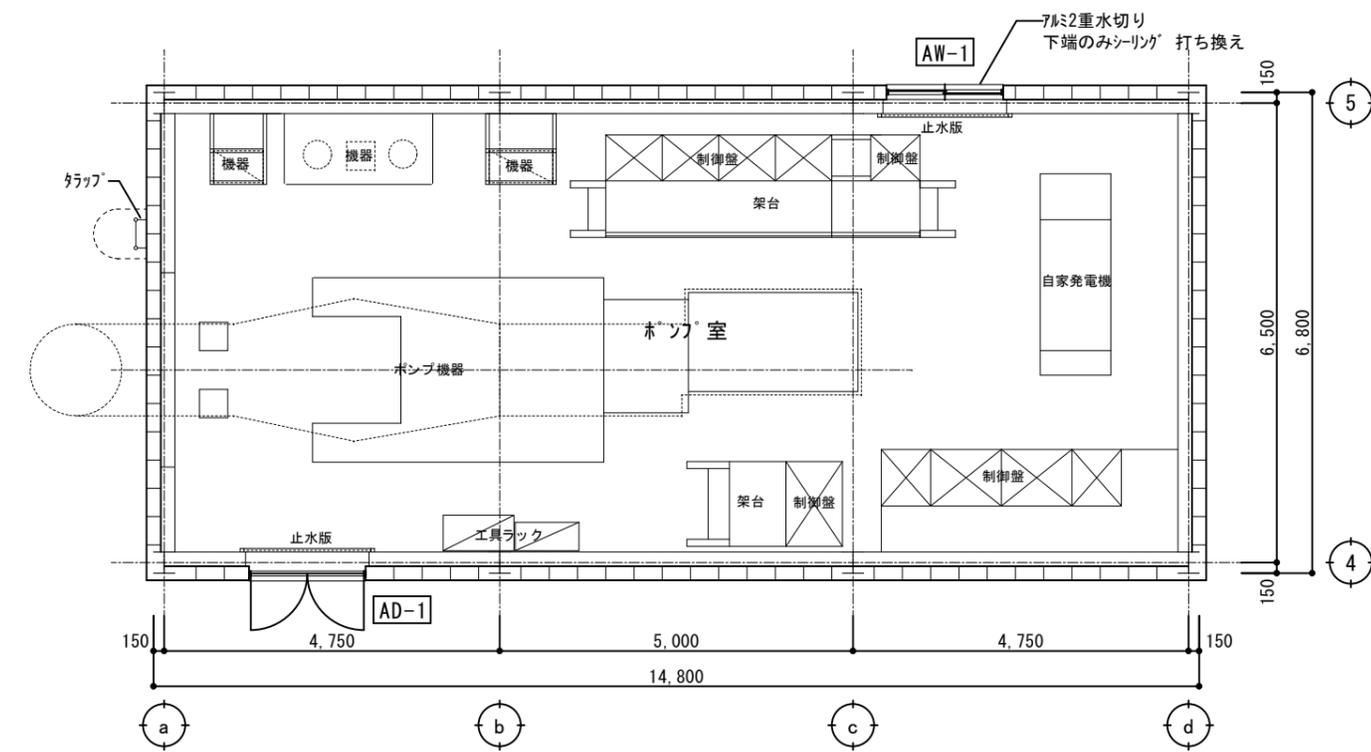
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



1階平面図(上部) S=1:100



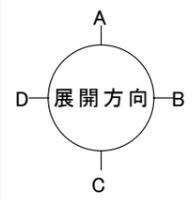
屋上伏図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

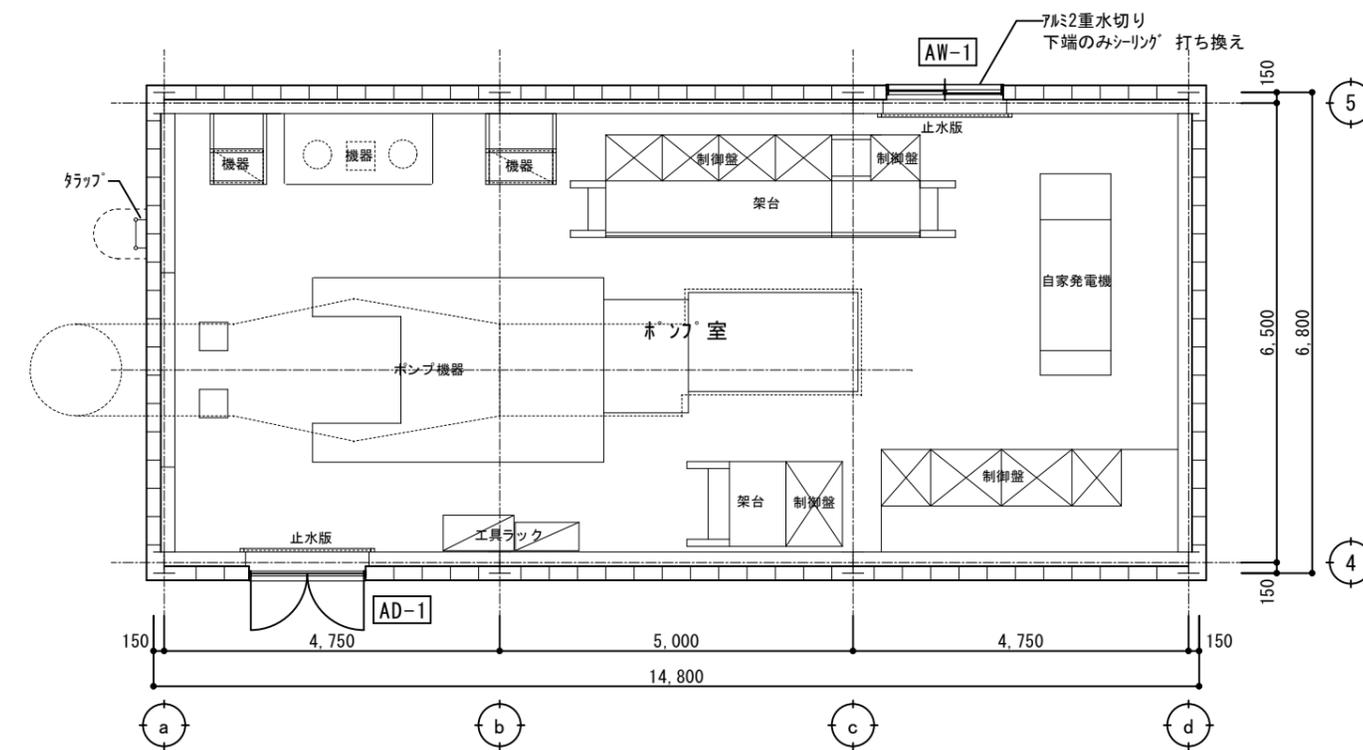
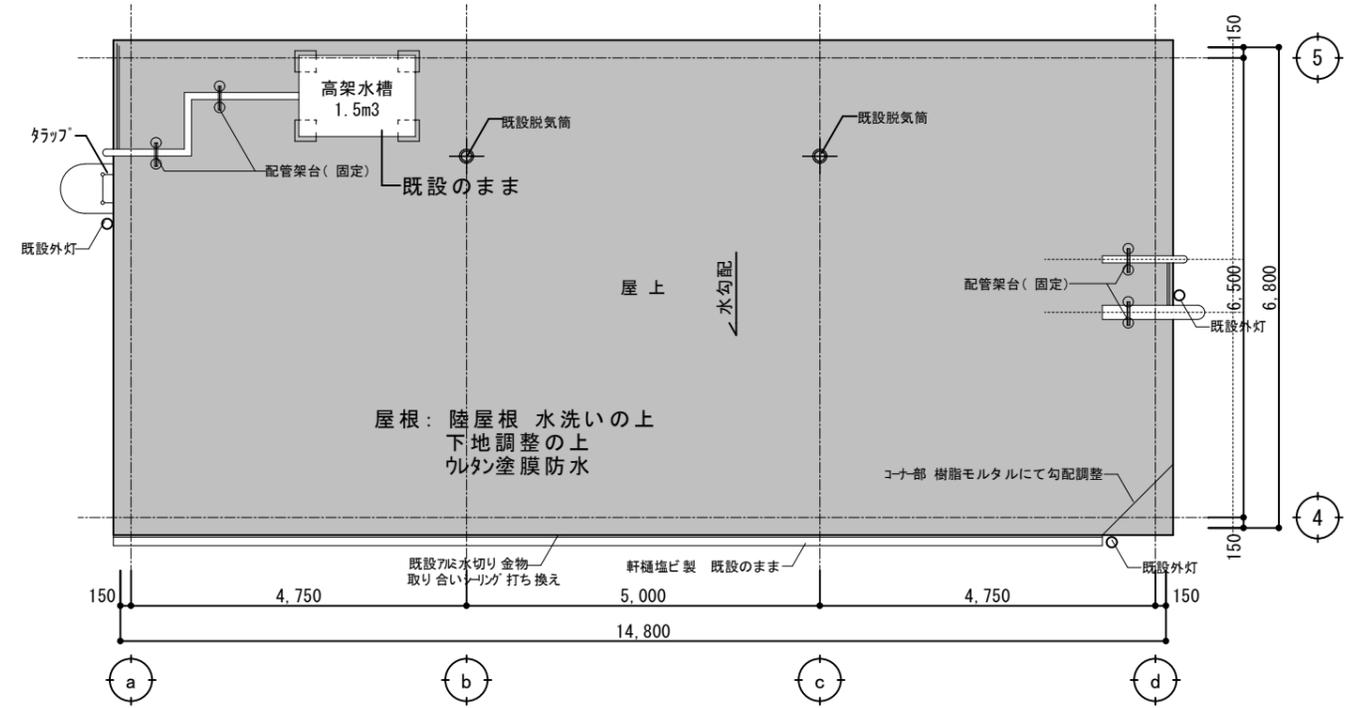
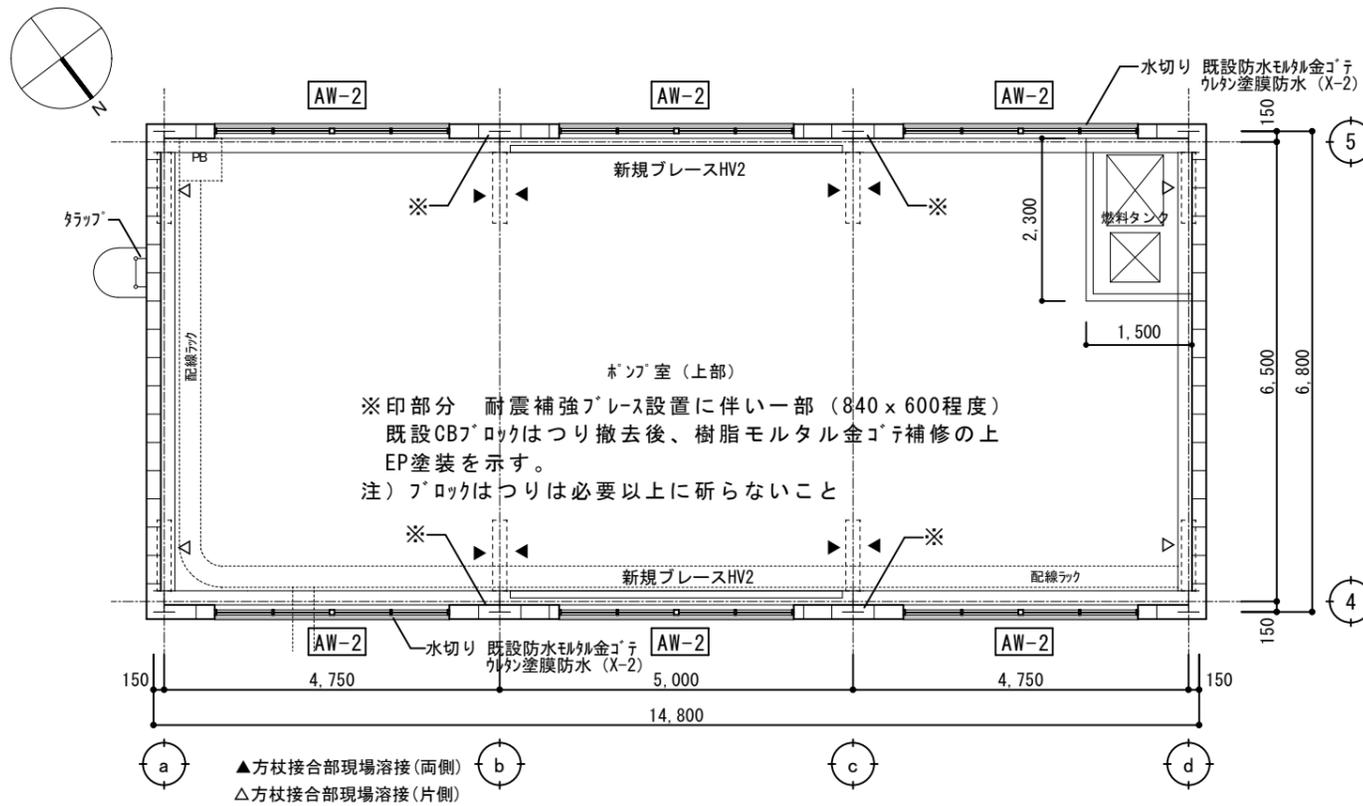
建具表 S=1:100

記号・数量	AD-1 1ヶ所	AW-1 1ヶ所	AW-2 6ヶ所
姿 図			
型式・見込み	アルミ両開きドア 70	アルミ引き違い 70	2連アルミFIX窓 70
材質仕上	アルマイト	アルマイト	アルミ
ガラス		透明ガラス	透明ガラス
金 物	握り棚、シリンダー錠	アルミ2重水切り	
備 考	既設のまま	既設 下端 取り合いシーリング 打ち換え (MS-2 巾10mm)	外部水切り 防水モルタル金ゴテ部 紫外線塗膜防水 (X-2) 塗り



既設

No. A-10



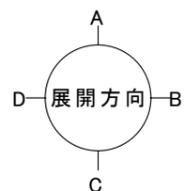
屋上防水 特記事項

- ・防水改修該当範囲は、全面水洗い・下地調整(ケル清掃+目荒らし処理)脆弱部撤去滑膜残しの上 ウレタン塗膜防水(メッシュなし工法)
※塗布工法とし、吹付工法では行わない事
- ・欠損箇所: エポキシ樹脂モルタル充填工法にて補修
- ・遮熱トップコート仕上げ(日射反射率50%以上)
- ・既設アルミ水切り金物取り合いシーリング処理はMS-2 W10とする。周囲シーリング処理はMS-2 W10とする。
- ・設備配管架台及び高架水槽立ち上がり部は既存のままとし水洗いの上 ウレタン塗膜防水立ち上げとすること(天端も含む)

防水参考メーカー製品名
 ○シーカジャパン株式会社: エバーコート Zero-1H工法(メッシュ無し仕様) ZHM-200L仕様
 ○田島ルーフィング(株) GO-Jin G0D-3VA
 ○AGCポリマー建材(株) セラセース密着工法 各社同等品とする

内部改修範囲について

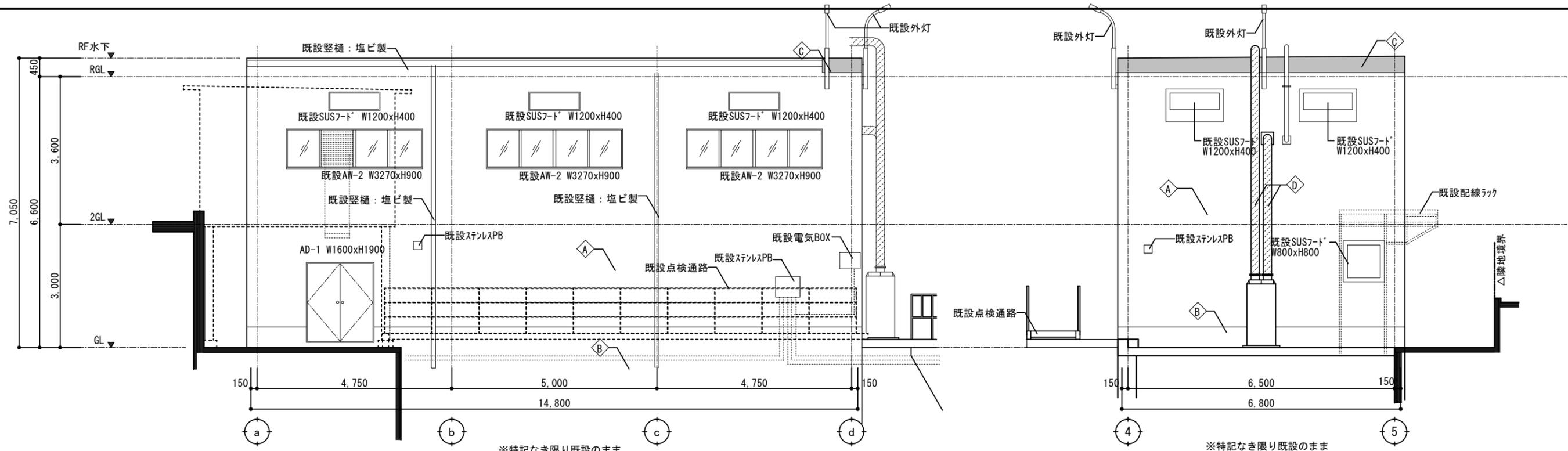
- ・本工事は機械稼働に支障がないよう、十分に養生を行い施工すること
- ・耐震補強に伴い、照明器具及び配管及び配線ラック取り付け用ブラケット等が施工に影響する場合は、一時取り外しの上復旧を行うこととする
- ・鉄骨部分は全てSOP塗装及び塗替、ただし設備機器は既存のままとなる為既存鉄骨部は塗替可能範囲までとする
- ・棚足場上部の作業床にビニールシート養生を行うこと(天井 鉄骨梁塗装時など)



改修後

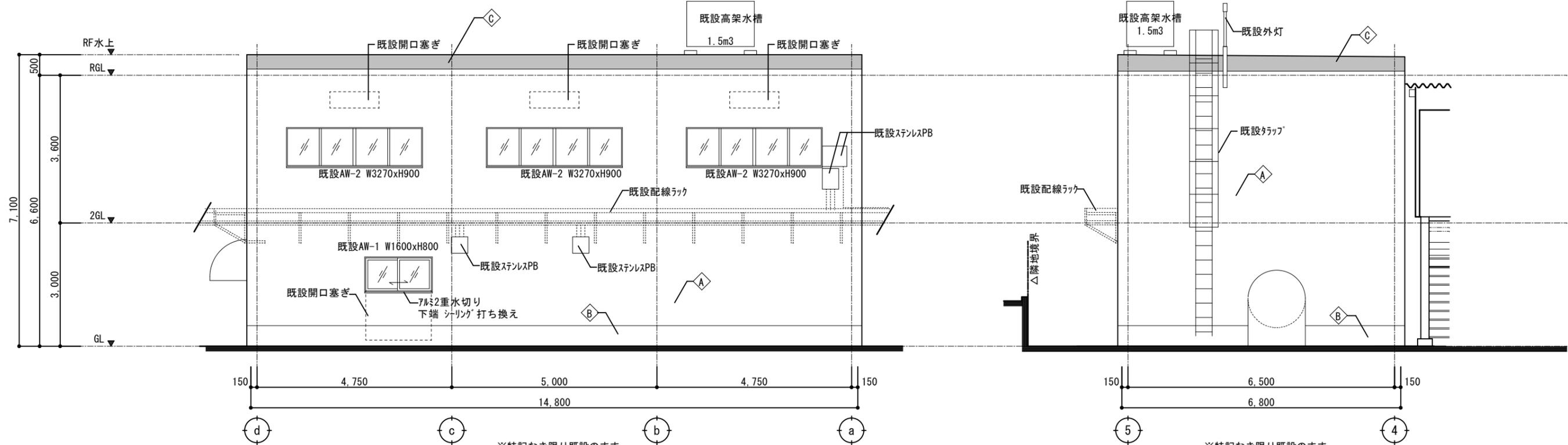
No. A-11/

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図	R 7 年 1 月
ポンプ棟 平面図【改修後】	
scale (A3) S=1:100	
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治	



※特記なき限り既設のまま
北立面図 S=1:100

※特記なき限り既設のまま
西立面図 S=1:100



※特記なき限り既設のまま
南立面図 S=1:100

※特記なき限り既設のまま
東立面図 S=1:100

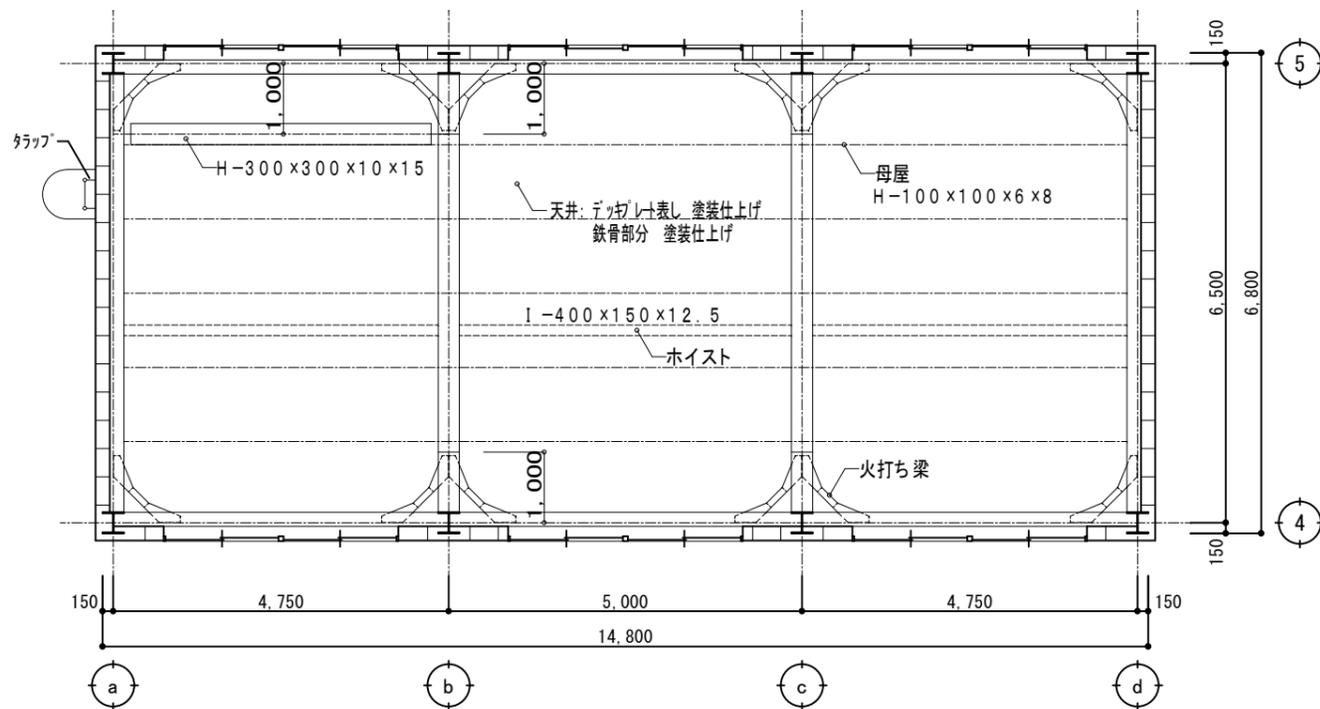
注意事項

- 外壁改修範囲は全て、施工に先立ち外壁施工数量調整を行い、補修数量及び補修計画を提出の上、監督員の承諾を得ること
- 外壁面に付属する設備BOX・換気フード等について、SUS・アルミ製は水洗いとし、樹脂製・鋼板製は清掃の上DP塗装（上塗2回）」とする。
- 外壁面に付属する設備配管について、φ20以下程度の細物は外壁同様に塗装、その他の鉄部は特記なき限り全て既設のままとする（支持金物も同様とする）

外壁劣化部改修内容

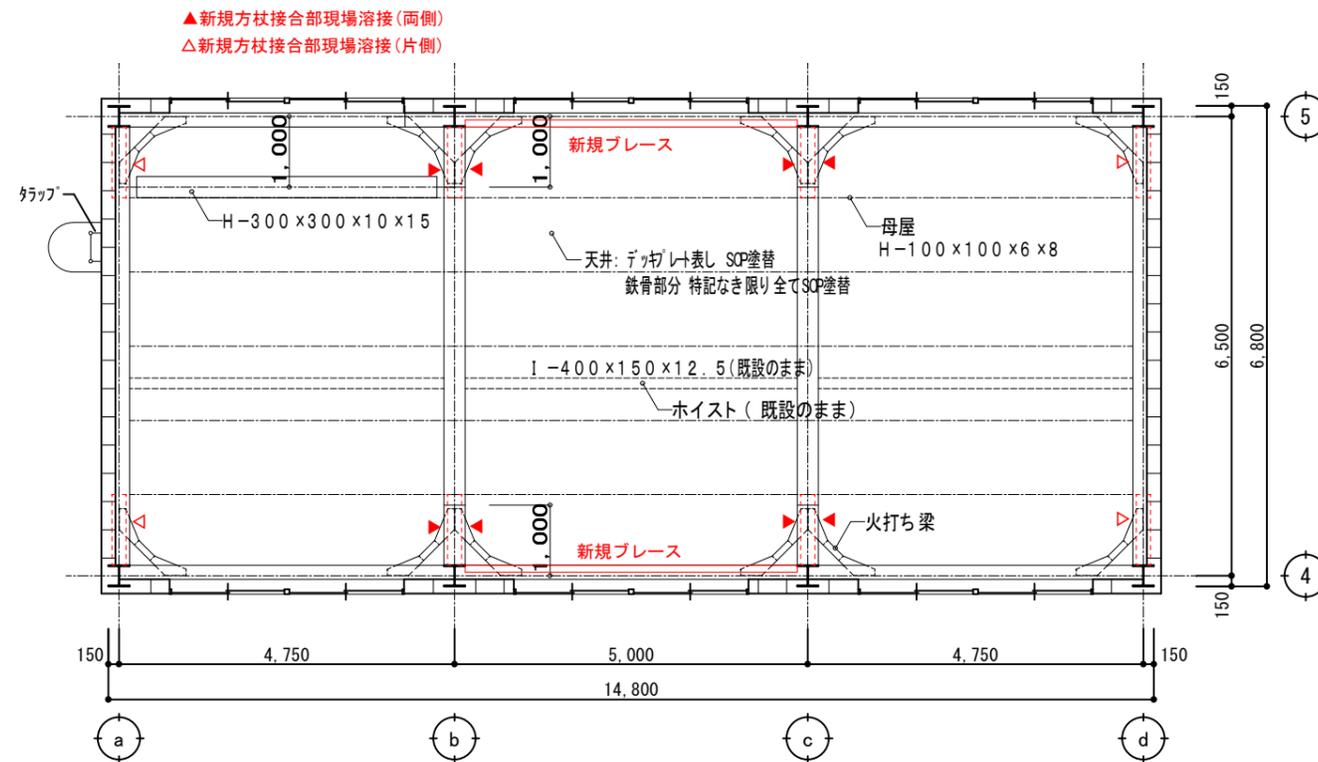
劣化内容	改修内容
クラック (巾0.2~1.0mm)	シーリング工法
モルタル欠損	エポキシ樹脂モルタル充填工法

凡例	現況	改修後
△A	外壁：CB帳壁 防水モルタル刷毛引きの上リシン吹付	→ 水洗いの上 可とう系改修塗材E
△B	外部巾木：防水モルタル刷毛引き	→ 水洗い
△C	陸屋根下り：ウレタン塗膜防水 H≒350	→ 水洗いの上 ウレタン系塗膜防水
△D	設備配管 300φ程度 2本	→ 下地処理の上 DP塗替



【 現況 】

1階天井伏図 S=1:100



【 改修後 】

1階天井伏図 S=1:100

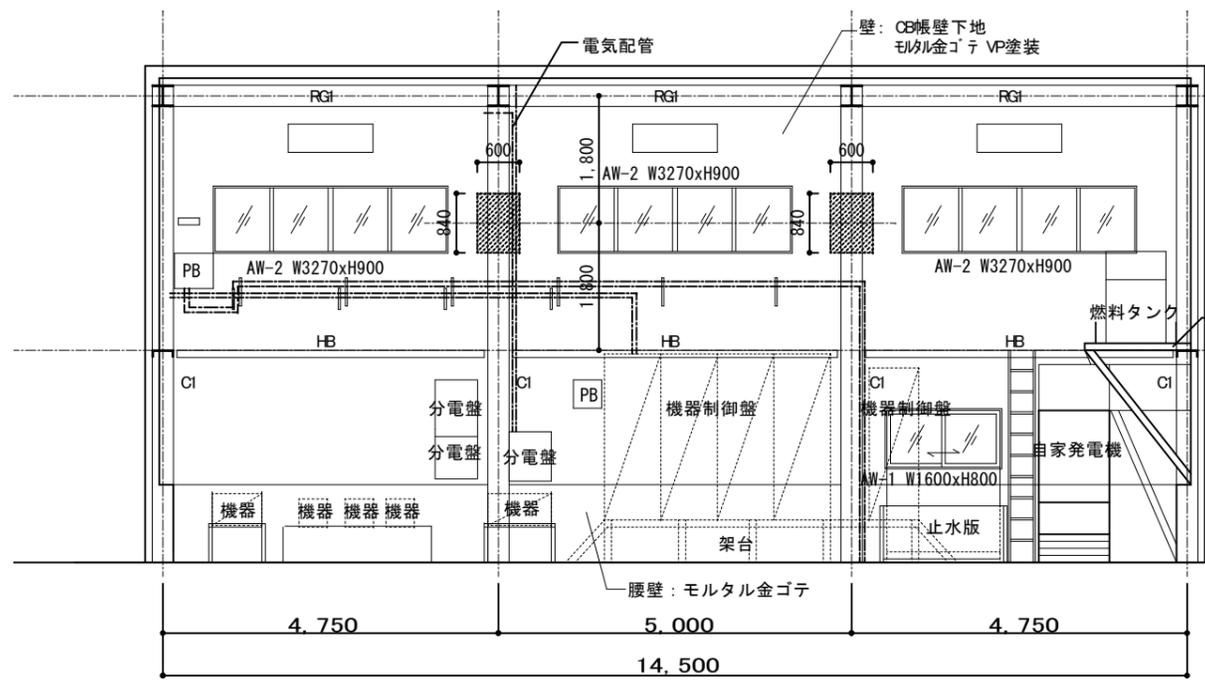
No. A-13

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

ポンプ棟
天井伏図 【現況・改修後】

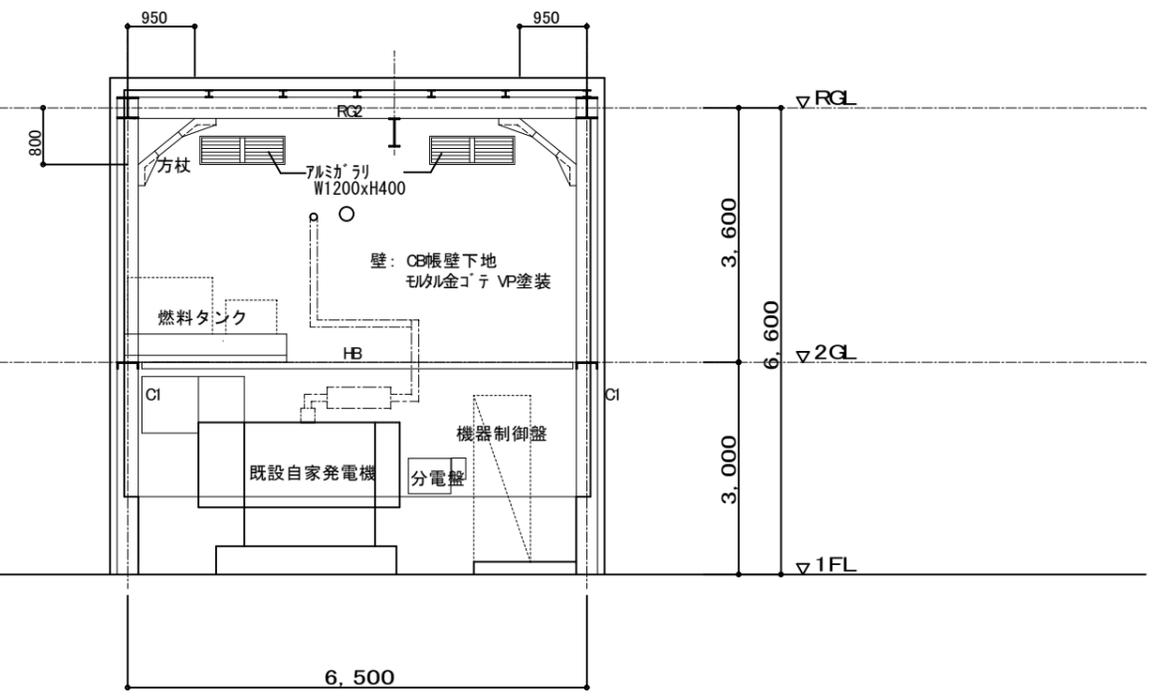
scale (A3) S=1:100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治

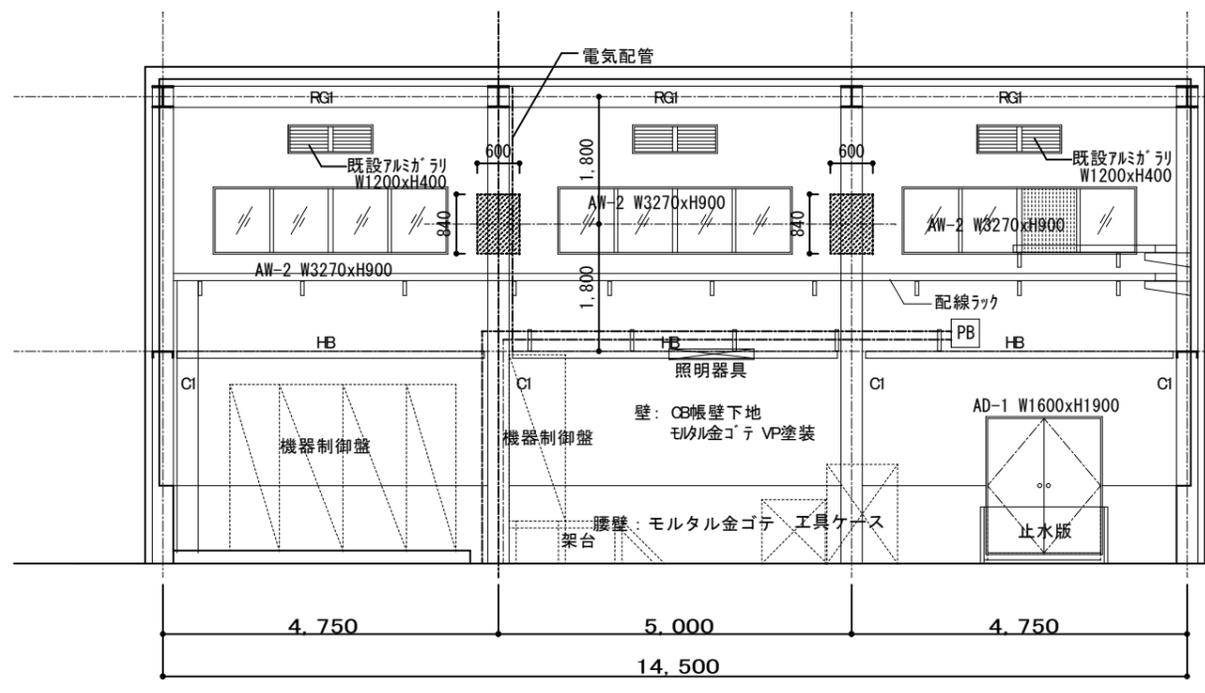


展開図 A面 S=1:100

耐震補強に伴い影響範囲のみ
CB壁 一部バツリ撤去を示す

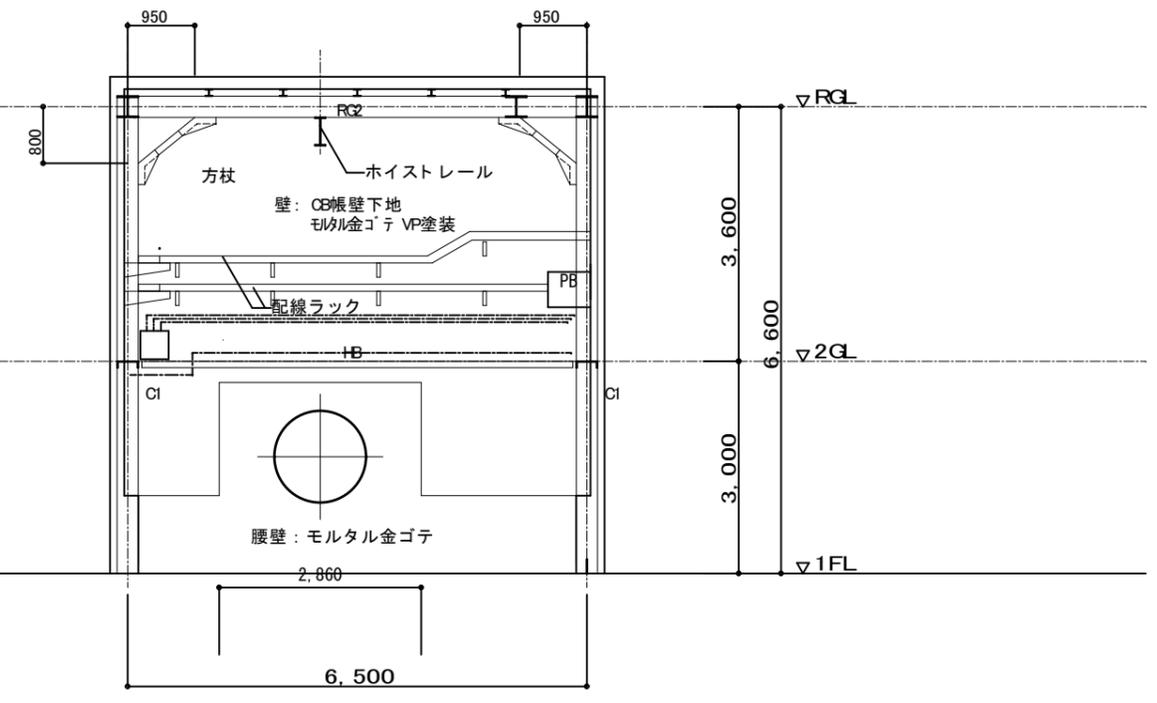


展開図 B面 S=1:100



展開図 C面 S=1:100

耐震補強に伴い影響範囲のみ
CB壁 一部バツリ撤去を示す



展開図 D面 S=1:100

既設

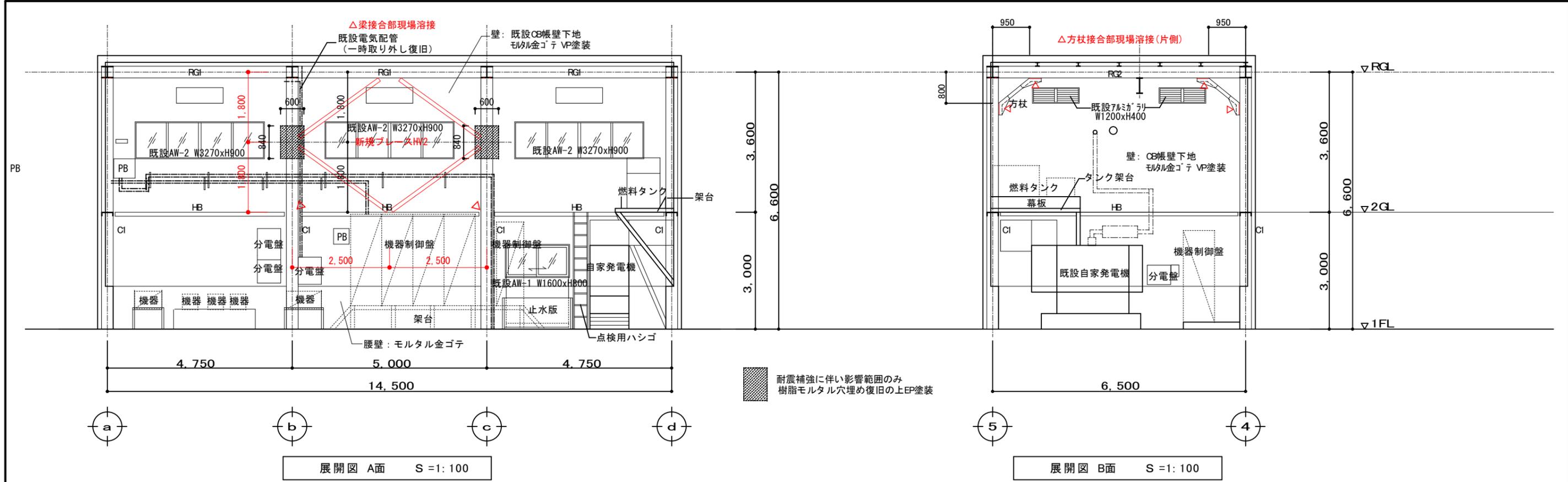
No. A-14

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R7年1月

ポンプ棟 展開図【現況】

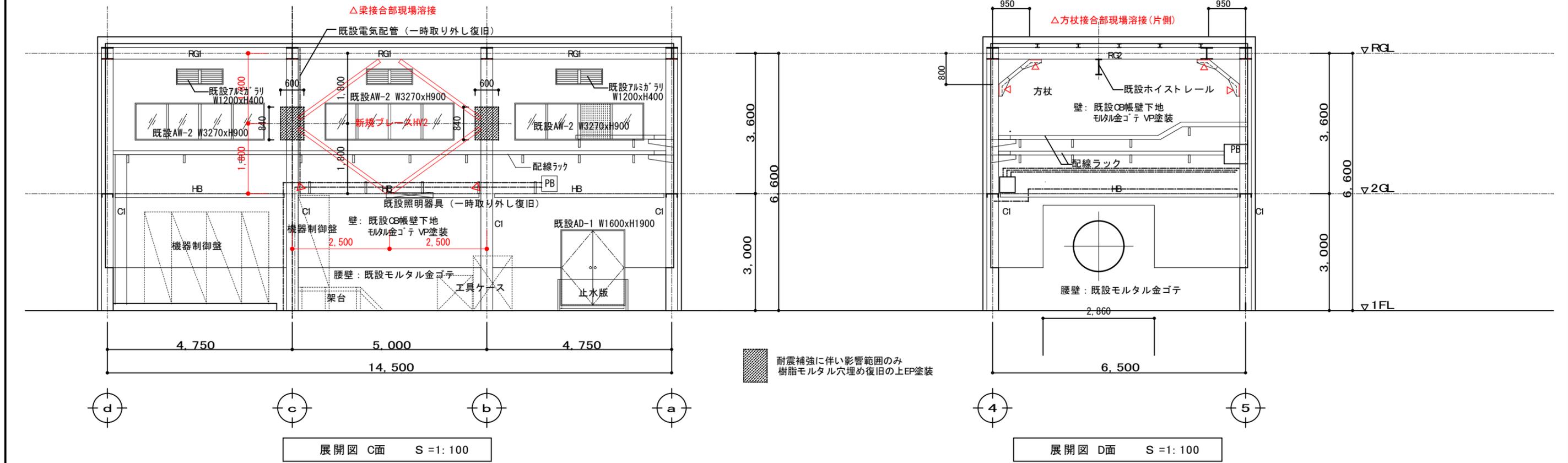
scale (A3) S=1:100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



展開図 A面 S=1:100

展開図 B面 S=1:100



展開図 C面 S=1:100

展開図 D面 S=1:100

内部改修範囲について ※特記なき限り 下記による
 ・既設鉄部表し部分 SOP塗替 (柱・梁・燃料タンク架台・幕板・点検用ハシゴ)
 ・新設 補強部材 SOP塗装
 ・内部モルタル仕上げ ひび割れ部補修 シール工法 (約20m)
 ・内部モルタル剥離部分 約1.0m² 樹脂モルタル補修の上 EP塗装

・本工事は機械稼働に支障がないよう、十分に養生を行い施工すること
 ・既存鉄部の塗替は 内部設備機器 既存のままとなるため、施工可能な範囲までとする
 ・耐震補強に伴い、照明器具及び配管及び配線ラック取り付け用ブラケット等が施工に影響する場合は、一時取り外しの上復旧を行うこととする

改修後

No. A-15

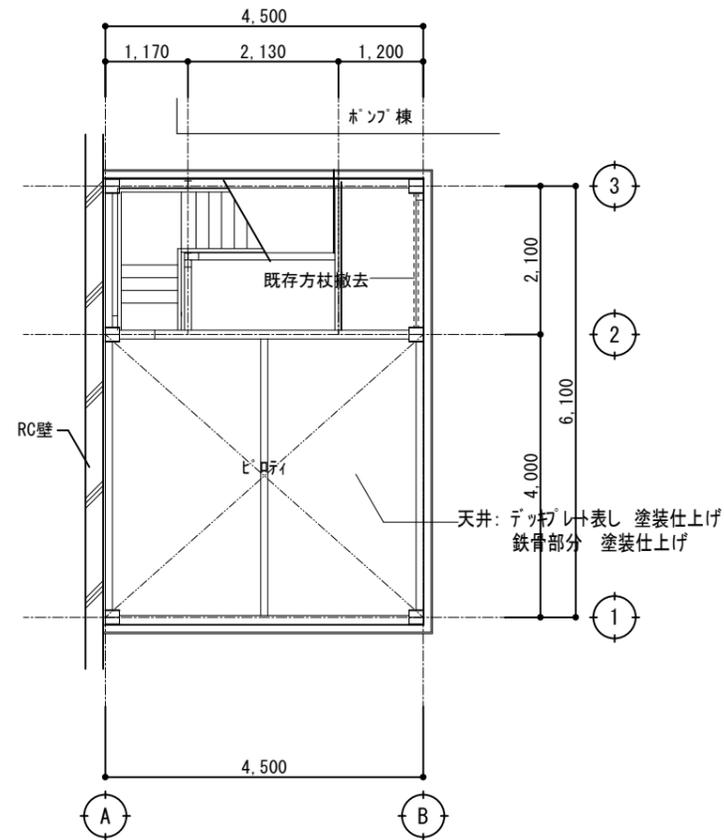
豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図

R7年1月

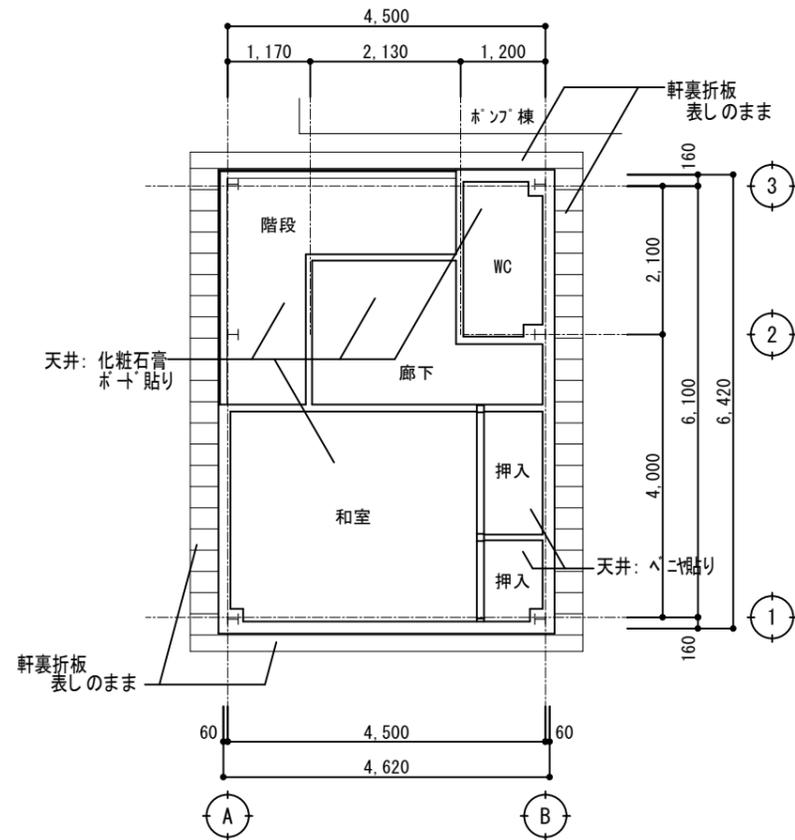
ポンプ棟 展開図【改修後】

scale (A3) S=1:100

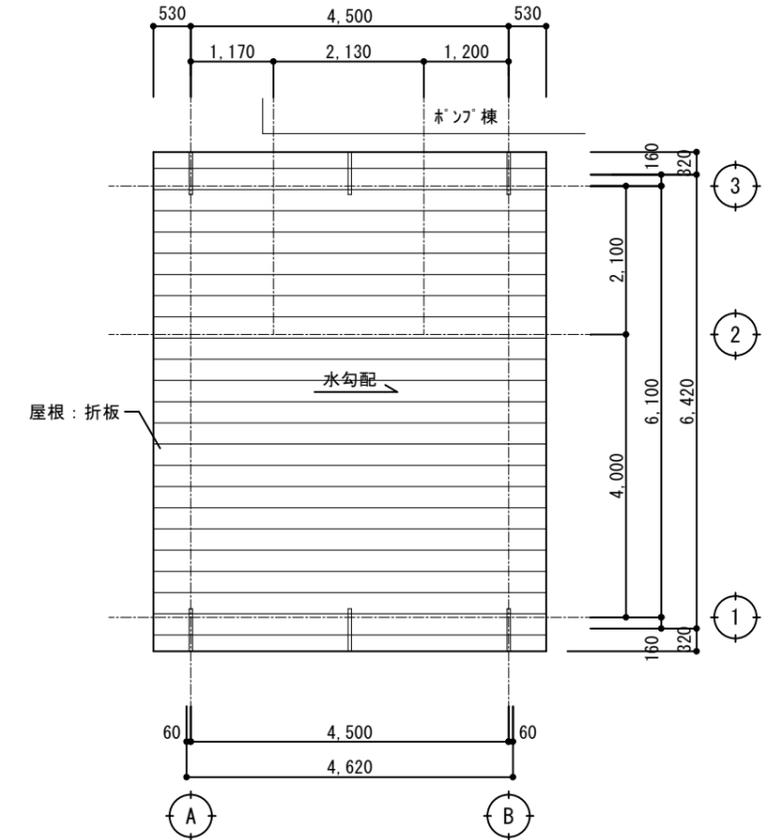
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



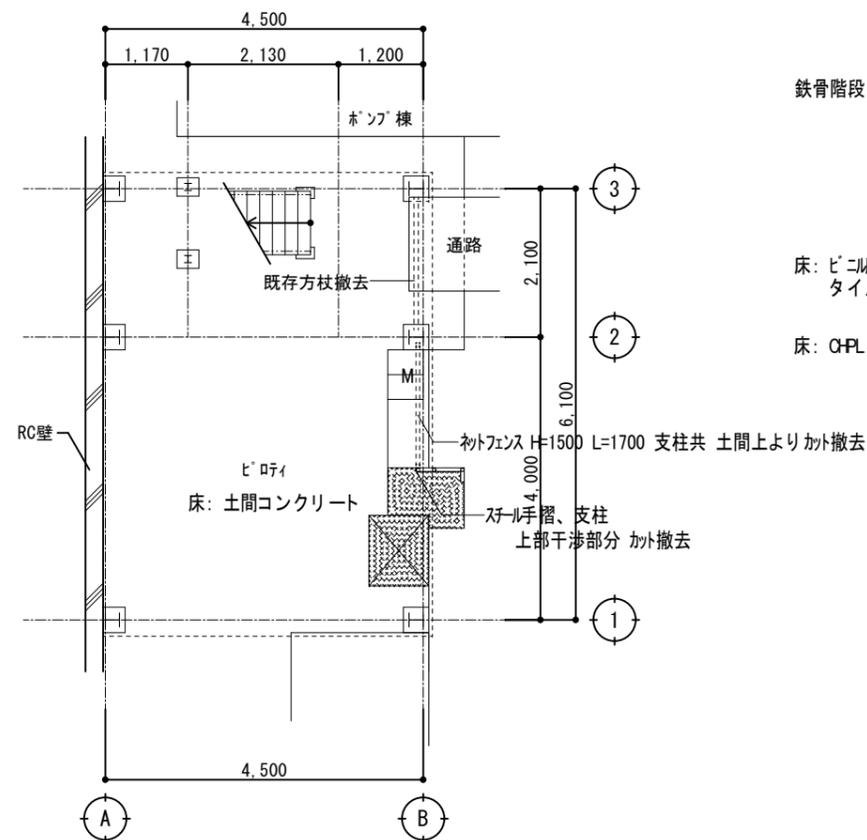
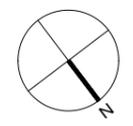
1階天井伏図 S=1:100



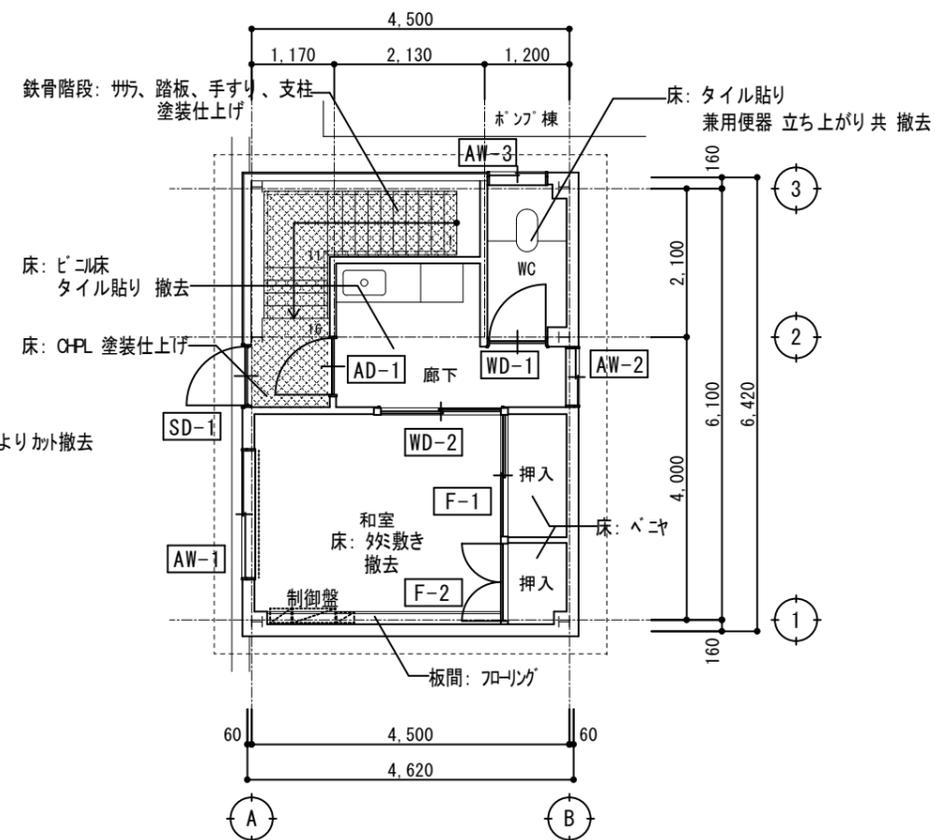
2階天井伏図 S=1:100



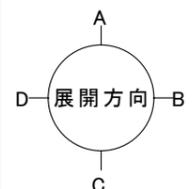
屋根伏図 S=1:100



1階平面図 S=1:100

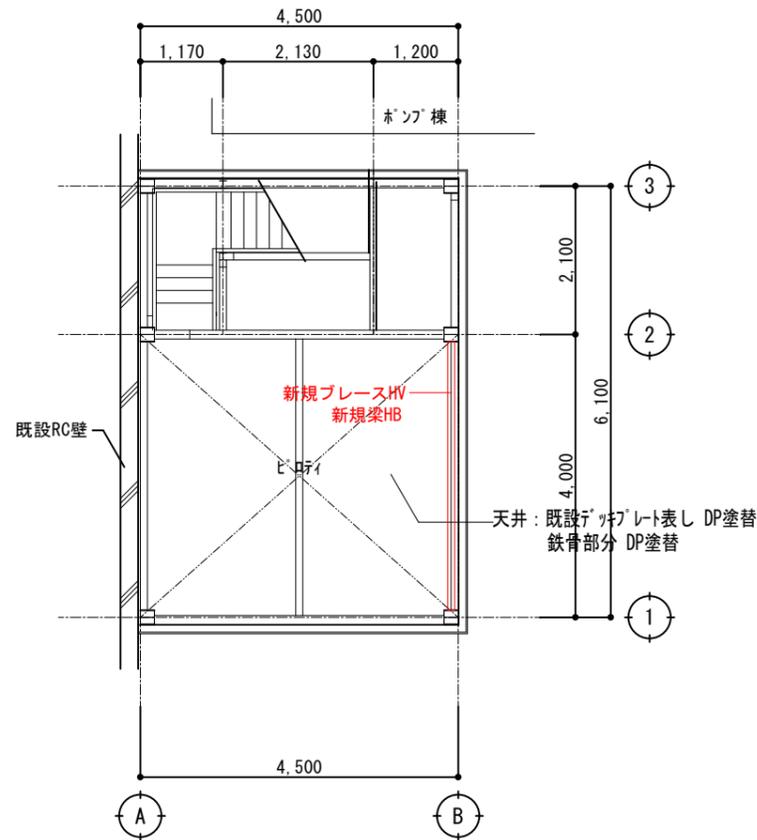


2階平面図 S=1:100

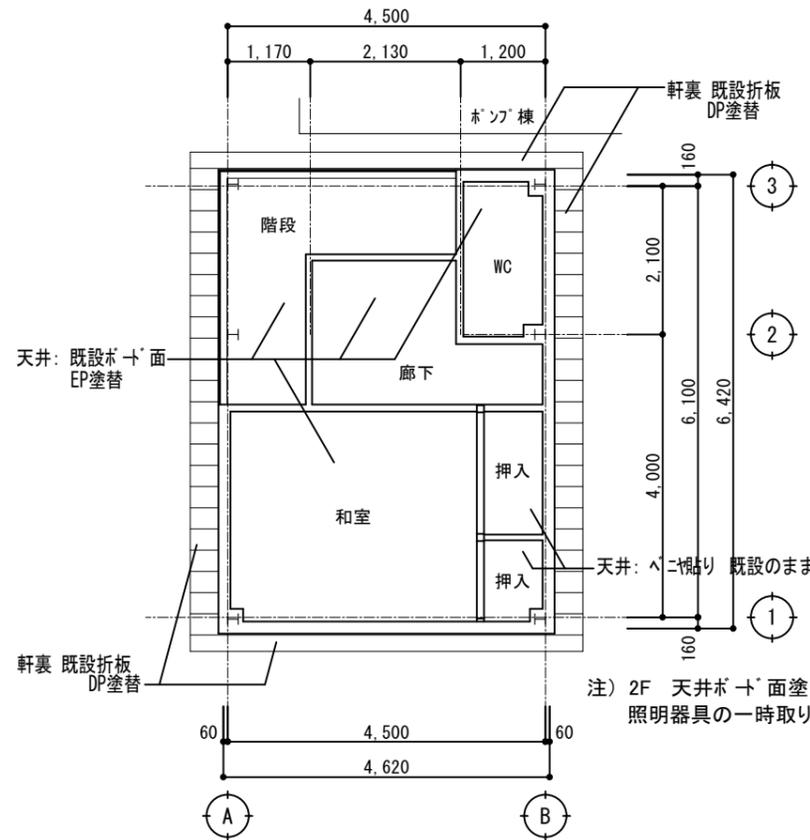


既設

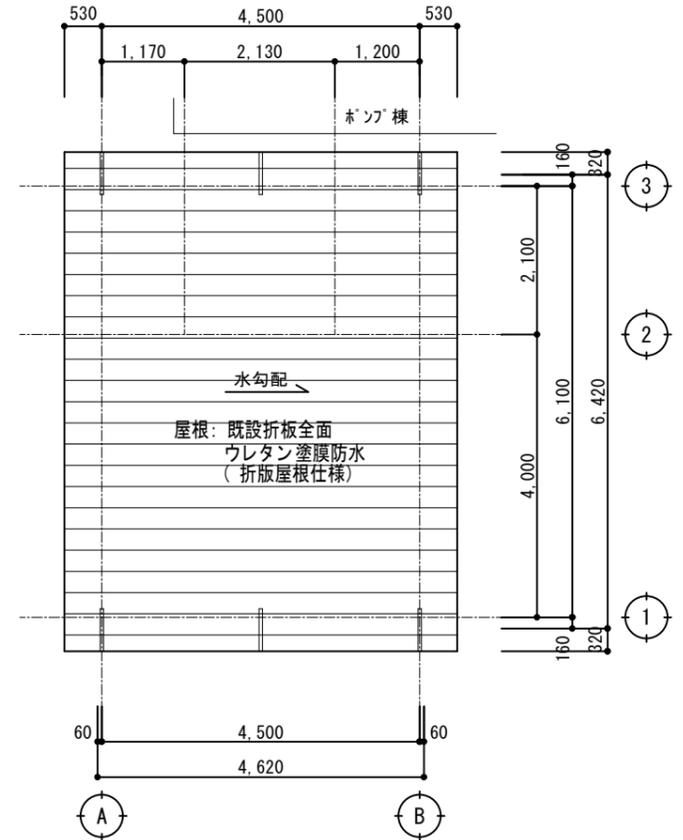
No. A-16	
豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図	R 7 年 1 月
詰所棟 平面図・屋根伏図【現況】	
scale (A3) S=1:100	
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治	



1階天井伏図 S=1:100

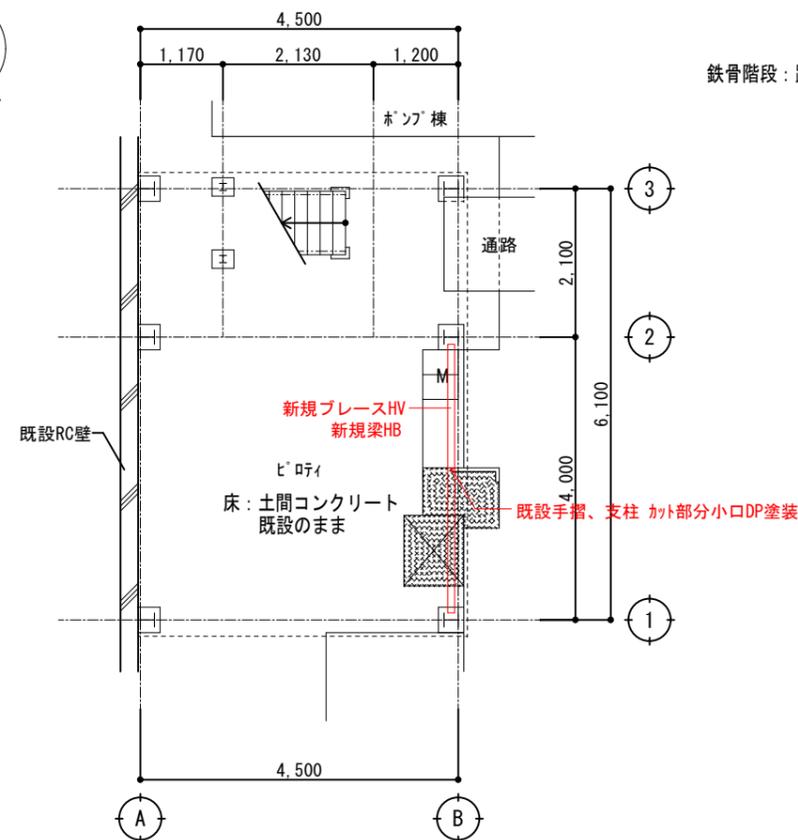
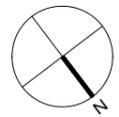


2階天井伏図 S=1:100

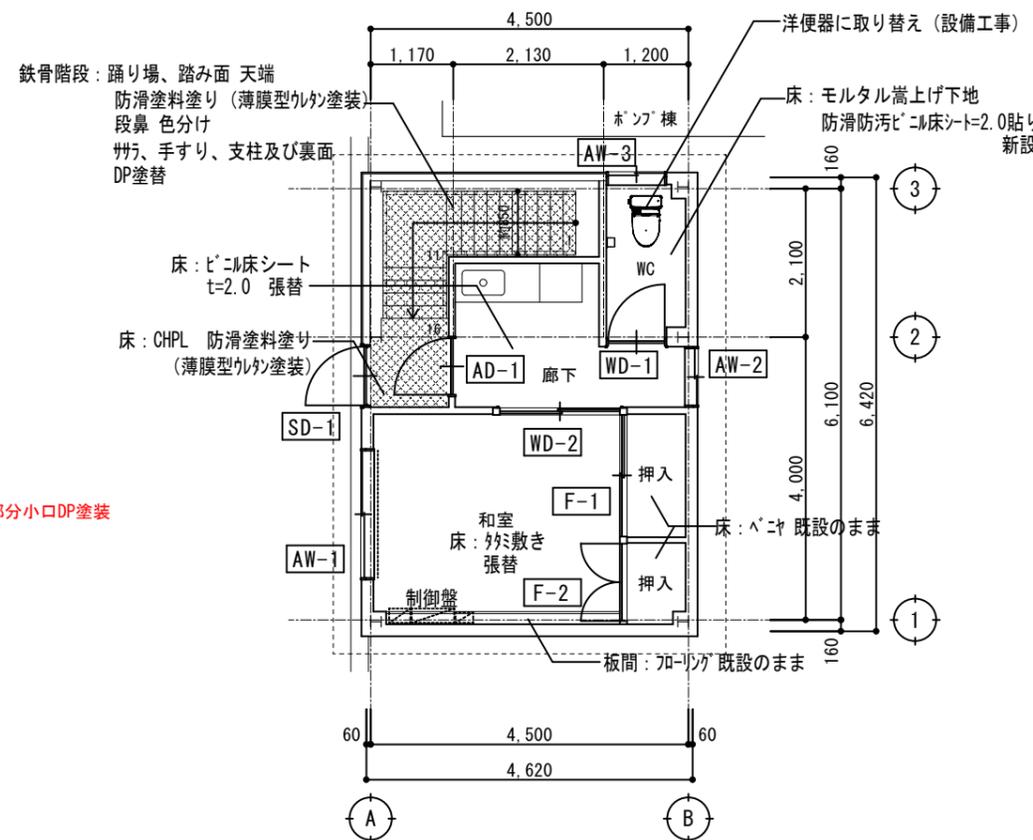


屋根伏図 S=1:100

注) 2F 天井ボルト面塗り替えに伴い
照明器具の一時取り外し復旧とすること



1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

折板屋根防水 特記事項

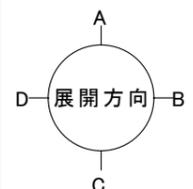
- 既設カラー鉄板 折板葺き 山高 約 88 働き巾 600程度
全面水洗い・ケル清掃+目荒らし処理 脆弱部撤去滑膜残しの上
ウレタン塗膜防水(折版屋根仕様) ※塗布工法とし、吹付工法では行わない事
 - 遮熱トップコート仕上げ(日射反射率50%以上)
 - 下地処理はジョイント部等テープ又はシール処理 及びボルト部分樹脂キャップ 取付処理を行うこととする
- 参考メーカー製品名
 ○シーカージャパン(株) : エバーコート Zero-1H工法 ZHM-200L仕様
 ○田島ルーフィング(株) GO-Jin KGO-2HS-SC
 ○AGCポリマー建材(株) セラセーヌ 密着工法 各社同等品とする

鉄骨階段部分 防滑塗料塗り(薄膜型ウレタン塗装)について

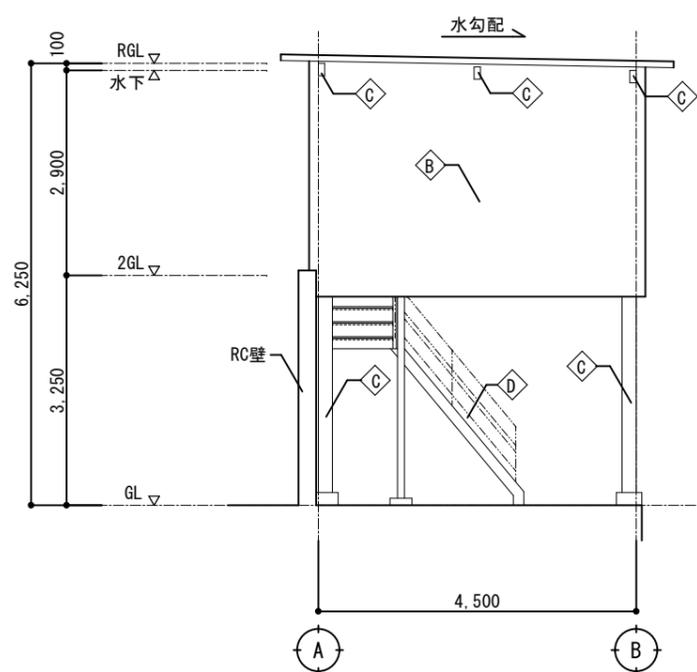
- 参考メーカー製品名
 ○大同塗料(株) : ユカクリートAU
 ○日本特殊塗料(株) ユタックR 各社同等品程度とする

内部既設木部見え掛りにについて

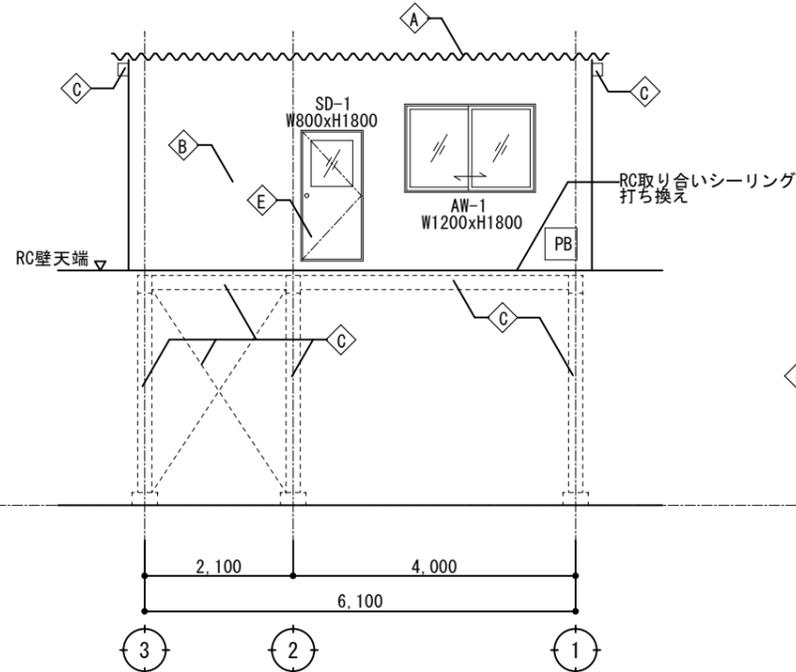
- 和室(押入内部除く)は特記なき限り、下地調整+UC塗装(柱・長押・鴨居・敷居・窓台・地袋・建具枠等)
- 廊下、WCは特記なき限り、下地調整+SOP塗替(建具枠、額縁等)



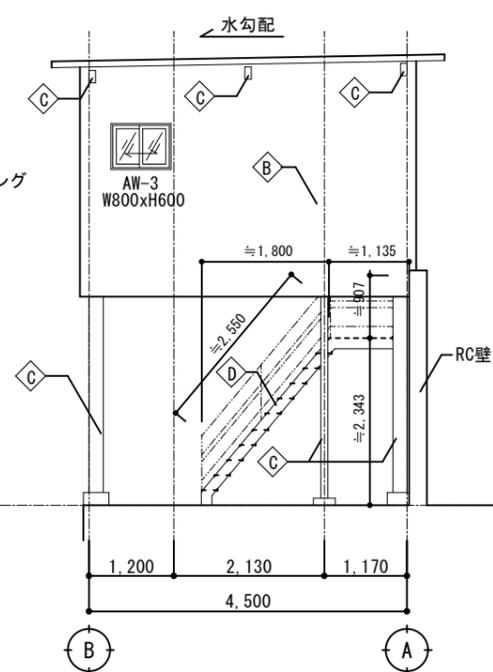
改修後



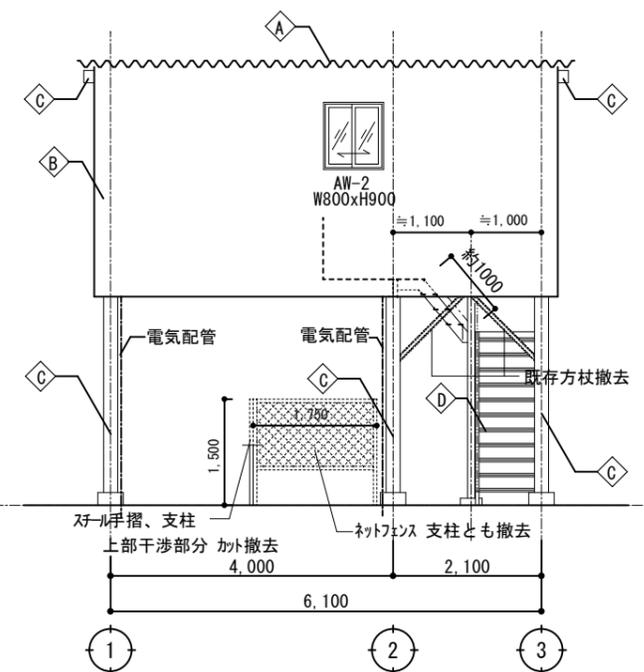
北立面図 S=1:100



東立面図 S=1:100



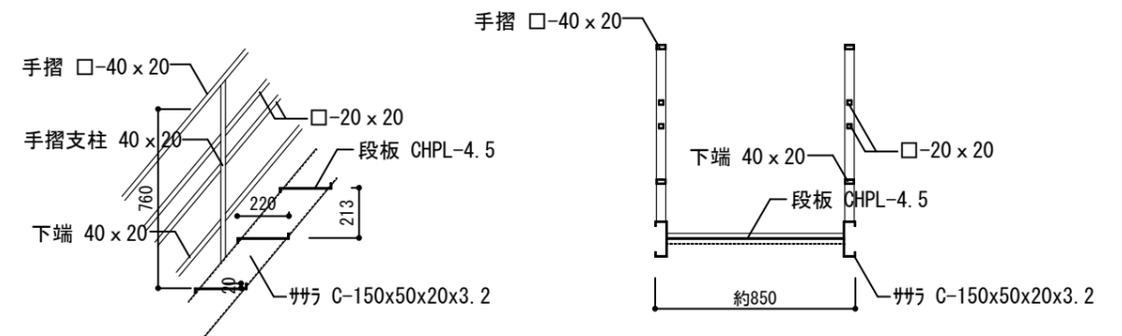
南立面図 S=1:100



西立面図 S=1:100

凡例	現況	改修後
A	カラー鉄板 折板葺き	→ ウレタン塗膜防水 (折版屋根仕様)
B	外壁: 角波塗装鋼板貼り	→ 下地処理の上DP塗替
C	鉄骨表し部分 塗装仕上げ	→ 鉄骨部 DP塗替 補強鋼材部 DP塗装
D	鉄骨階段 塗装仕上げ	→ 鉄骨階段 踊り場、踏み面 天端 防滑塗料塗り (薄膜型UV塗装) 段鼻 色分け サワ、手すり、支柱及び裏面 DP塗替
E	スチール建具 SOP塗装	→ DP塗替 内外共 枠共

※耐震補強工事に伴い、既設電気配管等が施工に干渉する場合は脱着を考慮すること



※鉄骨階段全てDP塗替

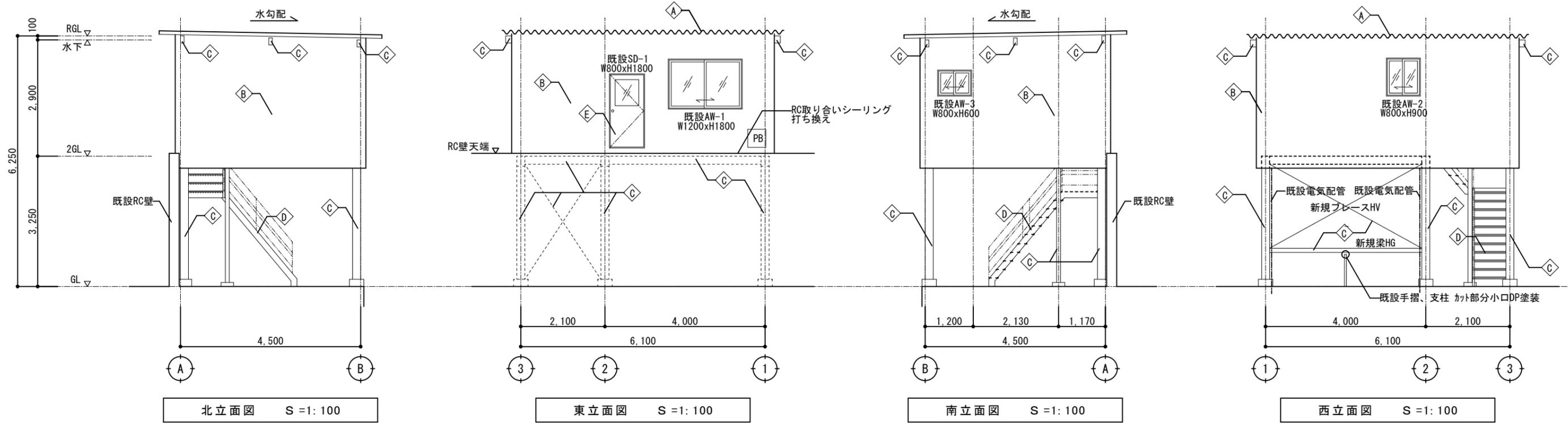
階段部分詳細図 S=1:30

既設

No. A-18

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図	R 7 年 1 月
詰所棟 平面図・立面図【現況】	
scale (A3) S=1:100	
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治	

※耐震補強工事に伴い、既設電気配管等が施工に干渉する場合は脱着を考慮すること



現況		改修後	
凡例	A カラー鉄板 折板葺き	→	ウレタン塗膜防水 (折版屋根仕様)
	B 外壁: 角波塗装鋼板貼り	→	下地処理の上DP塗替
	C 鉄骨表し部分 塗装仕上げ	→	鉄骨部 DP塗替 補強鋼材部 DP塗装
	D 鉄骨階段 塗装仕上げ	→	鉄骨階段 踊り場、踏み面 天端 防滑塗料塗り (薄膜型ウレタン塗装) 段鼻 色分け ツツ、手すり、支柱及び裏面 DP塗替
	E スチール建具 SOP塗装	→	DP塗替 内外共 枠共

外壁 角波塗装鋼板貼り 特記事項

- 既設 角波塗装鋼板貼り
全面水洗い・ケン清掃+目荒らし処理 脆弱部撤去滑膜残しの上 DP塗装とする
※塗布工法とし、吹付工法では行わない事
- 既設ビス頭 シール処理を行うこととし、損傷の著しい箇所は取り替えを考慮すること

鉄骨階段部分 防滑塗料塗り (薄膜型ウレタン塗装) について

- 大同塗料 (株) : ユカクリートAU
- 日本特殊塗料 (株) ユタックR 各社同等品程度とする

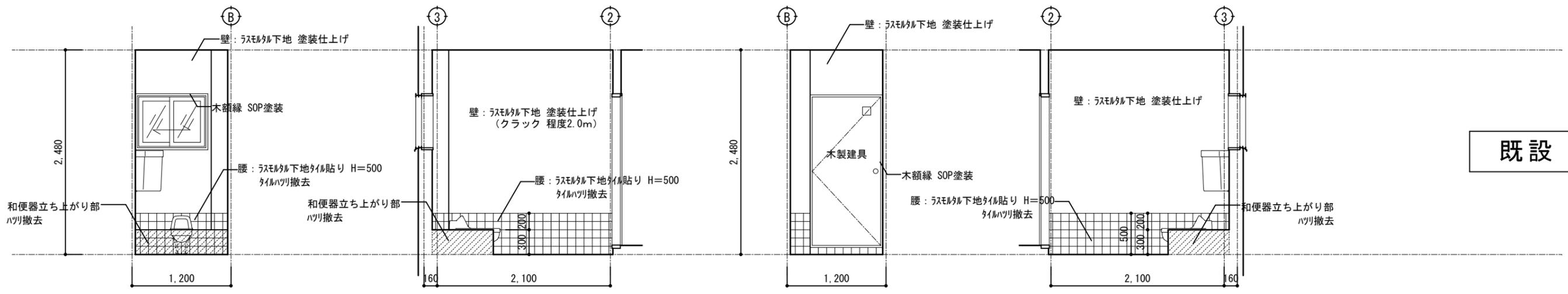
注意事項

- 外壁面に付属する設備BOX・換気フード等について、SUS・アルミ製は水洗いとし、樹脂製・鋼板製は清掃の上DP塗装 (上塗2回) とする。
- 外壁面に付属する設備配管について、φ20以下程度の細物は外壁同様に塗装、その他の鉄部は特記なき限り全て既設のままとする (支持金物も同様とする)

記号・数量	SD-1 1ヶ所	AD-1 1ヶ所	AW-1 1ヶ所	AW-2・AW-3 各 1ヶ所	WD-1 1ヶ所	WD-2 各 1ヶ所	F-1 各 1ヶ所	F-2 1ヶ所
姿 図								
型式・見込み	スチール片開きドア 100	アルミ片開きドア 70	アルミ引き違い 70	アルミ引き違い 70	片開きドア 30	引き違い戸 30	引き違い襖 21	両開き襖戸 21
材質仕上	スチールSOP	アルマイト	アルミ	アルミ	ポリ合板フラッシュ	ラワン合板フラッシュ 和室側 新鳥の子貼り 廊下側 クロス貼り	新鳥の子貼り	新鳥の子貼り
ガラス	網入り型ガラス	型ガラス	網入り型ガラス	透明ガラス	明り取り窓 型ガラス			
金物	握り玉、ドアチェック	握り玉	アルミ水切り	アルミ水切り	握り玉	引手	引手	取手
備考	DP塗替 (内外 枠共) 外部側 四周シリング 打ち換え	廊下側 木額縁 SOP塗替	外部側 四周シリング 打ち換え	外部側 四周シリング 打ち換え	四周 木部 SOP塗替	和室側 新鳥の子貼り張替 廊下側 クロス張替	新鳥の子 張替	新鳥の子 張替

建具表 S= 1: 100

改修後



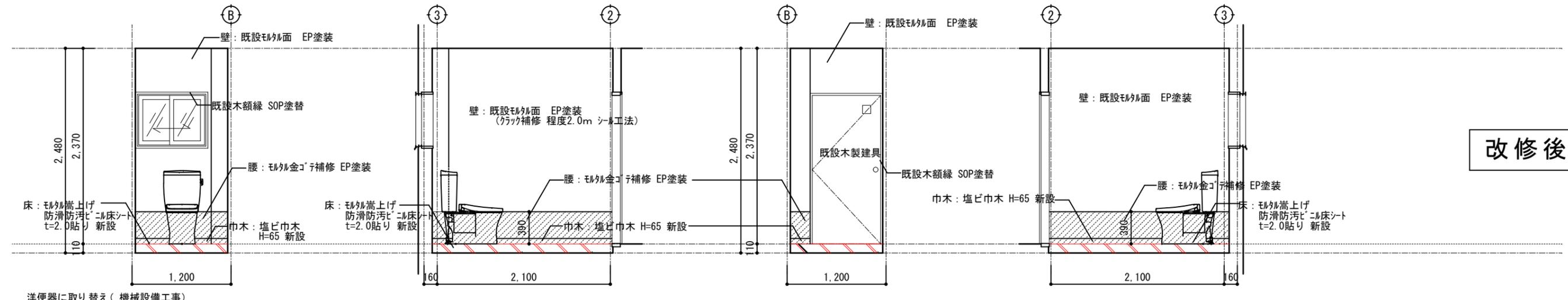
既設

2階 WC【現況】展開図 A 面

B 面

C 面

D 面



改修後

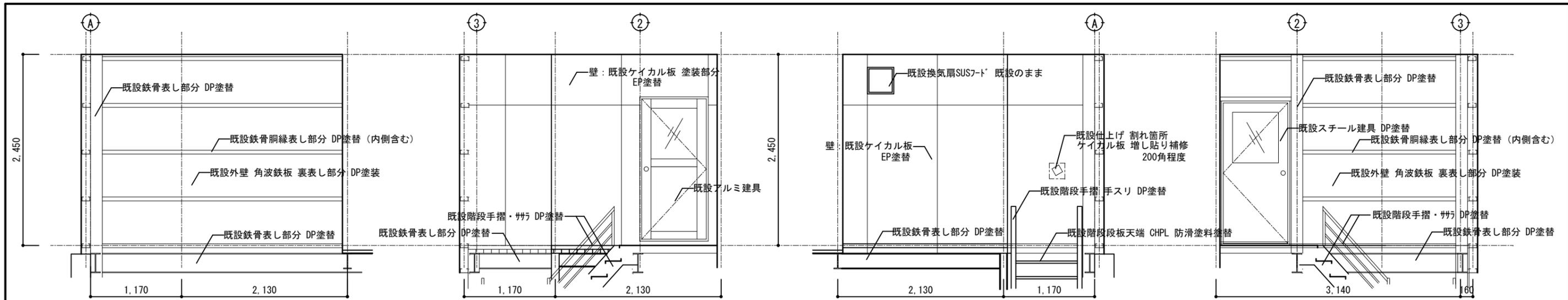
2階 WC【改修後】展開図 A 面

B 面

C 面

D 面

No. A-20



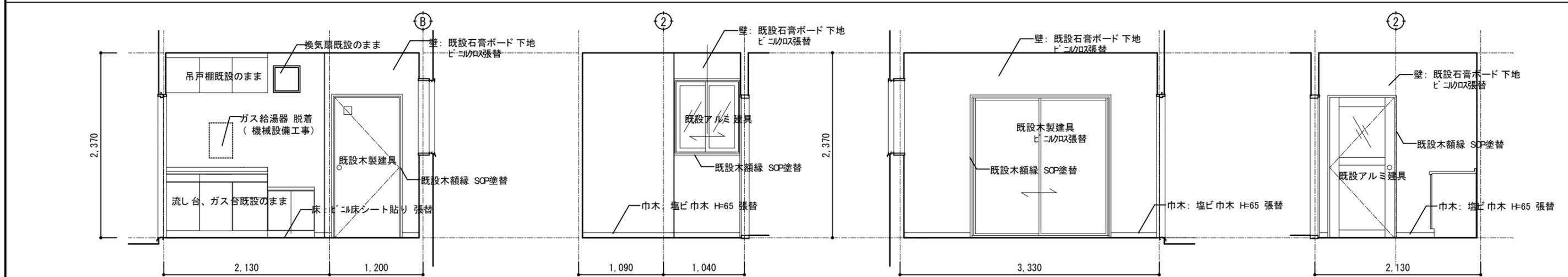
2階 階段室 展開図

A 面

B 面

C 面

D 面



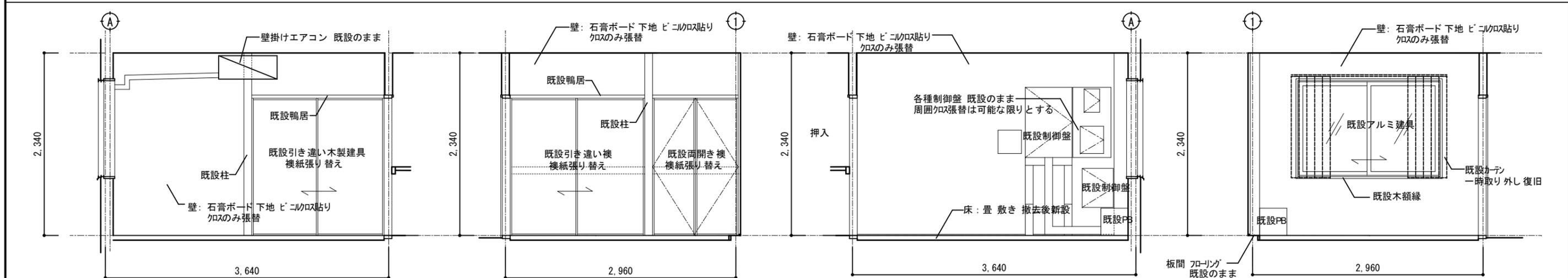
2階 廊下 展開図

A 面

B 面

C 面

D 面



※ 和室 内部 木部見えがかり部 全てUC塗装

2階 和室 展開図

A 面

B 面

C 面

D 面

No. A-21

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R7年1月

詰所棟 展開図 2

scale (A3) S:1:50

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治

鉄骨工作標準図(1)

2022年度版

§1 一般事項

- 1) 使用材料、工法等は構造特記仕様による。
- 2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書1-2-4、5に指定した共通仕様書および標準仕様書による。
- 3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。
- 4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

§2 共通事項

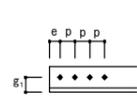
- | | | | |
|--------|-----------|--------|------------|
| ○ AB | アンカーボルト | ○ BH | 組立て H形鋼 |
| ○ BPL | ベースプレート | ○ OHPL | チェッカープレート |
| ○ DFPL | ダイヤフラム | ○ FB | フラットバー |
| ○ FPL | フランジプレート | ○ GPL | ガセットプレート |
| ○ HTB | 高力ボルト | ○ RPL | リッププレート |
| ○ SPL | スプライズプレート | ○ TB | ターンバックル |
| ○ WPL | ウェブプレート | ○ W... | 溶接記号(§4参照) |

§3 ボルト接合

ボルトの長さ

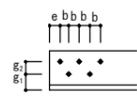
ボルトの呼び径	締付け長さに加える長さ		
	F8T, F10T	S10T	
M16	30	25	
M20	35	30	
M22	40	35	
M24	45	40	

1. 特記以外はすべてS10T(トルシア形高力ボルト、上図)又はF10Tとする。
2. 本締め使用するボルトと、仮締めボルトの兼用はしてはならない。
3. ボルトの接合面の処理は、締め付け摩擦面を平グライNDER掛け等を行い、黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ショットブラスト等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締め後、マーキングを入れてから本締めをする。
4. 亜鉛メッキボルトの場合は、すべてF8Tとする。

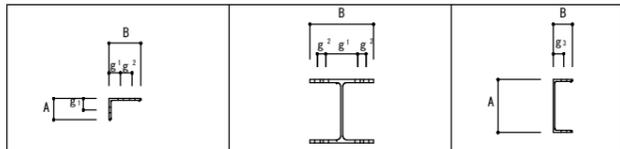


呼び径	M 16				M 20				M 22				M 24			
	孔径		ピッチ		孔径		ピッチ		孔径		ピッチ		孔径		ピッチ	
はしあき	標準		P													
	最小		最小		最小		最小		最小		最小		最小		最小	
最小縁端距離	せん断線、手動ガス切断線															
	圧延線、自動ガス切断線等				圧延線、自動ガス切断線等				圧延線、自動ガス切断線等				圧延線、自動ガス切断線等			

() 内はボルトが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。



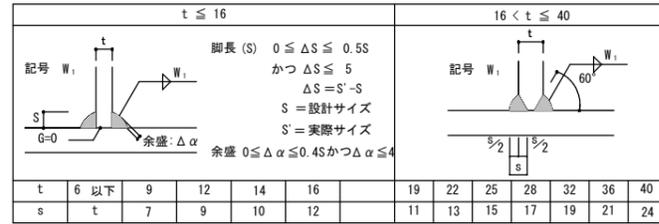
ゲージ	e ₂	千鳥打ちのピッチ b	
		M16, 20, 22	M24
35	50	50	65
40	45	45	60
55	25	25	45



A or B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径	B	g ₁	g ₂	最大軸径
**50	30	16	**100	60	16	**50	30	16			
60	35	16	125	75	16	65	35	20			
65	35	20	150	90	22	70	40	20			
70	40	20	175	105	22	75	40	22			
75	40	22	200	120	24	80	45	22			
80	45	22	250	150	24	90	50	24			
90	50	24	*300	150	24	100	55	24			
100	55	24	350	140	24						
125	50	35	400	140	24						
130	50	40		90	24						
150	55	55									
175	60	70									
200	60	90									

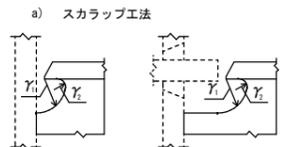
*B = 300は千鳥打ちとする。
**印の欄のg₁及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

§4 溶接接合

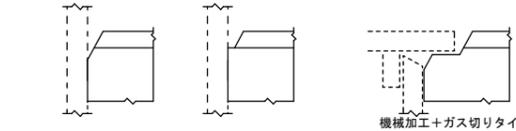


断続隅肉溶接の長さL $L \ge 10s$ かつ40以上

- 1) 板厚の異なる場合 (通しダイヤフラムは除く)
 - 2.5以上 $a > 10$
 - クレーンガーダーの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。
- 2) エンドタブ
 - 両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
 - 長さ l は35以上かつ薄方の板厚の2倍以上とする。
 - エンドタブを切断する場合溶接終了後母材より5~10mmはなして切断する。代替タブを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
 - エンドタブ、裏当て金の組立て溶接は右図による。
- 3) 開先加工 (下図は参考とする。)
 - a) スクラップ工法
 - スクラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。 γ は35程度、 γ は10以上とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
 - 完全溶込み溶接部以外のスクラップは $\gamma=25$ 程度とする。
 - b) ノンスクラップ工法



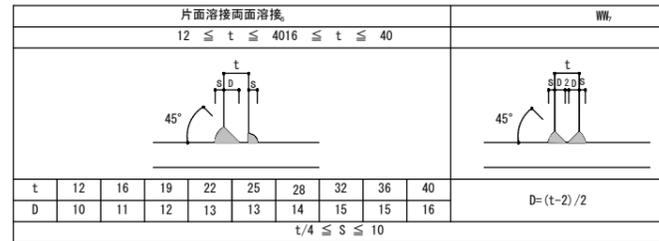
b) ノンスクラップ工法



4) 開先形状 小文字は管理許容差 () は限界許容差を示す ※十分な品質管理を行う

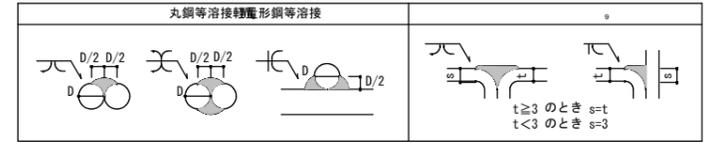
記号	形状	適用板厚	寸法		
			アーク手溶接	ガスシールドアーク溶接	
W ₂		6~	G	9 ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}	7 ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}
			R	2 ^{+1.0(+1.0)} _{-2(-0.2)}	2 ^{+1.0(+1.0)} _{-2(-0.2)}
MC-BL-1B GC-BL-1B		6~	G	35 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}	35 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}
			R	7 ^{+0.00(+0.00)} _{-1(-0.2)}	7 ^{+0.00(+0.00)} _{-1(-0.2)}
W ₂		6~	G	0 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎	0 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎
			R	2 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎	2 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎
MC-BL-2 GC-BL-2		6~	G	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}
			R	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}
W ₂		16~	G	0 ^{+2.5(+4)} ₋₀₍₋₀₎	0 ^{+2.5(+4)} ₋₀₍₋₀₎
			R	2 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎	2 ^{+2.5(+4)} ₋₂₍₋₀₎
MC-BK-2 GC-BK-2		16~	G	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}	45 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}
			R	60 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}	60 ^{+0.00(+0.00)} _{-2.5(-0.5)}
W ₂		3~6	G	T ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}	T ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}
			R	T ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}	T ^{+0.00(+0.00)} _{-2(-0.3)}

MC... はアーク手溶接 GC... はガスシールドアーク溶接・セルフシールドアーク溶接の記号を示す。



t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

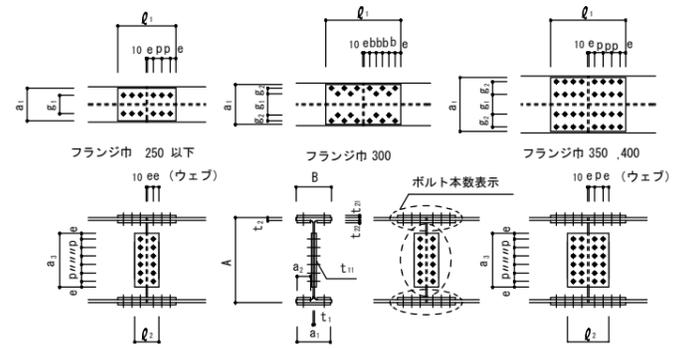
4-4 フレア溶接



加工工程中及び現場建方後においてもアークストライク、ショートビートをしてはならない。

4-5 その他

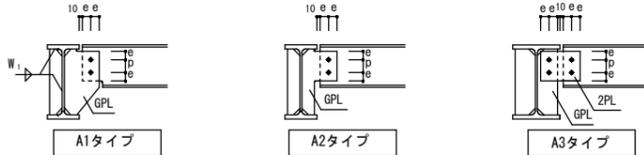
5-1 継手リスト



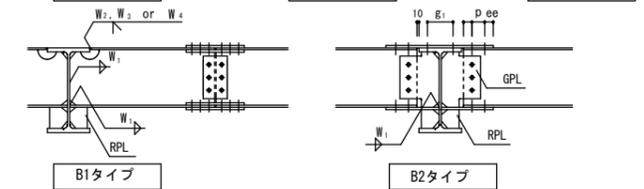
材種主	材	高力ボルト径	フランジ		ウェブ		添板	ビッチ
			外側添板	内側添板	ボルト本数	添板		
	H - A × B × t ₁ × t ₂		2PL-	4PL-	2PL-	2PL-		
	BH - A × B × t ₁ × t ₂		t ₂₁ × a ₁ × l ₁	t ₂₂ × a ₂ × l ₂	t ₁₁ × a ₁ × l	t ₁₁ × a ₁ × l		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		
	H - x × x × x		x × x	x × x	x × x	x × x		

1. フランジPL面もしくはウェブPL面で、段差1mmを超える場合は、フィラーPLを入れて調整すること。
2. a₂は原則として梁成の2/3以上確保すること。

5-2 小梁仕口



ピン接合 Aタイプ

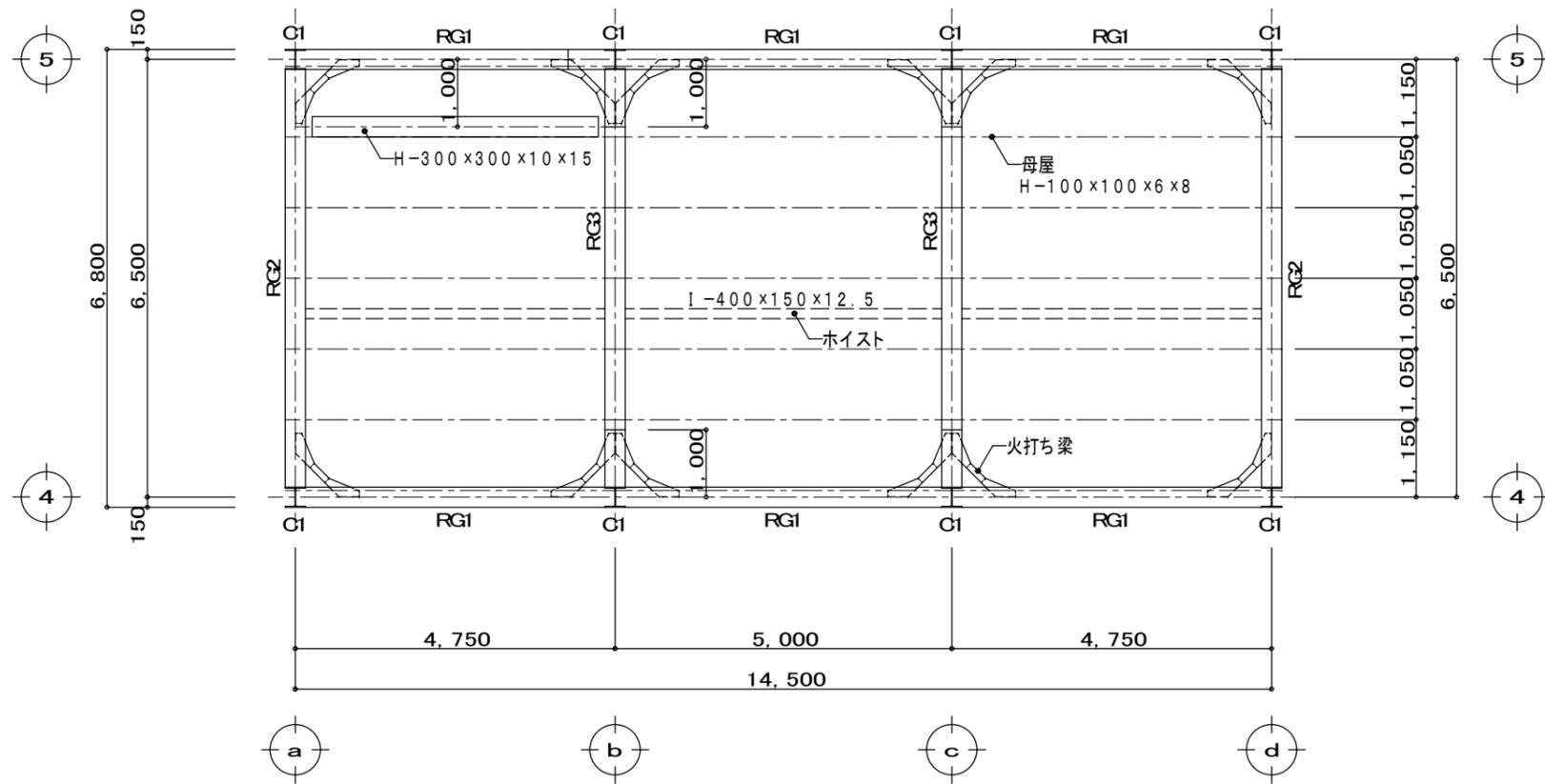


剛接合 Bタイプ

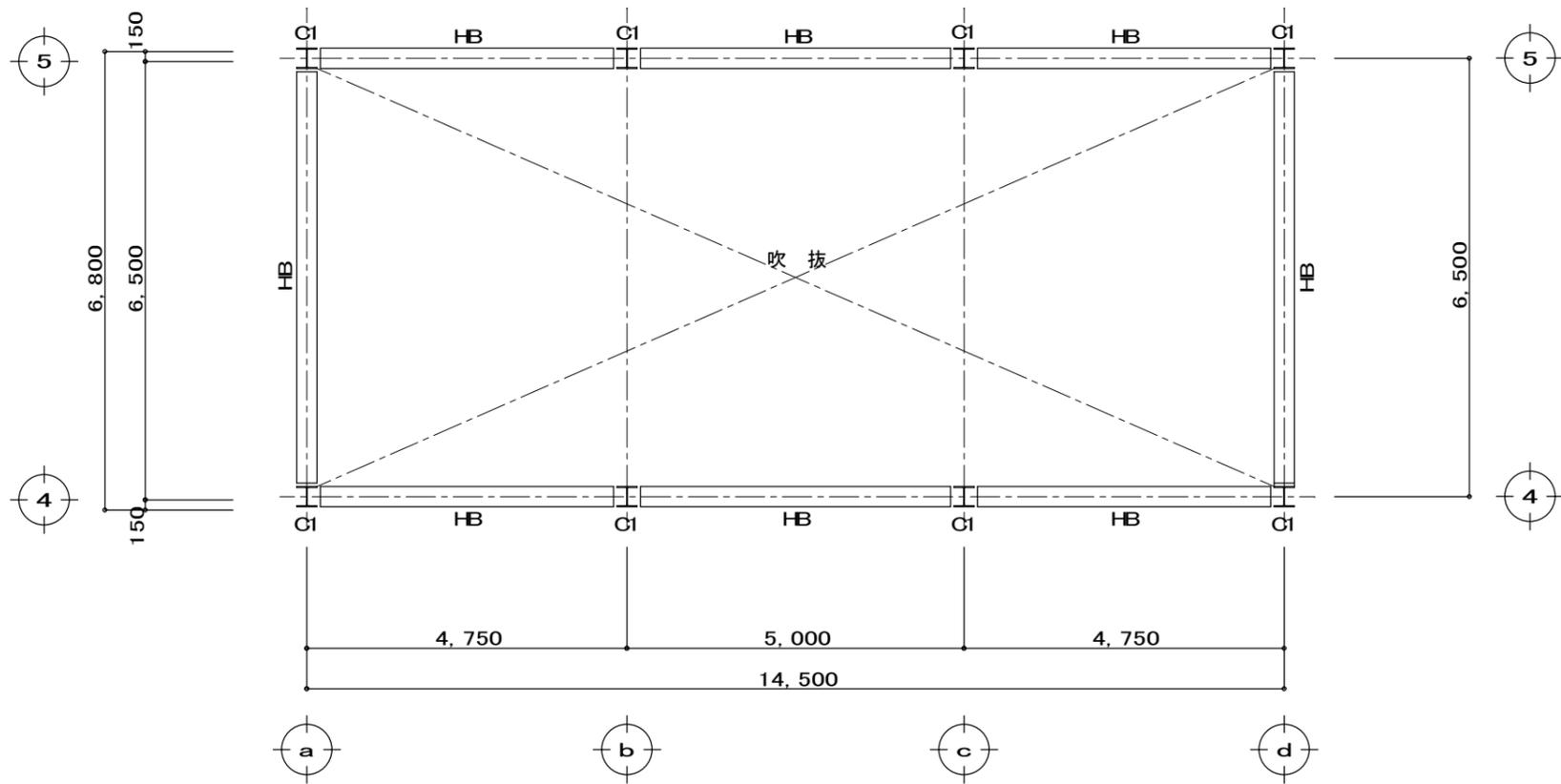
1. GPL, RPLは材種、板厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2. 継手プレート及び高力ボルトはリストによる。

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会
TEL(06) 6763-8205FAX(06) 6763-8206http://www.kse-web.com/

2022年2月1日作成



R階梁伏図 S=1/100

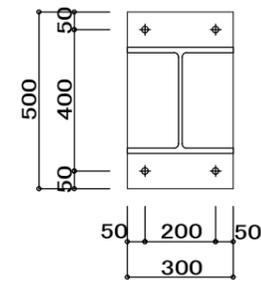


中間梁伏図 S=1/100

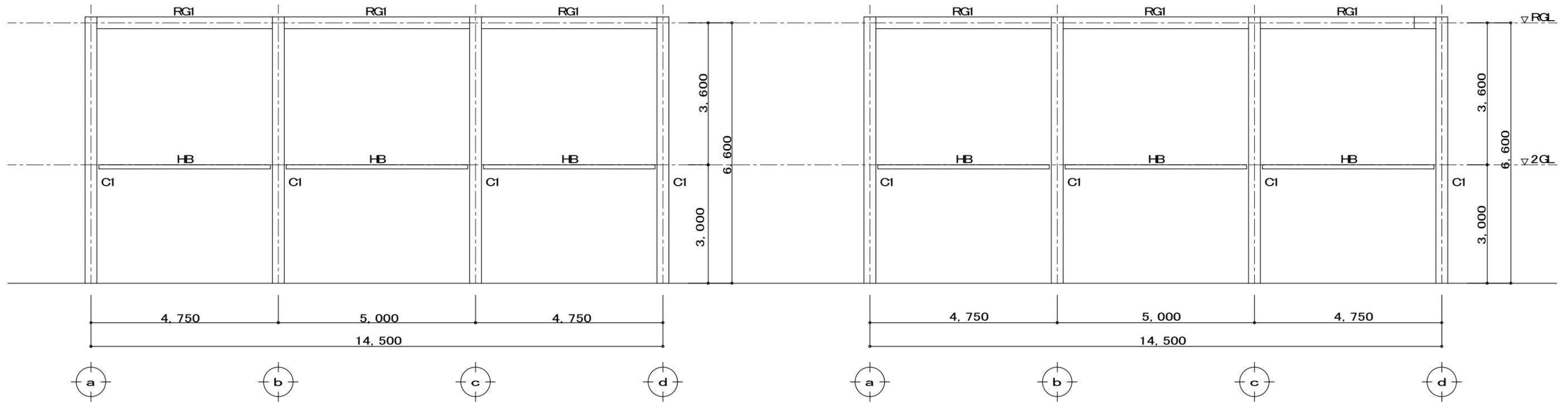
鉄骨部材リスト

柱 リスト (SS400)		
符号	部材	備考
C1	H-300x300x10x15	柱脚 BPL-25 A, B 4本 φ25

梁他 リスト (SS400)		
符号	部材	備考
RG1	H-300x300x10x15	
RG2	H-300x300x10x15	
RG3	H-300x300x10x15	端部は BH-600x300x10x15
HB	[-300x90x9x13	
方杖	[-200x90x8x13.5	
火打ち梁	[-200x90x8x13.5	
母屋	H-100x100x6x8	
デッキプレート	ALB16	

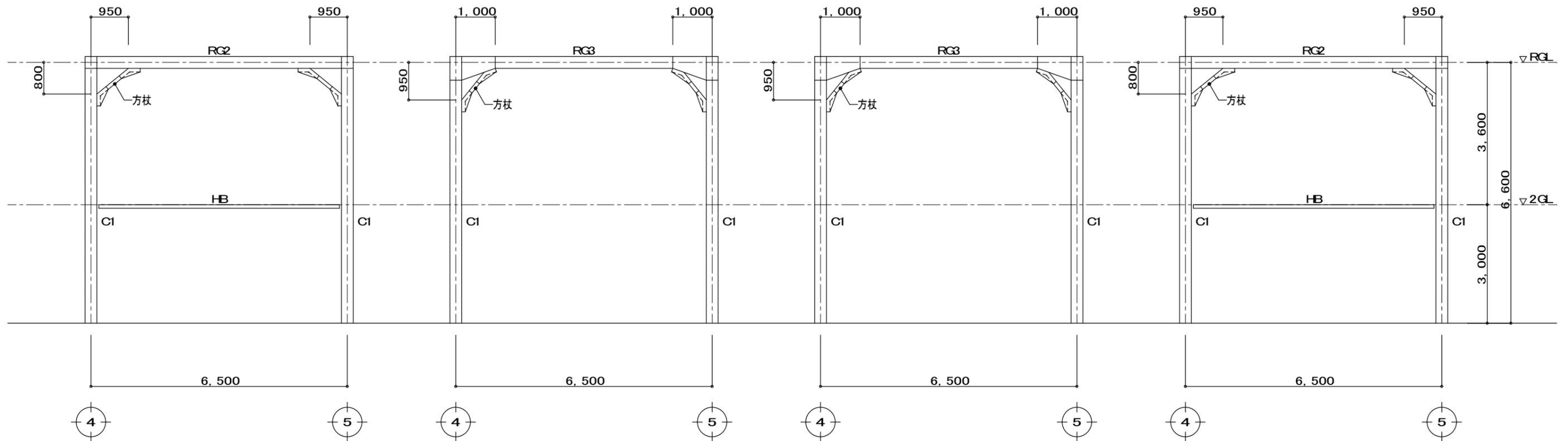


C1 柱脚詳細図 S=1/20



4 通り 軸組図 S=1/100

5 通り 軸組図 S=1/100



a 通り 軸組図 S=1/100

b 通り 軸組図 S=1/100

c 通り 軸組図 S=1/100

d 通り 軸組図 S=1/100

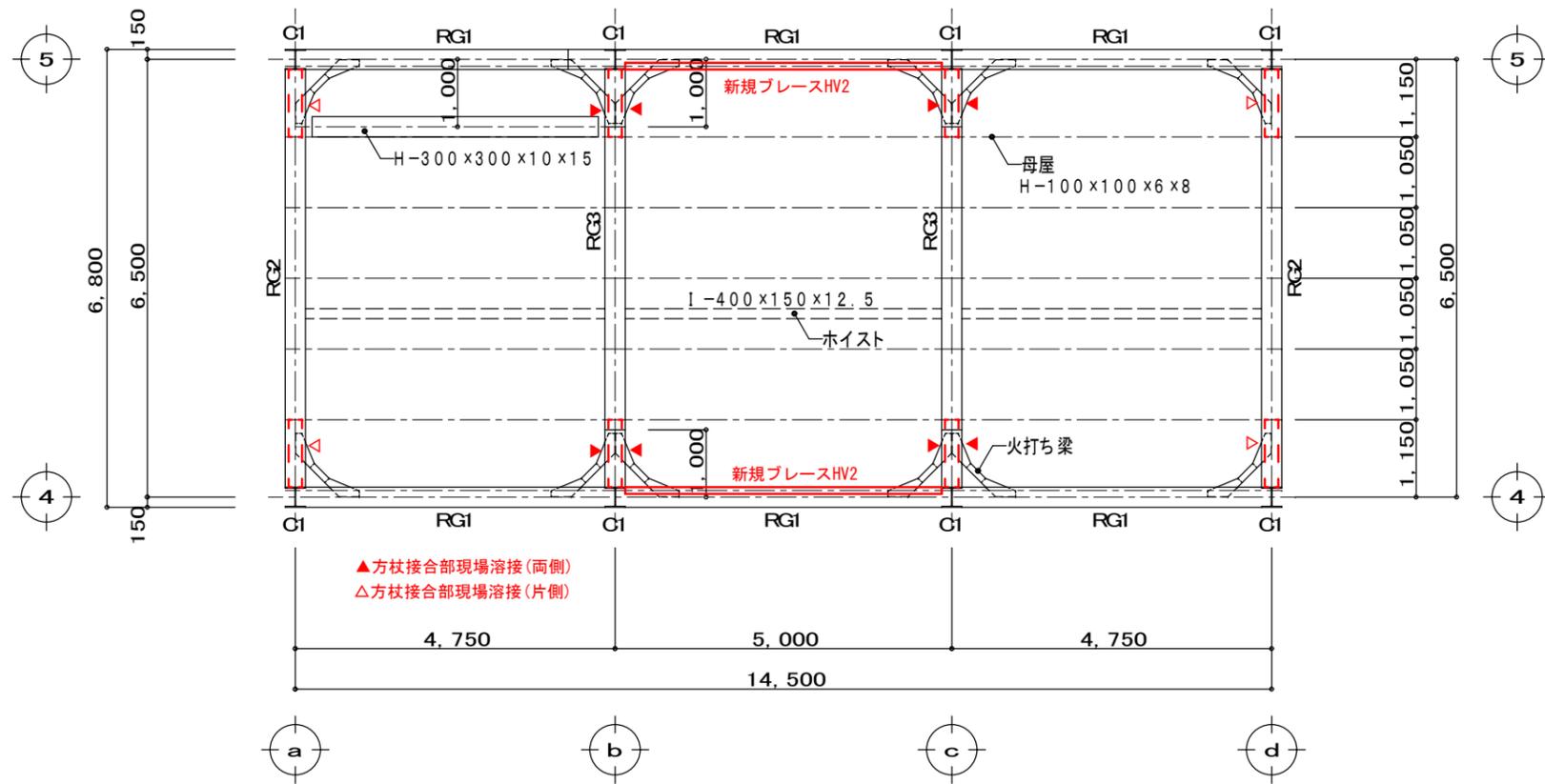
No. S-03/

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

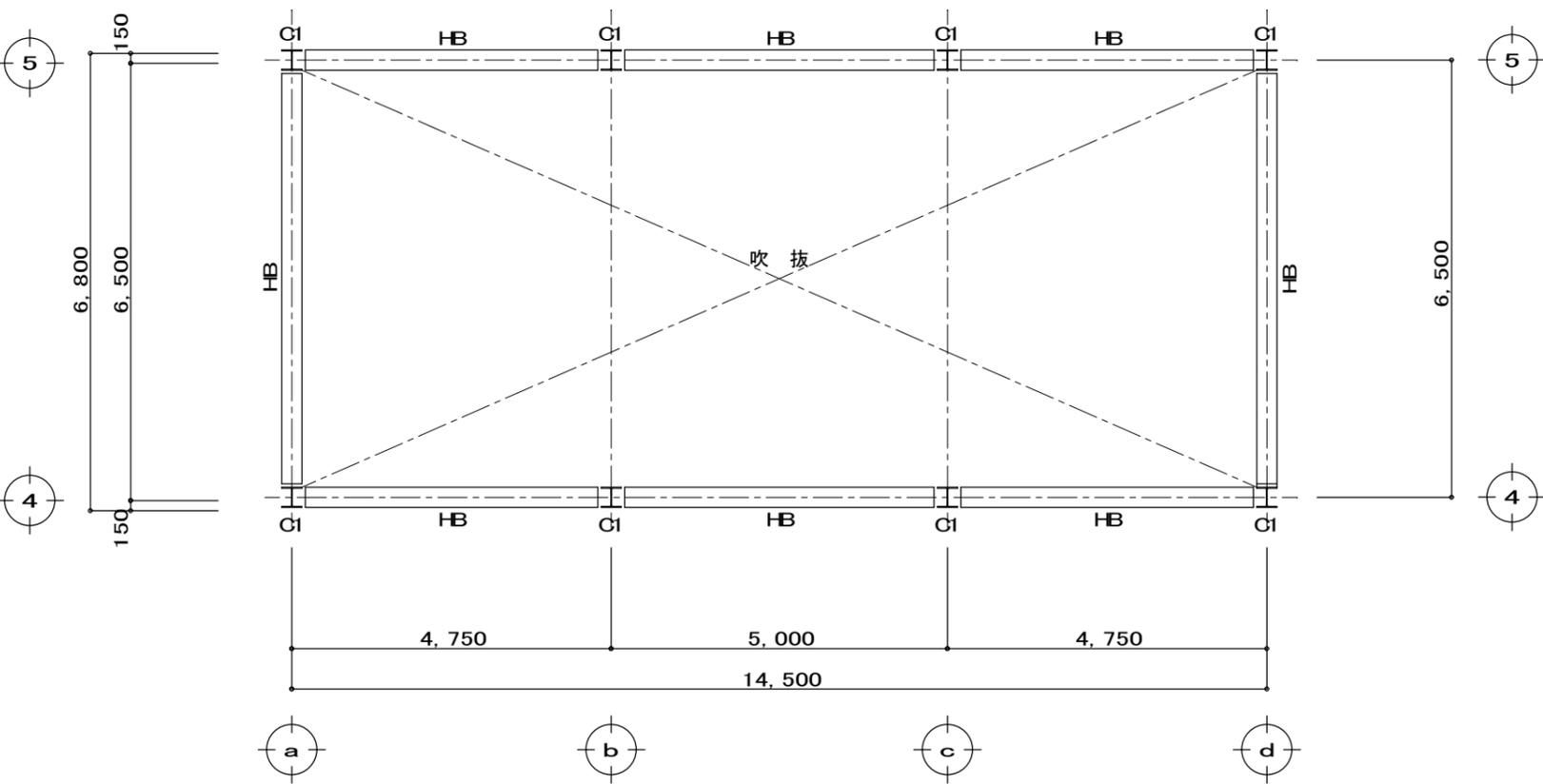
ポンプ棟 軸組図【現況】

scale (A3) S=1: 100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



R階梁伏図 S=1/100



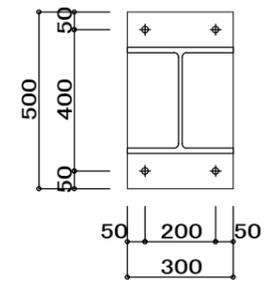
中間梁伏図 S=1/100

鉄骨部材リスト

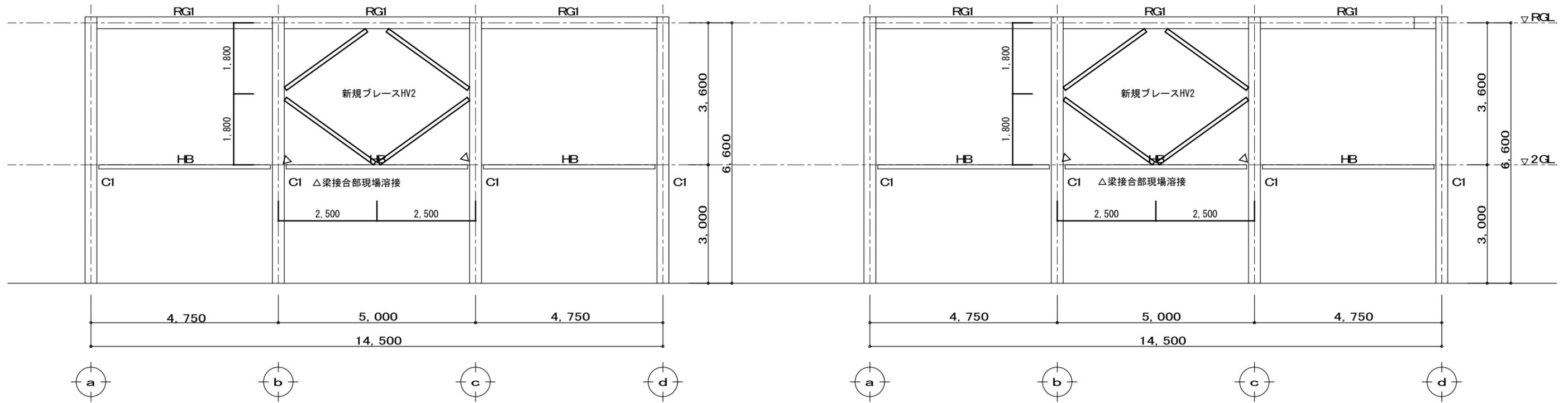
柱 リスト (SS400)		
符号	部材	備考
C1	H-300x300x10x15	柱脚 BPL-25 A, B 4本 φ25

梁他 リスト (SS400)		
符号	部材	備考
RG1	H-300x300x10x15	
RG2	H-300x300x10x15	
RG3	H-300x300x10x15	端部は BH-600x300x10x15
HB	[-300x90x9x13	
方杖	[-200x90x8x13.5	
火打ち梁	[-200x90x8x13.5	
母屋	H-100x100x6x8	
デッキプレート	ALB16	

・補強部材
新規ブレースHV2 : □-100x100x6



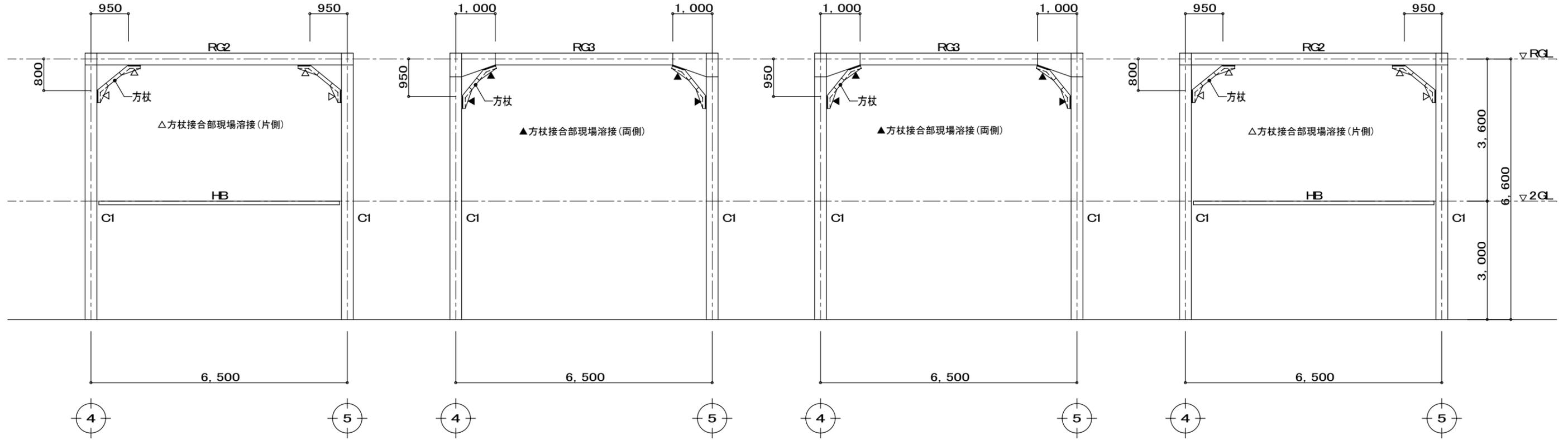
C1 柱脚詳細図 S=1/20



4 通り 軸組図 S=1/100

5 通り 軸組図 S=1/100

・補強部材
新規ブレースHV2 : □-100 x 100 x 6



a 通り 軸組図 S=1/100

b 通り 軸組図 S=1/100

c 通り 軸組図 S=1/100

d 通り 軸組図 S=1/100

No. S-05/

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

ポンプ棟 軸組図【改修後】

scale (A3) S=1: 100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治

(RG1) H-300x300x10x15

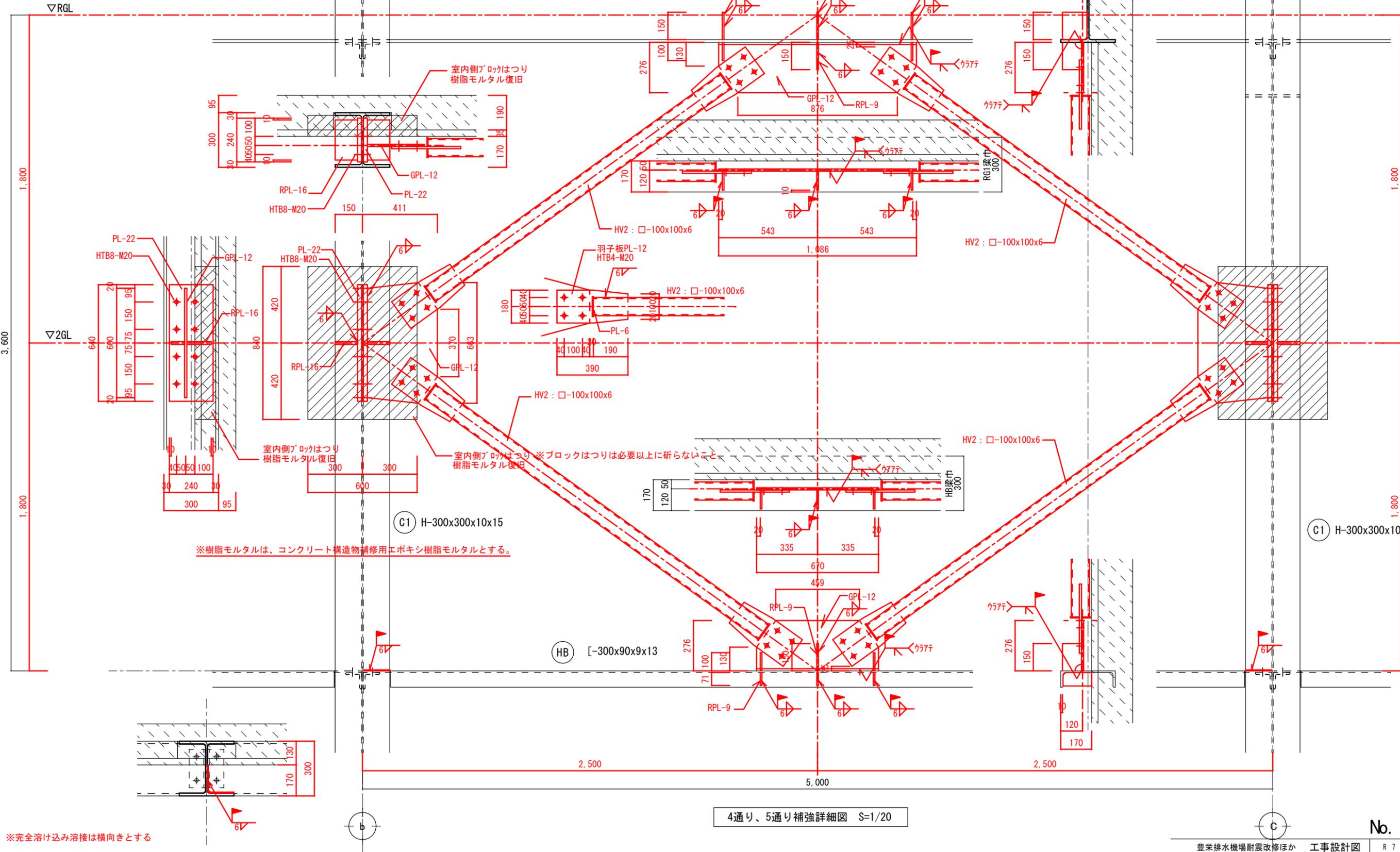
(HB) [-300x90x9x13

(C1) H-300x300x10x15

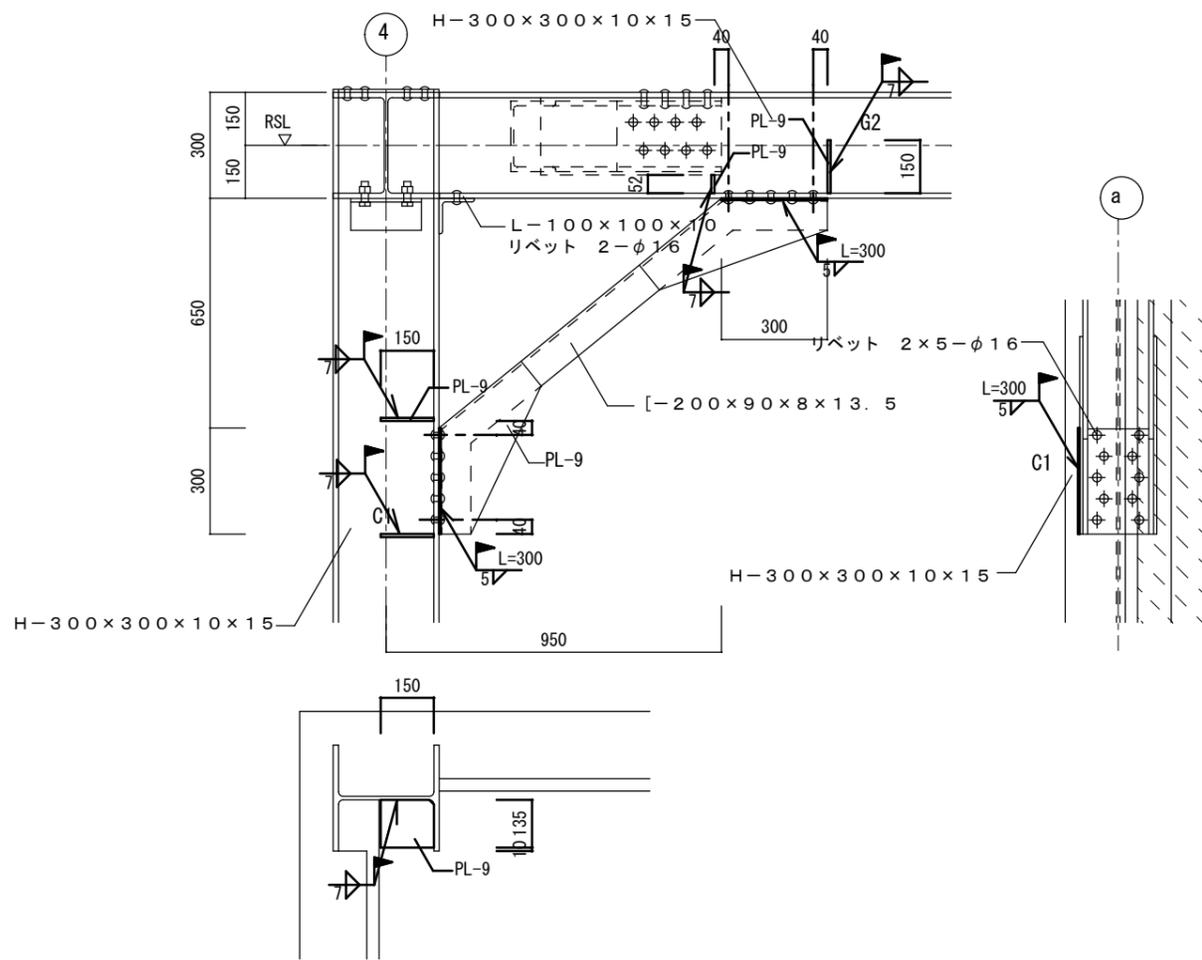
(C1) H-300x300x10x15

※樹脂モルタルは、コンクリート構造物補修用エポキシ樹脂モルタルとする。

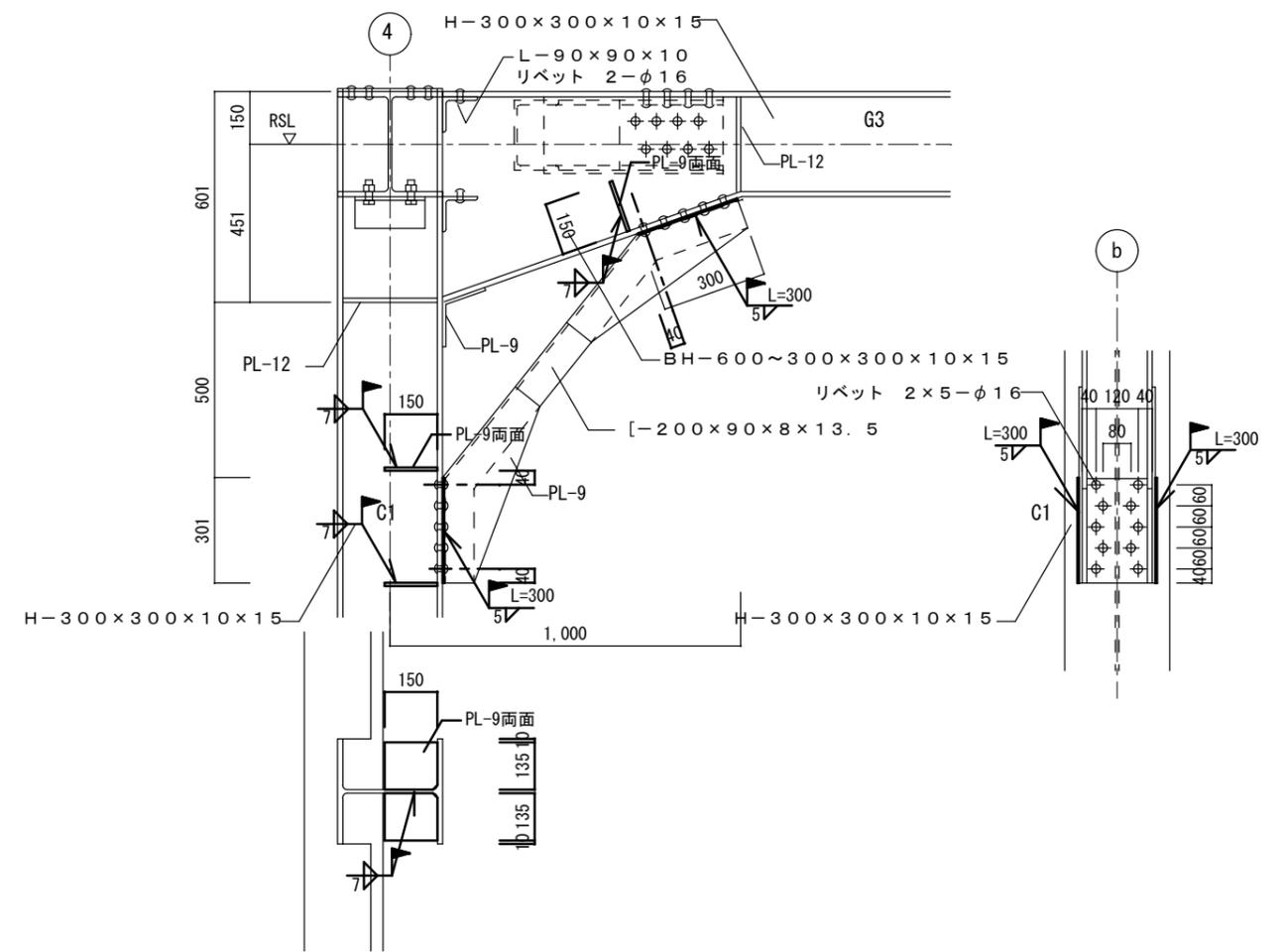
4通り、5通り補強詳細図 S=1/20



※完全溶け込み溶接は横向きとする



a通り、d通り補強詳細図 S=1/20



b通り、c通り補強詳細図 S=1/20

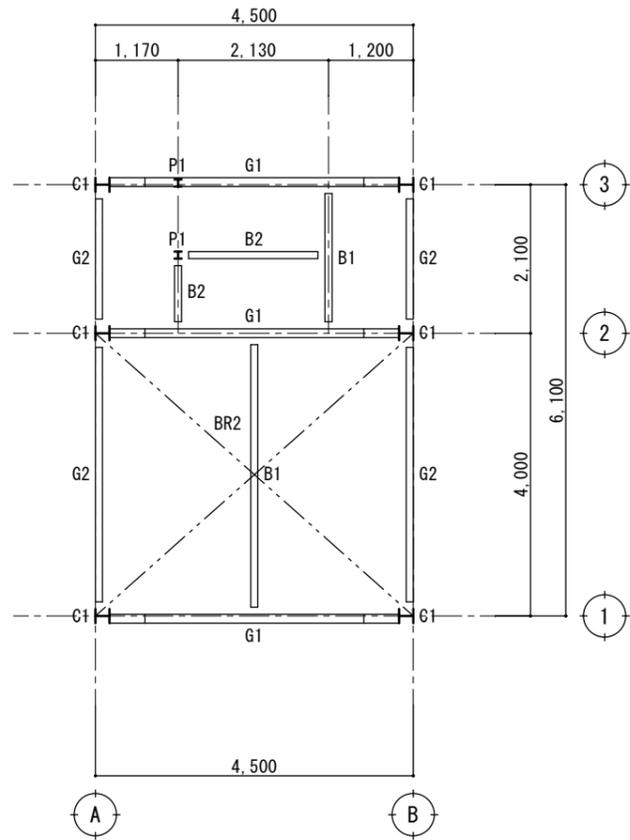
No. S-07/

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

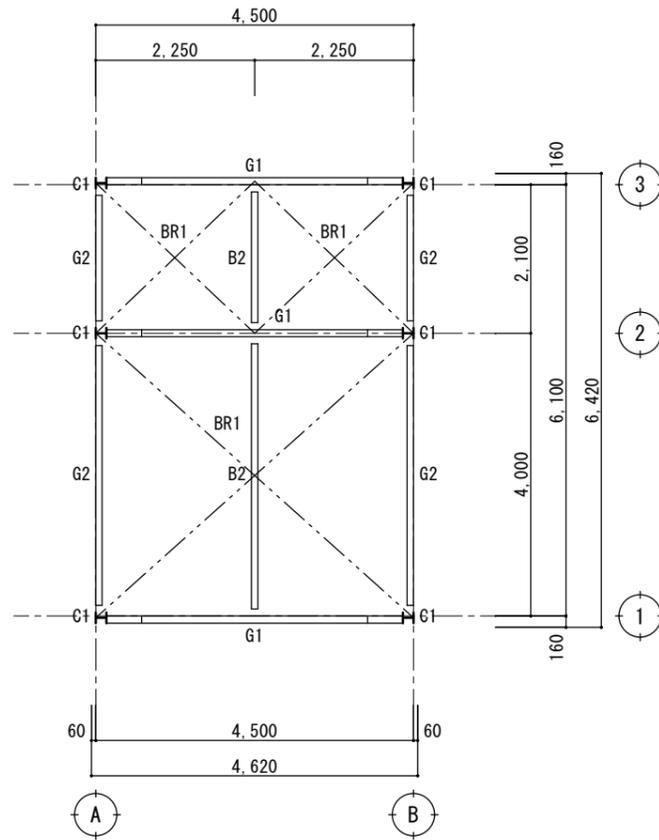
ポンプ棟
補強詳細図 No2

scale (A3) S=1:20

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



2階梁伏図
1/100



R階梁伏図
1/100

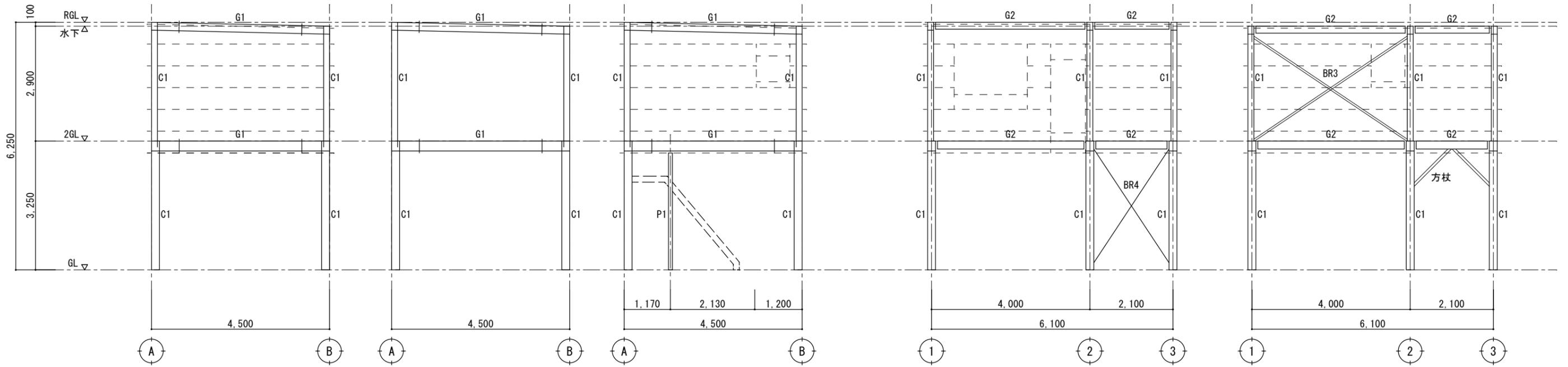
- 1C1 H-200×200×8×12 柱脚 BASE.PL-12 ANC.BOLT 4-M16
- 2C1 H-150×150×7×10
- P1 H-100×100×6×8

- 2G1 H-250×125×6×9
- 2G2 H-200×100×5.5×8
- RG1 H-200×100×5.5×8
- RG2 H-175×90×5×8

- B1 H-200×100×5.5×8
- B2 H-175×90×5×8

- BR1 屋根ブレース M16
- BR2 床ブレース M20
- BR3 2F壁ブレース FB-6×50
- BR4 1F壁ブレース M20

- 1F方杖 L-65×65×8



1通り軸組図
1/100

2通り軸組図
1/100

3通り軸組図
1/100

A通り軸組図
1/100

B通り軸組図
1/100

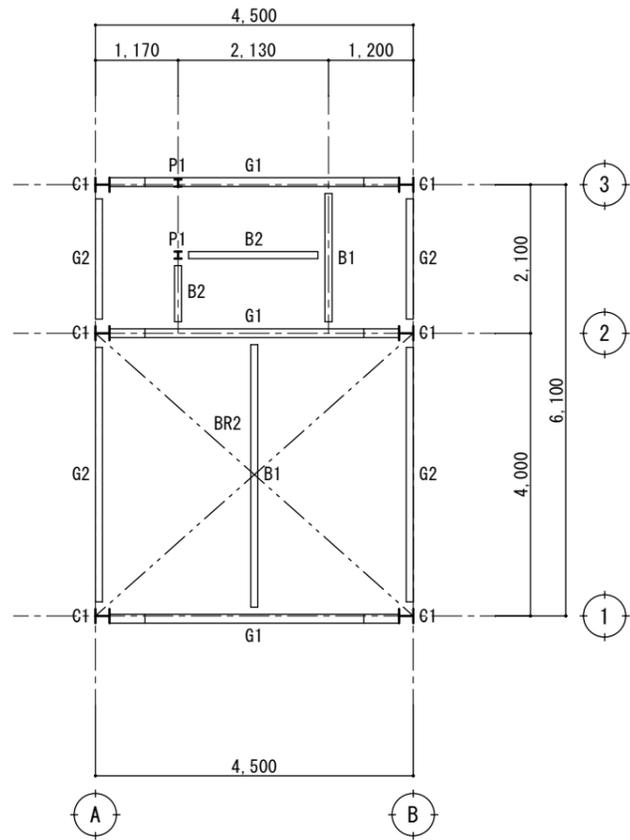
No. S-08

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

詰所棟
伏図・軸組図【現況】

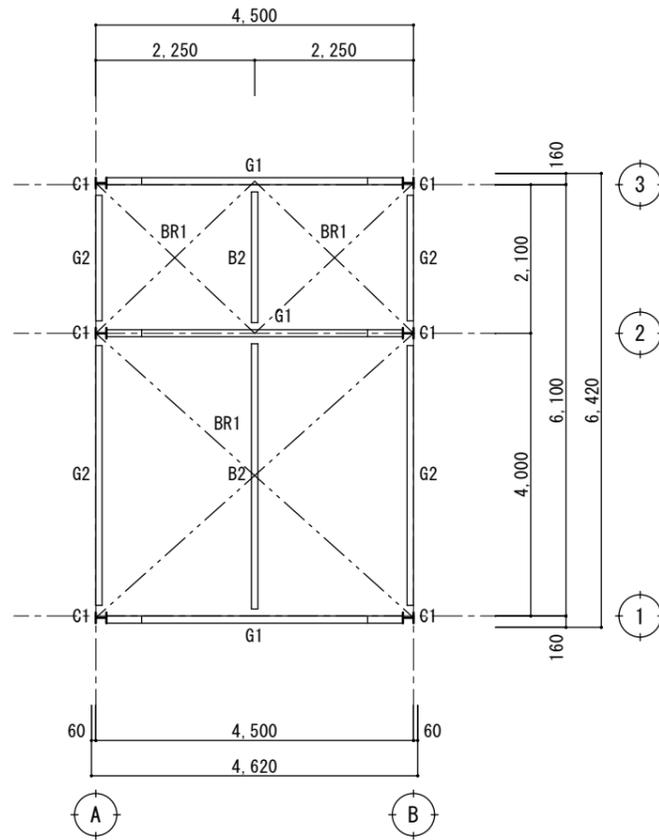
scale (A3) S:1: 100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



2階梁伏図

1/100



R階梁伏図

1/100

1C1 H-200×200×8×12 柱脚 BASE.PL-12 ANC.BOLT 4-M16
 2C1 H-150×150×7×10
 P1 H-100×100×6×8

2G1 H-250×125×6×9
 2G2 H-200×100×5.5×8
 RG1 H-200×100×5.5×8
 RG2 H-175×90×5×8

B1 H-200×100×5.5×8
 B2 H-175×90×5×8

BR1 屋根ブレース M16

BR2 床ブレース M20

BR3 2F壁ブレース FB-6×50

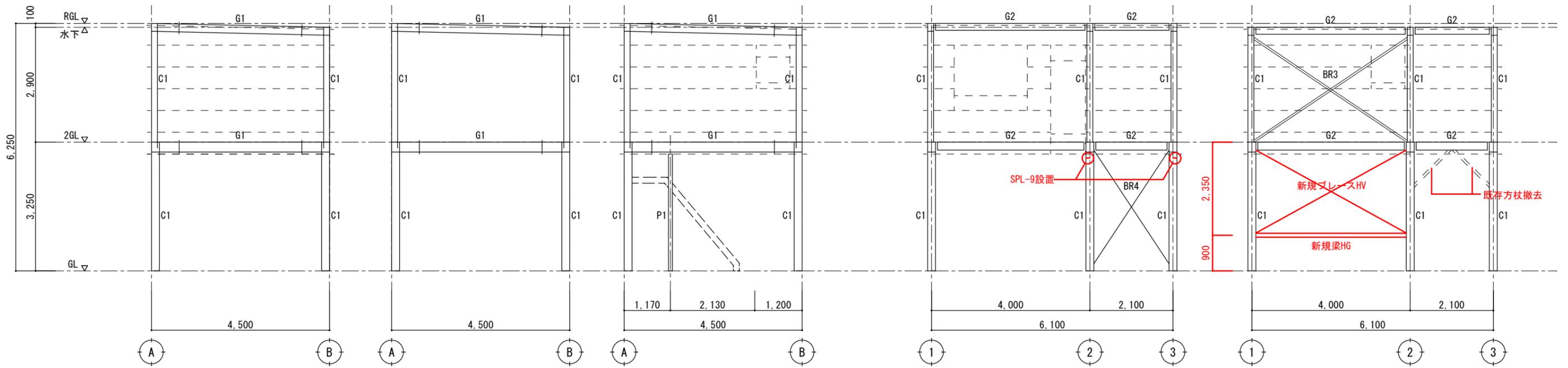
BR4 1F壁ブレース M20

1F方杖 L-65×65×8

・補強部材

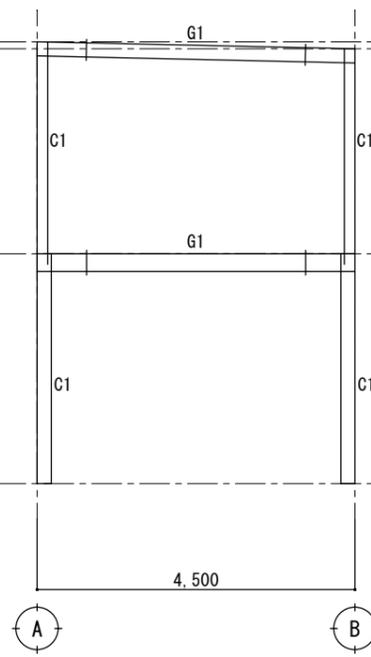
新規梁HG : H-100×100×6×8

新規ブレースHV : JISブレースM18



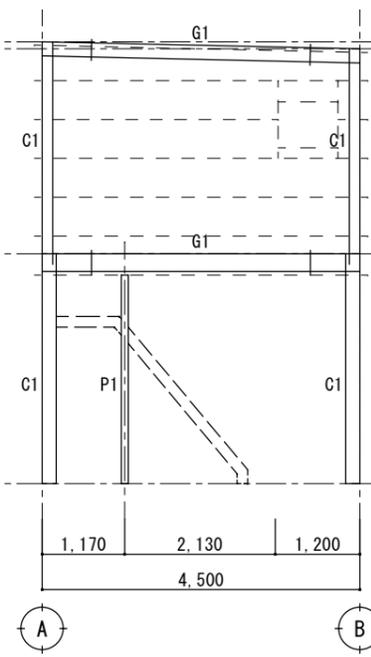
1通り軸組図

1/100



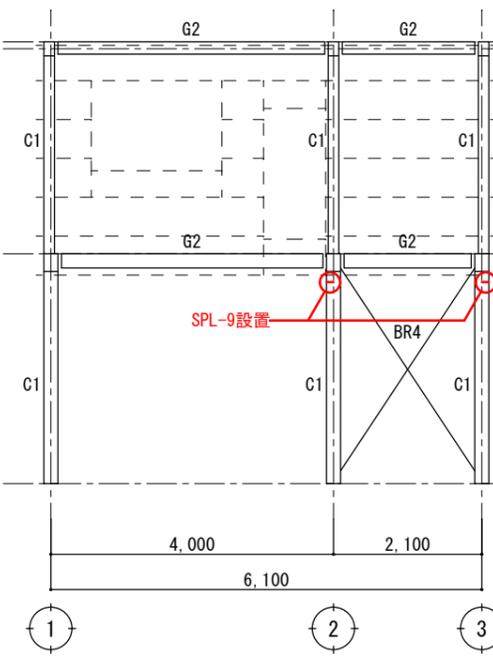
2通り軸組図

1/100



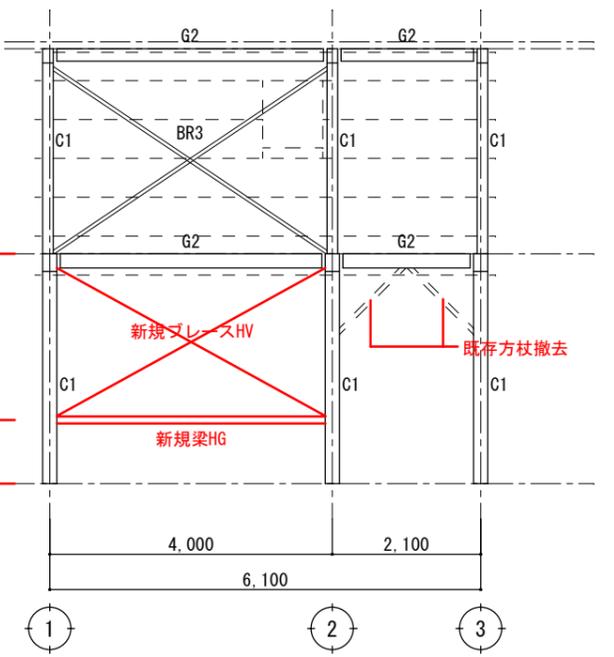
3通り軸組図

1/100



A通り軸組図

1/100



B通り軸組図

1/100

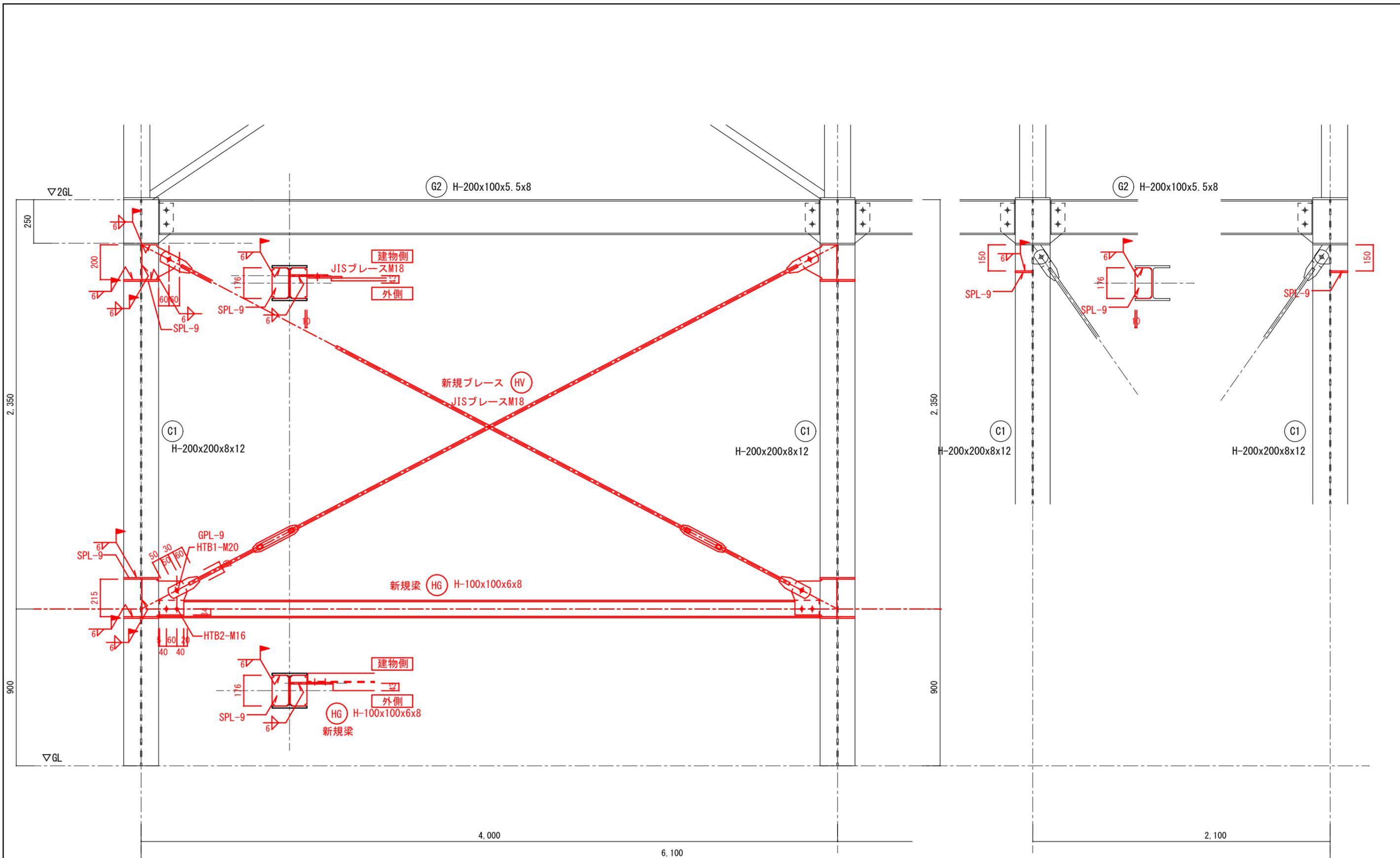
No. S-09

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7年 1月

詰所棟
 伏図・軸組図【改修後】

scale (A3) S:1: 100

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治



B通り補強図S=1/20

A通り補強図S=1/20

No. S-10

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図	R 7 年 1 月
詰所棟 補強詳細図	
scale (A3) S: 1: 20	
株式会社 山田建築設計 一級建築士 第153321号 山田 純治	

屋外埋設排水	<input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 JIS K 9798 (RF-VU) <input type="checkbox"/> 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三层管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 <input type="checkbox"/> コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (類水路用遠心力鉄筋コンクリート管)
消火管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置の風面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
冷温水配管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般：SGP-HVA)
冷却水管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116(一般：SGP-VA、VB) <input type="checkbox"/> フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011(一般：SGP-FVA、FVB)
ドレン管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) <input type="checkbox"/> 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) <input type="checkbox"/> リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管 JIS K 9798 (RF-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。RF-VUは屋外露出不可。 <input type="checkbox"/> 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741 (硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798 (リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三层管RF-VU)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
冷媒管	<input type="checkbox"/> 鋼及び鋼合金無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 <input type="checkbox"/> 断熱材被覆鋼管 原管はJIS H3300による。製造者標準品ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。 ※ 冷媒用鋼管の肉厚は、冷凍保安規則関係例示基準の規定による。
油管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合
蒸気管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452 <(往) 溶接 (還) 65A以上:溶接、50A以下:ねじ>
ブライ管	<input type="checkbox"/> 配管用炭素鋼管(黒) JIS G 3452

※ 弁類 排水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Kとし、それ以外は5Kとする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食コパ付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下	—	2m以下
	125A以上	—	3m以下

ビニル管	80A以下	—	1m以下
耐火二層管	100A以上	—	2m以下

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	0m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A～100A	125A～

ビニル管	25A～40A	50A～100A	125A～
------	---------	----------	-------

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

- ダクト工事
矩形ダクト 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 アングルフランジ工法
 共板フランジ工法
 スライドオンフランジ工法
 山形鋼 JIS G 3101 SUS鋼材 JIS G 4317
- 形鋼補強
丸ダクト スパイラルダクト
 硬質ポリ塩化ビニル管 (多温箇所) JIS K 6741

3) 保温塗装工事

1) 材料

<input type="checkbox"/> グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 消火管(露出部)
<input type="checkbox"/> 蒸気管(往)	<input type="checkbox"/> 蒸気管(還)	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管(屋外等)
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温板 JIS A 9504 1号又は2号		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 消火管

<input type="checkbox"/> ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温板、保温筒 JIS A 9511 3号		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管(2～4℃)
<input type="checkbox"/> ブライ管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 消火管
<input type="checkbox"/> ブライ管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント)	1種 (露出)		
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管	<input type="checkbox"/> 冷却水管
<input type="checkbox"/> ダクト(亜鉛鉄板製)	<input type="checkbox"/> ダクト(鋼板製)		

<input type="checkbox"/> さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント)	2種		
<input type="checkbox"/> 蒸気管(往)	<input type="checkbox"/> ダクト(鋼板製)		

<input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)	下塗りし錆止めペイント		
<input type="checkbox"/> 蒸気管(還)			

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	～80A	100～150A	-	200A～	-
膨張・温水・消火管	-	-	-	-	-
蒸気管	～25A	-	32～50A	65A～	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	～25A	32～200A	250A～

ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	～25A	32～200A	250A～	-
冷水管(冷水温度2～4℃)	-	-	～20A	25A～100A	125A～	-
ブライ管	-	-	-	～25A	32～80A	100A～

機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出【機械室、書庫、倉庫】、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出【一般居室、廊下】)、サブライチャンパー、貯湯タンク類冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッド、排気筒隠蔽部(ロックウール)	
75mm	煙道(ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	75kg/㎡以上
天井内・P S内	アルミガラスクロス化粧保温筒	ポリエチレンフィルム		
暗渠内(ビッド内)	保温筒	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ビッド内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
※ 2) サヤ管工法: 架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。
※ 3) 消火管の保温は消防打ち合わせにより決定すること。

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム		アルミガラスクロス仕上
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ビッド内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
 保温化粧ケース仕上 SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッド					カラー亜鉛鉄板(屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	
温水・蒸気ヘッド					カラー亜鉛鉄板(屋内)
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	鉄	保温板	カラー亜鉛鉄板	
	機械室		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋内隠蔽、D S内		鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	屋外露出、多温箇所	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー亜鉛鉄板	
	機械室		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋内隠蔽、多温箇所		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ		
	屋外露出、多温箇所	保温帯	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板
サブライチャンパー		鉄	保温板	ガラスクロス	銅亜鉛鋼板又はアルミバンディングモルタル	
消音チャンパー・エルボ		鉄	保温板	ガラスクロス		
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	鉄	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ		
排煙ダクト円形	屋内隠蔽	アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ			
煙道	フランケット	鉄線	カラー亜鉛鉄板			

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道フランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16線径0.55の金網又はRWS02による防錆処理を施した平ラS0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種別	塗り回数	備考	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	下塗り	1	下塗りはさび止めペイント
			中塗り	1	
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	上塗り	1	
			下塗り	2	
			1	下塗りはさび止めペイント	

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

- 4) 施工
- ダクト保温施工範囲
- SA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - EA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - RA 保温あり 保温なし 図面による その他 ()
 - OA 保温あり 保温なし 図面による その他 ((例) 外壁面から1m程度)

- チャンパー内貼施工
- 内貼あり (mm) 内貼なし 図面による その他 ()
- 4) スリーブ工事
- 管スリーブの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大(=2サイズUP)なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(実管ダクト)とする。
 - 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
 - 地中梁以外の梁抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする。
 - 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製板枠としてもよい。
紙製板枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に板枠を必ず取除くものとする。

- 10 共通事項
- 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
 - 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
 - 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
 - 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
 - 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
 - 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあつては施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
 - 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、工事監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
 - 雨がかり部に取り付けるガリリのチャンパーには、水抜きを設けること。
 - 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
 - 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
 - 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
 - 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
 - 地中埋設配管については、下記の次下対策を講ずること。
 - 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をたせる。
 - 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護すること。
 - 土間配管は、土間筋に吊り下げなど埋設配管を保持すること。
 - 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒線を使用する。
 - 屋外露出及び多温箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
 - 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
 - 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には樹脂の取り付けを行うこと。
 - 送風機用ベルトガードには裏カバー及び点検口を設けること。

11 指定資材

分類	資材名	規格等	
管	塩ビライニング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品	
	配管用炭素鋼管	JISマーク表示品	
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品	
	鋼管	冷媒用 JISマーク表示品 JCDA規格品	
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
継手	耐火二層管	国土交通大臣認定品	
	ポリエチレン管	JISマーク表示品 日本ポリエチレンパイプシステム協会規格品 「水」マーク表示品 建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究会規格品	
	ライニング鋼管継手	管理防食 JPF規格品 「水」マーク表示品	
	鋼管継手	フランジ WSP規格品	
	ビニル管継手	外面含む JISマーク表示品 「水」マーク表示品	
	鋼管継手	冷媒用 JISマーク表示品 JCDA規格品	
弁	ステンレス鋼管継手	JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品	
	耐火二層管継手	国土交通大臣認定品	
	伸縮管継手(ベローズ形、スリーブ形)	JISマーク表示品(ベローズ型) SHASE-S表示品(スリーブ型)	
	可とう継手	注記④による	
	青銅弁・鉄弁	JISマーク表示品	
	その他弁類	注記④による	
保温材	グラスウール保温材	JISマーク表示品	
	ロックウール保温材		
	ポリスチレンフォーム保温材		
	ポンプ類	横形遠心ポンプ(空調用、ボイラー給水用、揚水用) 水中モーターポンプ(汚水用、雑排水用、汚物用) 立形遠心ポンプ(ボイラー給水用、揚水用)	設備機材等評価名簿による。
	電動機	電動機	注記④による
	衛生器具	衛生陶器・水栓	JISマーク表示品
衛生器具ユニット		設備機材等評価名簿による。	
タンク		FRP製パネルタンク 密閉形膜張り膨張タンク(空調用・給湯用) ステンレス鋼板製(鉢付) (溶接組立形) ステンレス鋼板製(鉢付) (鉢組立形)	設備機材等評価名簿による。
樹		樹類	注記④による
鉄製品		排水金物	JCW規格品
		鉄製製ふた	マンホールふた 弁製ふた
量水器	量水器	注記④による	
	ガス器具	ガス配管器具	注記④による
ガス配管	ガス給湯器	都市ガス 液化石油ガス	ガス供給者の承認する製造者の製品 「ガス事業法」「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき省令による取置きを付したものの
	ガス警報	ガス警報システム	注記④による
厨房機器	厨房システム	設備機材等評価名簿による。	

濾過装置		注記④による	
減菌機		注記④による	
消火装置	消火栓類	注記④による	
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品	
浄化槽	合併浄化槽	RC造	注記④による
		FRP	国土交通大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	注記④による	
フロア		注記④による	
阻集器	グリス・ガソリントラップ	注記④による	
特殊ガス	特殊ガス設備	注記④による	
計測機器		注記④による	
		注記④による	
化学実験装置		注記④による	
製缶類	製缶類・熱交換	注記④による	
温水発生機	真空式温水発生機(鋼製・鉄製)	設備機材等評価名簿による。	
	無圧式温水発生機(鋼製・鉄製)	電気温水器	注記④による
ボイラー	鋼製簡易ボイラー及び簡易貫流ボイラー 鉄製ボイラー及び鉄製簡易ボイラー 鋼製小型ボイラー及び小型貫流ボイラー 鋼製ボイラー	設備機材等評価名簿による。	
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット	設備機材等評価名簿による。	
	吸収冷水機		
空気調和機	遠心冷凍機		
	ユニット形空気調和機	設備機材等評価名簿による。	
防振装置	防振材・防振装置	注記④による	
	加温器	注記④による	
送風機類	遠心送風機(多翼形送風機)	設備機材等評価名簿による。	
	斜流送風機		
換気扇	換気扇類	注記④による	
	換気扇類		
全熱交換器	全熱交換器(回転形、折返形)	設備機材等評価名簿による。	
	全熱交換ユニット		
浄装置	MP(膜)・N(糸形、折込み形)	設備機材等評価名簿による。	
	自動巻取エアフィルター		
ダクト	電気集じん器(自動巻取形、N 糸形)		
	吹出口・吸込口	設備機材等評価名簿による。	
付属品	風量ユニット(定風量、変風量)		
ダクト	亜鉛鉄板	JIS規格品	
	ステンレス鋼板	JIS規格品	
	スパイラルダクト	注記④による	
	フレキダクト	注記④による	
自動制御	自動制御システム	設備機材等評価名簿による。	

- 【注記】
- JISマーク、水マーク(JWWA:日本水道協会規格)、WSP(日本水道鋼管協会規格)、SHASE-S(空気調和・衛生工学会規格)、JPF(日本金属継手協会規格)、SAS(ステンレス協会規格)、JCDA(日本鋼センター規格)、JCW(日本鉄鋼ふた・排水器具工業規格)の番号については、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事項)」 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事項)」による。
 - JISマーク表示品と指定された資材は、工業標準化法施工規則に基づき、製品・包装の外箱、容器の外箱、結束荷札ごとの納品書にJISマーク表示のあるものとする。
 - 設備機材等評価名簿とは、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」をいう。但し、評価名簿による場合、「納入地区及びアフターサービス地区」に中部地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。
 - 官公庁に納入実績があるメーカー又は同等品以上とする。

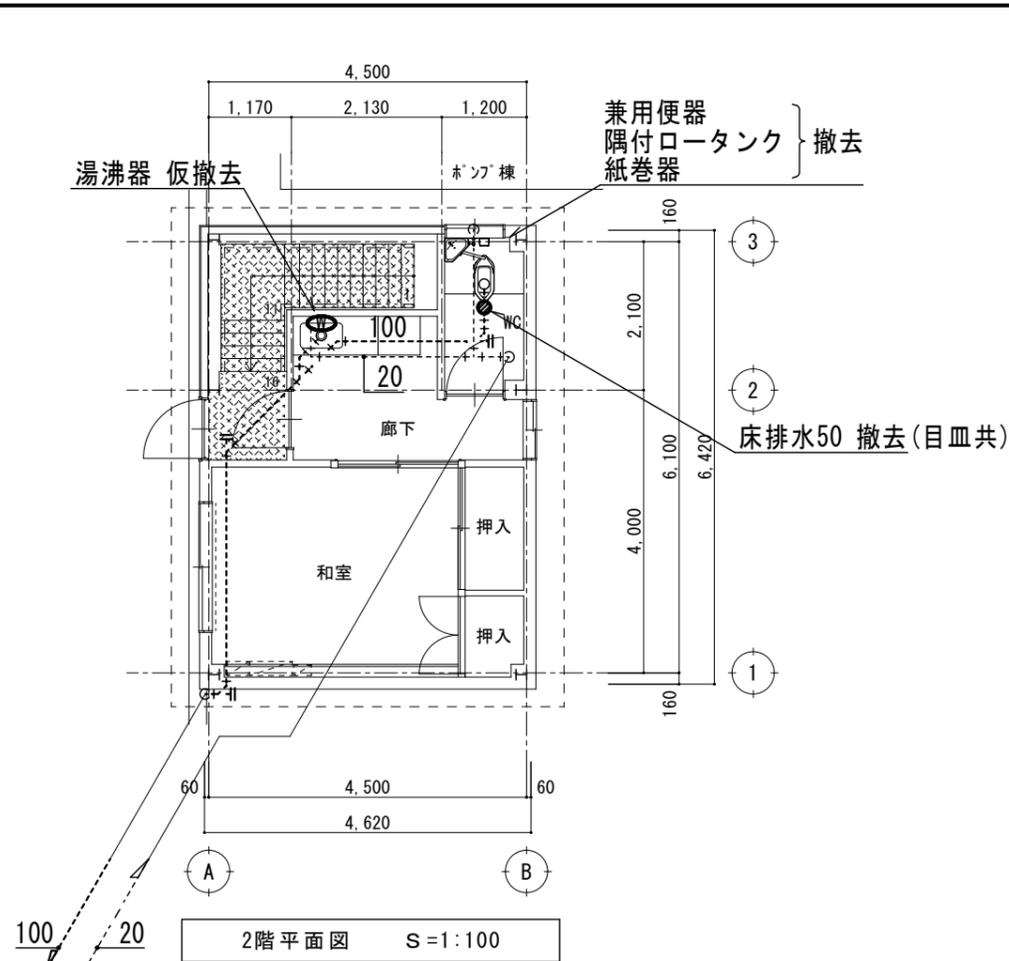
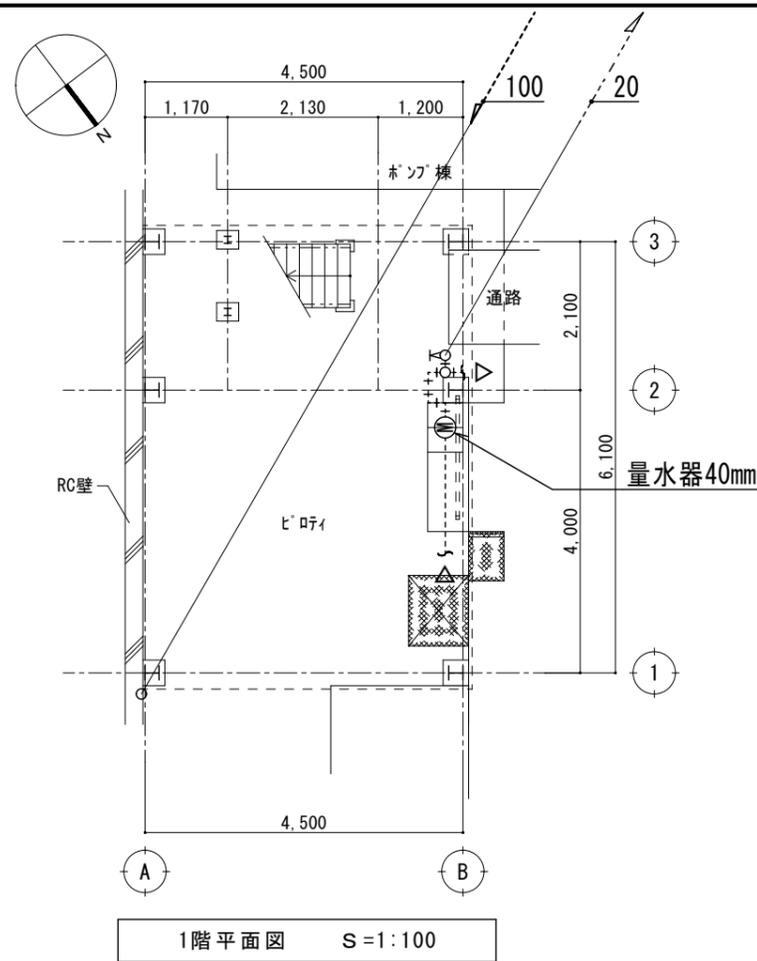
No. M-02

豊栄排水機場耐震改修ほか 工事設計図 R 7 年 1 月

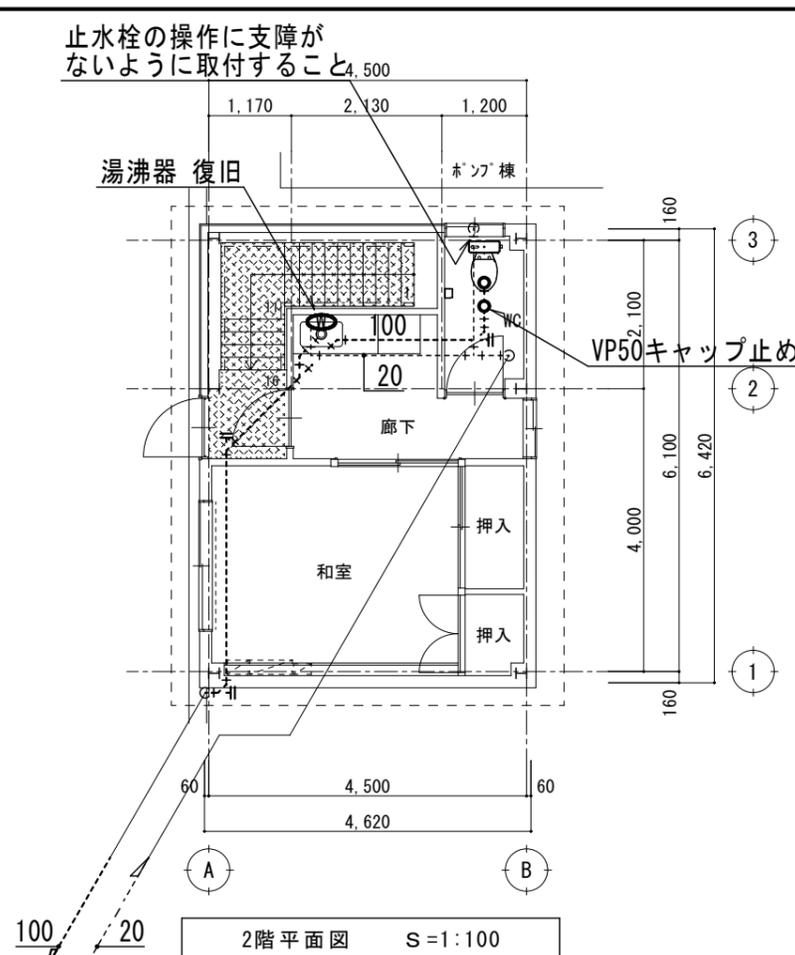
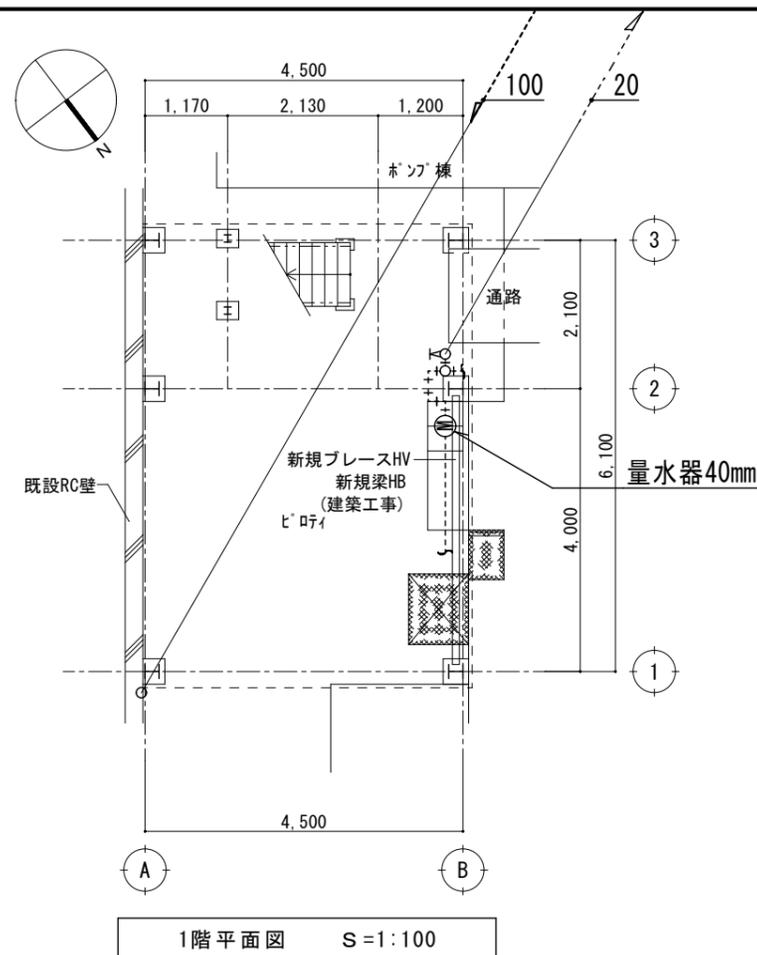
機械設備工事特記仕様書 2

scale (A3) S----

株式会社 山田建築設計 一級建築士 第15321号 山田 純治



改修前



衛生器具表

名称	仕様	JIS記号	国土交通省対象	参考品番 上段：TOTO 下段：LIXIL	付属品	数量
洋風便器	リフォーム用便器 手洗付密結タンク 普通便座(スロー閉止)	C1200S	○	CS597BMS	SH597BAR(タンク) TC301(便座)	1
				BC-P20HU-KJ	DT-PA280HUTK(タンク) CF-49AT(便座)	
紙巻器	SUS製			YH117 CF-32H		1
タオルリング				YT410 KF-91		1

※ 製造者の違いにより発生する工事は本工事とし、選定した器具に適した施工を行う。No. M-03

【図中凡例】
 - - - 既設を示す
 ——— 新設を示す

改修後